

THE PHILATELIST MAGAZINE

フィラテリスト

スタンペディア日本版機関誌

Magazine

2021

SUMMER ISSUE
STAMPEDIA INC.



無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

31

フィラテリスト Magazine の読み方・使い方

当誌の位置づけ

フィラテリスト Magazine は無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社が運営する「スタンペディア日本版」の会員向け機関誌です。年会費を納めた会員には、冊子（フルカラー 約 160 頁）が、発行の都度郵送されるほか、「マイスタンペディア」（右図）より冊子到着前にダウンロードして閲覧していただくサービスを提供しています。 <http://my.stampedia.net>

冊子の提供サイズ

機関紙（通常号）は A5 判と A4 判を用意しており、年間を通じて予めご指定頂きます。特に指定ない場合は A5 判を購読するものとして取り扱います。年途中での A4 判へのサイズ変更は、差額のお支払が必要ですが承ります。

PDF の活用方法（見る）

ダウンロードした PDF は、パソコンやスマホに保存できます。一旦保存するとそれ以降はいつでも好きな時に PDF 版をご覧ください。

万一、ダウンロードした PDF が見つからなくなっても、会費を継続して支払っている期間は、入会以来全ての PDF を再度「マイスタンペディア」からダウンロードできます。

PDF 版は Adobe Reader 等の PDF 閲覧アプリでご覧頂くことを推奨いたします。ブラウザ（インターネットエクスプローラー等）での閲覧は不安定であり、勧めません。

PDF には目次がついています。目次表示機能付き PDF 閲覧アプリでは読みたい記事を簡単に探すことが可能です。

また機関紙の「目次」（原則として 4-5 ページ）で記事タイトルをクリックすると、読みたいページにジャンプします。

PDF の活用方法（印刷する）

ダウンロードした PDF は、個人の利用に限り、いつでも好きな時に繰り返し印刷することが許可されています。各号に用意された目次を参考にして興味ある記事を見つけ、印刷を行ってください。なお当誌では表紙を 1 ページ目としてページの割り付けを行っておりますので、印刷に指定するページ番号も目次のページ番号と一致しています。（ページ番号は各ページのフッタに表示しています）

なお本誌 PDF は快適なダウンロードの為、ファイルサイズをコンパクトにしています。この為、弊社で製本してお届けする冊子と比較すると印刷結果のクオリティは落ちます。

当誌の編集方針

現代のフィラテリーは古今東西の幅広い収集対象に対して深く研究が行われると共に、収集方法も多岐に分かれています。このような幅広い興味・関心を満たす郵趣雑誌は、多くのページ数を持ち、掲載が特定の分野に偏らない存在であることが理想的です。

この理想を実現するために、フィラテリスト Magazine はページ数に制限の少ない PDF で閲覧されることを前提に編集しています。まだ新しい、このようなスタイルの郵趣雑誌を提供することにより、郵趣の世界に元気を与えたいと考えています。



特 定 非 営 利 活 動 法 人

郵 趣 振 興 協 会

Society for
Promoting Philately

第5期会員（2021/4/1-2022/3/31）を募集しています！

未長くフィラテリーを楽しめる仕組み作りをする公益郵趣団体です。2017年から始まった活動はようやく5期目！オンライン郵趣例会の振興活動が目立ちますが、リアルでも、郵政博物館との連携を基に遂に全国切手展を主催できるところまで来ました。

ところで、スタンペックスジャパン 2021 の場合、例えば5フレーム作品の出品料は 15,000 円ですが、会員は4割強のディスカウントが適用され、8,500 円に減額されます。

また、2021 年 4-6 月期に開催された WEB セミナー（有償）チケット料金は千円でしたが、会員には無料で一枚が配布されました。アーカイブ配信も提供しています。

公益郵趣団体ではありますが、少しずつ特典を拡充しています。是非今期から会員となり、我が国の郵趣振興にご協力いただだけませんか？

【第5期（2021 年 4 月ー 2022 年 3 月）正会員・賛助会員 募集要項】
簡略版（詳細資料は <http://kitte.com/> でご覧いただくことができます）

1. 年会費：

正会員 1 口 18,000 円（何口でもご加入可）

賛助会員 1 口 6,000 円（何口でもご加入可）

* 期中のどこから加入されても同額です

総会議決権の有無が、正会員（議決権あり）と賛助会員（議決権なし）の違いです。

2. 正会員・賛助会員（以下「会員」）の特典

- (1) 協会主催および協会が関係する各種行事への優先参加およびご優待
- (2) 「競争切手展データベース」へのアクセス・閲覧
- (3) 「郵政博物館 特別切手コレクション展」出展者負担金の減免
- (4) オンライン郵趣例会支援サービスのご提供

マイスタンプEDIAにてお申し込みいただくことができます。インターネットにアクセスできない方には、詳細資料・振替用紙を郵送しますので、ご連絡ください。

102-0083 海事ビル内郵便局留置 郵趣振興協会

スタンペディア日本版機関紙



フィラテリスト Magazine

第31号

目次



当誌の読み方・使い方	2
目次	4
郵趣界重大ニュース	6
郵趣カレンダー	10
国際切手展の開催動向	12
PHILNIPPON2021	13
HUNFILEX 2022	14
HELVETIA 2022	15
スタンプショウ=ヒロシマ 2021	16
第8回ヨーロッパ切手展	17
サブスク購読できる郵趣雑誌の発行者等を応援するページ	18



今更聞けないフィラテリー

(17) 読みにくい消印を読む為の一括画像加工	20
-------------------------	----

寄稿記事・郵趣論文

戦前の欧文櫛型 JAPAN 印 (8) 最終回・電信局	杉山 幸比古	22
戦後の欧文櫛型印 (8) C 欄 JAPAN・後発グループ (中)	神宝 浩	34
資料公開「欧文日付印について」(1956 年)	行徳 国宏	41
富士山頂風景印の印影バラエティについて	石田 徹	48
プロイセンの外国郵便料金について	山本 勉	50
琉球の航空郵便 (5) ハト航空 12 円	木戸 裕介	58
通常郵便物封筒の寸法 (追記)	行徳 国宏	63
和欧文機械印トピックス	水谷 行秀	64
残念カバー 3 点	安藤 源成	71

郵趣活動の記録

開催報告 故郷の郵便の歴史展	76
切手コレクション紹介 国立銀行	近辻 喜一 78
切手コレクション紹介 名古屋の D・E 欄★入り櫛型日付印	石代 博之 80
国内競争切手展 受賞結果抜粋等 STAMPEX JAPAN 2021	82

全日本切手展 2021 参観ガイド	86
手彫証券印紙 1873-1876	長谷川 純 88
観光地百選	宇佐見 比呂志 96
スイス不足料 1883-1910	有吉 伸人 106
東京と大阪の商圈	近辻 喜一 112
日本の近代郵便の歴史	吉田 敬 114
美作国の二重丸印	安藤 源成 115
明治の東京・深川 郵便局ぶらり散歩	鎌倉 達敏 120
Republic of Finland its independence and the struggle	菊池 達哉 126
外信実通 初日カバー	安藤 源成 130
< 支那 > 加刷・大正白紙切手	柳川 英幸 132
日芬関係史	菊池 達哉 138
郵趣振興協会 活動報告	郵趣振興協会 140
オークションレポート	
ジャパンスタンプオークションニアレポート	鯛 道治 144
スタンペディアオークション セールレポート・落札結果等	153
 会員からのおたより 	161
あとがき	163

広告一覧

フィラサーチ [P.67]
 スタンペディアオークション株式会社 [P.164]
 特非) 郵趣振興協会 [P.3]

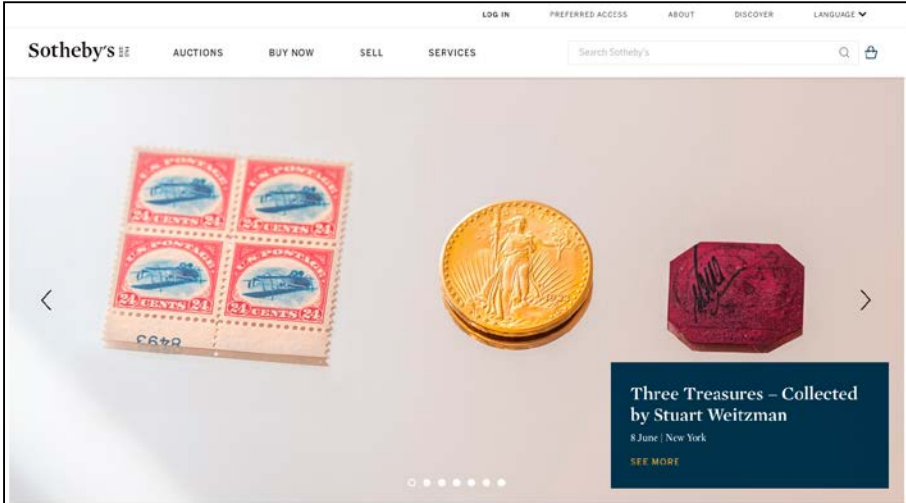
付録

付録 1	故郷の郵便の歴史展より 2 作品
------	------------------

郵趣界重大ニュース

2021年3月～2021年6月

1 英領ギアナ 暫定1セント切手は、9億円強で英 Stanley Gibbons 社が購入



Three Treasures - Collected by Stuart Weitzman サザビーズ ホームページ

6月8日に、スチュワート・ワイツマン氏 (Stuart Weitzman, 1941年生 ファッションブランド創設者) が保有している切手とコイン3点がNYサザビーズで競売され、以下の結果となりました。

Lot	マテリアル名	評価額 (米ドル) Est.	落札額 (\$)	落札額 (円)
1	The 1933 Double Eagle	1,000- 1,500 万	1,675+276 万	21 億 3452 万
2	The Inverted Jenny Plate Block	500 - 700 万	400+86 万	5 億 3171 万
3	The British Guiana One-Cent Black on Magenta	1,000- 1,500 万	700+130.7 万	9 億 916 万

落札額 (\$) の + 以降は手数料。落札額 (円) は手数料込みの金額

世界に一枚しか存在しない英領ギアナの1セント切手(Lot.3)は、2014年に故 du Pont 氏の競売(サザビーズ)でワイツマン氏が948万ドルで落札したものです(本誌第4号, 2014)。

同氏は7年間保有する間に、ニューヨークの国際展やモンテカルロの展覧会 Monacophil でも展示し多くの人に惜しみなく観覧の機会を提供することにより、一気に収集家として有名になりました。今回の落札金額は前回を下回りますが、当該期間の有名税と考えれば安いものではないでしょうか。

今回のセールの直後には英 Stanley Gibbons 社より同切手を落札したプレスリリースが発行されています。同社はロンドンの本店・店頭でこの切手を公開予定のほか、早くもホームページを開設しています。 <http://www.1c-magenta.com>



ギボンズ社による特集サイト

2 米国宛て EMS サービス、13 ヶ月強ぶりに再開

2020 年 4 月 24 日に引受が停止された米国宛て EMS サービスが、6 月 1 日に再開されました。当初は数ヶ月で復活すると思われていたものの予想以上に時間がかかり、実に 13 ヶ月以上もの間、引受が停止されていたことになります。

米国は、日本の国際郵便の宛先の中でも中国と並び最も多い相手国ですが、同国への航空荷物の送付方法である EMS と e パケットが利用できなくなったことにより、この間、日本郵便による米国宛て荷物の送付は、船便小包しか選択肢がなくなり、急ぐ場合は料金の高い DHL や FedEx が使われてきました。越境 EC にとっては死活問題であり、長らく復活が待たれていたものです。

もっとも今回の復旧は、ギリギリの状況における復旧であり、次の点で今後の改善が待たれます。

- (1) 復活したのは米国宛だけ。カナダ、オーストラリア、ロシアへは依然として送付できない。
- (2) 復活したのは EMS だけで、e パケットはまだ再開されていない。
- (3) COVID-19 流行の影響で航空輸送量が減少していることに伴い、輸送コストが高騰しているため、コストの割増分に相当する EMS 特別追加料金が当面の間、オセアニア、北中米、中近東、ヨーロッパ向けで導入されている。

この「EMS 特別料金」は決してわずかな金額ではなく、特に重量が高むと大きな負担増加となり、早くも越境 EC 業界では怨嗟の声が上がっています。しかしながら、郵便史の観点で見ると、大変面白い事例であり、将来「EMS 特別料金」が短期間で廃止となるようであれば、むしろ使用例としては珍重すべきものになる可能性があります。

The image shows a Japan Post EMS dispatch note and a postage stamp sheet. The stamp sheet has four 500 Yen stamps. The dispatch note is for a shipment to the United States of America, with the sender's address in Japan and the recipient's address in Saipan. The note includes fields for sender and recipient names, addresses, phone numbers, and a detailed description of the contents. It also shows the weight of the package (500g) and the postage paid (JPY 6900). The note is signed by the sender and includes a date and time stamp.

米国宛て EMS 再開初日便 2021-6-1 KAIJI BUILDING →米国 Saipan →差出人に返戻

米国宛て EMS は 6/1 より再開されたが、サイパンは例外地域であり、引き続き引受停止中の為。

米国宛て EMS 基本料金 2000 円、EMS 特別追加料金 400 円、保険料金 100 円、2500=2000+400+100

3 1円ぽすくま切手は十分な量が提供される

「74年ぶりに前島密 以外の意匠で発売された1円切手」という触れ込みで、日本郵便が4月14日に200万シート（1億枚）発行した1円ぽすくま切手ですが、予想に反し供給を上回る量が供給され、利用者に1円切手を2種類の意匠から選べる状態を実現できていることが判明しました。

切手の製造原価に詳しい識者によれば、シール付き切手であるうが、50面シートの1円切手の製造原価は数円でしかなく、本切手の提供が赤字になる事はありませんとのことでした。



良いデザインが否かは別として、現在、日本郵便では、「ぽすくま」を様々なシーンに登場させ浸透をはかっています。ヒット商品であるレターパックの裏面や郵便配達車両の側面などにも同キャラクターは描かれており、そのCI活動の一環としても本件は捉えることができます。

4 郵便切手類模造取締法違反で、8人書類送検

警視庁保安課は、5月14日に、郵便切手類模造取締法違反の疑いで、7都府県の40～75歳の男性8人を書類送検しました。1月28日に4人を書類送検した（本誌30号、既報）のに続く摘発でしたが、報道における嫌疑の中心が、郵趣界で広く流通している東芝ゼロ円金魚・赤弥勒切手（右図）であった為、世間一般よりもむしろ郵趣界でホットなニュースになりました。

今回の摘発で再認識されたのは、郵便切手類模造取締法の解釈において、現在製造が認められないものは、製造時期に関わらず、輸入・販売・頒布・使用が認められないということです。

郵便切手類模造等取締法

第一条 郵便事業株式会社又は外国の郵便切手その他郵便に関する料金を表す証票に紛らわしい外観を有する物は、製造し、輸入し、販売し、若しくは頒布し、又は郵便切手その他郵便に関する料金を表わす証票の用途に使用してはならない。

2 前項の規定は、同項に規定する物で総務大臣の許可を受けたものを製造し、輸入し、販売し、又は頒布する場合には、適用しない。

1条2項により、東芝ゼロ円金魚・赤弥勒切手や、日本切手のアーカイブ（見本字入り含む）に同法が適用されることが分かりますが、別途、総務省が発表している郵便切手類模造等許可基準を併読すると、手彫・小判・新昭和・普通・記念切手の模造品やポスタルフォージェリーは、未使用の外観を有するものであれば製造時期に関わらず1条が適用されることが判明しました。もっとも使用禁止切手は対象としないことが許可基準に明記されていますので、竜切手等は対象外です。



東芝ゼロ円切手

ここで悩ましいのは、外国切手の偽物、リプリント、アーカイブの取り扱いで、当然のことながら、日本の総務大臣が許可して存在している物体でないことは明らかです。同法を厳格に適用すると、スペラティは勿論、SPECIMEN 加刷切手も全て輸入・販売が不可能になります。大英帝国の郵政大臣が認め SPECIMEN 加刷された19世紀の普通切手を英国のオークションで落札し輸入するとアウト。誰が聞いてもおかしいと思う話ですが、同法を厳格に適用するとうなります。また、第一条に記載されている「紛らわしい外観」も拡大解釈が可能で怖い条文です。

郵模法が対象とする外国切手は70万種類も存在しますが、取り締まる側に、有用なデータベースがありません。法の運用は困難だと考えられてきましたが、矛盾点がまた一つ明らかになりました。

5 3回目の緊急事態宣言の発出で、郵趣催事は再び大混乱

第27号以来、毎号取り上げている、新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴う国内の郵趣催事の記録を掲載します。

郵趣団体・法人の開催する催事の内、飲食を伴わないものについては、政府の要請に従い、感染リスクの高い場面に絞り効果的・重点的な対策が徹底される様になり、2021年1-3月期にほぼ復活していました。

しかしながら、4月25日に、東京都、京都府、大阪府、兵庫県の1都2府1県に緊急事態宣言が発出される（最終的に1都1道2府6県に発出）と、状況は一変し、公共団体の運営する施設で開催される催事を中心に中止・延期が相次ぐことになりました。

郵趣催事を主催する団体・法人の中には、公共団体の運営する施設で催事を開催するリスクに気づき、民間施設を活用する事例も表れましたが少数で、4月下旬以降、中止事例が増加しました。

緊急事態宣言自体は、本稿執筆の6月8日も継続していますが、6月1日から東京都では博物館・美術館の開館は認められるように変わり、公共団体の運営する施設も再開した為、6月以降は再び4月前半までの様に、飲食を伴わない郵趣催事は復活する様になっています。

時期	展覧会、WEB セミナー等	即売会・フリマ・例会	五大オークション他
3月	6. 切手の博物館（目白）3月のミニベックスを全て中止（4月も4/9-10のみ再開して残りを中止に。）	7. 切手市場、出店システムを改正。より接触の少ない形に。 13. 名古屋切手フリマ、本年初のフリマを無事開催。	
4月	4. 郵趣振興協会、WEB セミナー「競争切手展に向けた作品の改善方法」を開始（3回シリーズ） 10. 郵趣振興協会、「スタンベックスジャパン2021」を開催 25. スタンブショウ、三日目を急ぎよ中止に。郵政博物館も臨時閉館に。		
5月	8. 郵博 特別切手コレクション展、クラウド展示のみで開幕（郷土の郵便の歴史展）。 25. 切手の博物館（目白）緊急事態宣言中のミニベックスを全て中止することを発表。	1. 切手市場、民間施設を使用しており緊急事態宣言発出の影響を受けず催事を開催。 21. 切手倉庫名古屋マーケット、今夏の開催を発表。 29-30 大阪の状況悪化の為、大阪駅前第3ビル切手バザールは中止に。	29. 大阪の状況悪化の為、ジャパンスタンブが、5月セールを1日に短縮して開催。
6月	1. PHILANIPPON 2021 組織委員会、世界展をアジア展に変更すること等を発表 1. 郵政博物館（押上）再開。 8. 郵博 特別切手コレクション展、郵政博物館での展示を再開（郷土の郵便の歴史展）。	5. 切手市場、名古屋切手フリマ、JSDA 有楽町催事等全て開催。 切手催事はほぼ元通りに開催できる状態に戻る	

番外編 AKB48 のメンバーが初めて切手に描かれる。

スリナム共和国は、2021年1-3月にヒューマノイドロボットを描く、『ロボット100周年記念切手』4種を発行しました。この内、25スリナム\$（130円相当）切手には、AKB48 3期生で現在同グループ最古メンバーである柏木由紀をモチーフに作られたヒューマノイドロボット「ロボリン」が描かれています。

ロボットの元ネタとはいえ、AKB48 メンバーが切手に描かれたのはおそらくこれが世界で初めてのことと思われます。（情報協力：現代切手収集家のブログ）



郵趣カレンダー

2021 年 6 月中旬以降に開催される郵趣イベント

今後予定されている催事は、季節・時期・地域を問わず急遽中止・変更される可能性があります。
ご来場にあたっては、各主催者が提供する一次情報（ホームページや代表電話）を確認の上、お越しください。

国際郵趣連盟の規則に基づいて審査が行われる競争切手展

開催日	切手展名称	会場	分類	出品 枚切
2021/6/25-27	全日本切手展 2021	すみだ産業会館	日	締切済
2021/8/25-30	PHILANIPPON2021	パシフィコ横浜 B・C ホール（横浜）	ア	6/30
2021/11/5-7	JAPEX2021	都立産業貿易センター台東館（浅草）	日	未発表
2022-2/19-26	LONDON2022	BusinessDesignCenter（英、ロンドン）	世	締切済
2022-3/31-4/3	HUNFILEX2022	"BALNA" Culture Centre（ハンガリー・ブダペスト）	世	6/19
2022/4（予）	スタンベックスジャパン 2022	郵政博物館（押上・スカイツリー）	日	未発表
2022/5/6-10	TAIPEI2022	TaipeiWorldTradeCenter（台湾、台北）	ア	締切済
2022/5/18-22	HELVETIA2022	Padiglione Conza, Lugano's Fairground and Convention Centre（スイス・ルガーノ）	世	7/9
2022/8/4-9	INDONESIA2022	TheIndonesianParliamentComplex（インドネシア、ジャカルタ）	世	締切済
2022/9/8-11	MELBOURNE2022	CaulfieldRacecourse（豪、メルボルン）	ア	未発表
2022/11/8-12	CAPE TOWN2022	InternationalConventionCenter（南ア、ケープタウン）	世	未発表
2023/5/25-28	IBRA2023	MesseEssen, Hall 1+2（独エッセン）	世	未発表
2026/5/23-30	BOSTON2026	BostonConventionandExhibitionCenter（米ボストン）	世	未発表

分類 世：世界切手展 ア：アジア国際切手展 日：日本の全国切手展

一般切手展

開催日	地域	online	切手展名称	会場
5/8-6/6	東京	○	故郷の郵便の歴史展	郵政博物館
6/26-6/27	東京		ミニベックス イギリス切手研究会切手展 2021	切手の博物館
7/2-7/4	東京		ミニベックス アメリカ切手展 2021	切手の博物館
9/11-12	広島		スタンプショウ=ヒロシマ	県立広島産業会館・東展示館
9/25-10/24	東京	○	第 8 回ヨーロッパ切手展	郵政博物館
2021/12/28-2022/1/11	東京	○	富士鹿切手発行百年記念展	郵政博物館
未定	東京	○	第 4 回南方占領地フィラテリー展	郵政博物館

※展示の一部ないし全部をインターネットで閲覧できる展覧会については、online 欄に○をつけました。
 ※郵政博物館の開場時間は 10:00-17:30 ですが、6/1 現在 10:30-16:30 に短縮されています。感染症の影響
 で今後、変更される可能性がありますので、ご来場にあたってはホームページでご確認ください。なお、
 いずれの場合も最終入場時刻は閉館時刻の 30 分前です。
 ※郵政博物館で開催される郵博 特別切手コレクション展は、初日開場時刻が 13:00 になるケースがあります。
 ホームページでご確認ください。http://kitte.com/

主要なオークション

開催日	主催者	回	会場
6/20	タカハシ・スタンプ・オークション	657	タカハシスタンプ
7/3	スタンペディアオークション	18	綿商会館
7/6	JPS オークション	534	メール
7/18	タカハシ・スタンプ・オークション	658	タカハシスタンプ
7/25	日本フィラテリックセンター	788	大阪駅前第二ビル 15 階
7/29	スタンペディアオークション 2021 年夏の文献セール		メール
8/15	タカハシ・スタンプ・オークション	659	タカハシスタンプ
8/28	JPS オークション	535	パシフィコ横浜
8/29	ジャパンスタンプオークション	118	パシフィコ横浜
9/19	タカハシ・スタンプ・オークション	660	タカハシスタンプ
9/29	日本フィラテリックセンター	789	メール
10/2	スタンペディアオークション	19	綿商会館

* メールオークションとして開催される場合は、開催日が入札締切日となります。

* 当社関連会社が提携するスタンペディアオークションへの出品締切は下記の通りです。

第 19 回セール出品締切：2021/7/15、文献セール出品締切：2021/8/15

切手フリマ・即売会

開催日	地域	名称	回	会場	開催時間
7 月 3 日	東京	切手市場	196	綿商会館	9:00-17:00
8 月 7 日	東京	切手市場	197	綿商会館	9:00-17:00
8 月 7-8 日	名古屋	切手倉庫名古屋マーケット		第 1 アメ横ビル 4F	10:00-16:00
9 月 4 日	東京	切手市場	198	綿商会館	9:00-17:00

綿商会館：東京都中央区日本橋富沢町 8-10 第 1 アメ横ビル：名古屋市中区大須 3-30-8

主なオンライン郵便例会

切手サークル名	代表者	使用アプリ	参加費用	オンライン例会開催日
日本切手研究会	横山裕三	ZOOM	無料	第 2,4 日曜日 21 時 6/13, 27, 7/11, 7/25, 8/8, 8/22, 9/12, 26
昭和切手研究会	斎享	ZOOM	無料	第 3 日曜日 21 時 6/20, 7/18, 8/15, 9/19
外国切手研究会	榎原晃二	ZOOM	無料	毎週土曜日 20 時 6/5, 12, 19, 26 7/3, 10, 17, 24, 31 8/7, 14, 21, 28 9/4, 11, 18, 25
南方占領地切手コレクターズクラブ	守川環	ZOOM	無料	第 4 水曜日 20 時 6/23, 7/28, 8/25, 9/22

国際切手展の開催動向

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

国際郵趣連盟および大陸別の郵趣連盟が公認する競争切手展（以下「国際切手展」と略す）の実行委員会は、2020年6月以降も、暫時延期をアナウンスしています。当協会ではホームページ（<http://kitte.com>）で速報を行っておりますが、以下でまとめてご案内します。

切手展の当初の名称	開催地	分類	当初 開催予定期間	現 開催予定期間
NZ 2020	ニュージーランド、オークランド	ア	2020/3/19-22	国際展は中止
LONDON 2020	英、ロンドン	世	2020/5/2-9	2022/2/19-26
WSC<INDONESIA2020>	インドネシア、ジャカルタ	世	2020/8/6-11	2022/8/4-9
TAIPEI 2020	台湾、台北	ア	2020/10/23-27	2022/5/6-10
MELBOURNE 2021	豪、メルボルン	ア	2021/2/11-14	2022/9/8-11
CAPE TOWN 2021	南ア、ケープタウン	世	2021/3/17-20	2022/11/8-12
IBRA 2021	独 エッセン	世	2021/5/6-9	2023/5/25-28
PHILANIPPON 2021	日、パシフィコ横浜	世	2021/8/25-30	2021/8/25-30
HUNFILEX 2022	ハンガリー ブダペスト	世	2022/3/31-4/3	2022/3/31-4/3
HELVETIA 2022	スイス、ルガーノ	世	2022/5/18-22	2022/5/18-22

■:2020年開催 ■:2021年開催 ■:2022年開催 ■:2023年開催

この3ヶ月間の注目は、2021年に開催予定の二つの世界切手展の動向でした。世界切手展は、世界中から国際展審査員が一堂に介さない限り成立しないわけですが、現在の状況では難しい為、両展覧会の判断に注目が集まったわけです。

まず CAPE TOWN 2021（南アフリカ）は、3月29日頃に延期を決定。その後延期先の会期が以下の通り決定されました。

当初の開催日程： 2021/3/17-20
 延期日程（一度目）： 2021/11/9-13
 延期日程（今回）： 2022/11/8-12

世界中でワクチン接種が始まっている為、2022年の開催を楽観的に見る実行委員会が多いことが上記の表からも分かります。

このような状況で、PHILANIPPON 2021の開催については世界的にも注目されているところ

です。編集時点（6/3）で開催まで80日強ですが、HPの更新は元旦から止まっており、展示一覧も公開がない為、外部からは事情がうかがうことができない状況ですが、皇族の名誉総裁ご就任もあり、（世界展の要件を満たすかどうかは置いておいて）展覧会自体を開催する可能性は高いのではないかと予想しています。

編集部註。本記事校了後、PHILANIPPON2021のニュースが入りました。本記事は修正できませんが、急遽次ページを追加しました。合わせてご覧ください。

CAPE TOWN 2021 INTERNATIONAL STAMP EXHIBITION
 8-12 NOVEMBER 2022

INTERNATIONAL STAMP EXHIBITION

Road to Democracy

"The new dates for the exhibition are 8-12 November 2022."
 - Organising Committee of the Cape Town 2021 International Exhibition.

Your chance to visit Cape Town. Participate in the International Philatelic Exhibition (IPEX) in Cape Town in November, 2022. See Gerhard Kasper's award-winning exhibit "The Road to Democracy" featuring letters written by Nelson Mandela from Robben Island. IPEX (Cape Town) will be a 2000 frame specialised international exhibition under I.F.P. patronage.

Venue: The CTICC

Mandela Prison Letter

SA's most valuable stamp

The venue for the exhibition is the Cape Town International Convention Centre.

The letter Mandela wrote from prison on Robben Island. He repeats an offer of release into the Transvaal. Framed in the Court of Honour.

South Africa's most valuable stamp, the Woodblock 'error of colour'. This example was sold by Gertruida in Zurich for the equivalent of R8.2 million.

世界展→アジア展に変更

PHILANIPPON 2021

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会は、活動の一環として国際切手展情報の充実に注力しています。

日本国際切手展 2021 (PHILANIPPON 2021) 組織委員会事務局は『日本国際切手展 2021 特別規則の改正および 2 次出品申し込みのご案内』という書面を作成し、6 月 1 日付で切手展出品者に郵送しました。記載されている競争展に関する変更点は以下の通りです (抜粋)。

	旧	新
1) 競争展としての性格	世界展	アジア展
2) 後援	FIP 後援	FIAP 後援
3) 受賞記録	FIP 認定記録	FIAP 認定記録
4) レギュラー部門の出品料金	11,000 円 /frame	3,000 円 /frame
5) ワンフレーム部門の出品料金	14,000 円	6,000 円
6) 文献部門の出品料金	11,000 円	3,000 円

※なお、本展覧会は FIP 認定の展覧会であり、85 点以上を獲得した作品には、今後の世界展での展示に 8 フレームが割り当てられます。

また、これに加えて競争部門では次の 4 点が大きな変更点となっています。

- (1) 世界展が開催できずアジア展に変更されることで出品を取りやめる場合は返金する
- (2) チャンピオンクラスを廃止し、印紙部門を新設する
- (3) チャンピオンクラスの廃止に伴い、グランプリは、ナショナル・グランプリとインターナショナル・グランプリの 2 つだけに変更する。
- (4) 6 月 1 日から 6 月 30 日までの間、追加出品を組織委員会事務局で受け付ける。

なお、上記競争切手展には海外からの作品が集まらず展示量が不足することが理由で、非競争展示作品の募集を行うことがあわせて発表されました。フレームあたり出品料 1000 円で 1-5 フレームの展示が可能と記載されています。なお、出品者にはフレーム数に関わらず、記念品・参加証明書・公式ガイドブックが付与されます。

欧米で開催される世界展ですと、来場喚起の為、展覧会初日の 3 ヶ月前には、展示作品一覧がホームページで紹介されるのが通例ですが、アジア展でそこまでの運営がされることは稀です。

本展覧会はアジア展に変更された上に、追加出品の募集を行うこともあり、当面の間は展示作品一覧が発表されることはないと思われますが、今後の情報につきましては是非一次情報である、公式ホームページにご注目いただきたいと思います。

公式ホームページ URL <https://www.japan2021.jp>

HUNFILEX 2022

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会は、活動の一環として、国際切手展情報の充実に注力しています。本件は詳細をホームページに掲載していますので、ご出品を検討される方はあわせてご覧ください。 <http://kitte.com>



「ハンフィレックス2022」は来春ハンガリーで開催される世界切手展で、6/19まで出品作品の募集が行われていますので、ご紹介します。

展覧会名称： HUNFILEX 2022
展覧会種別： 世界切手展（FIP レベル・世界チャンピオンシップ専門展）
開催部門： WSC、伝統郵趣、郵便史、印紙、テーマティック、オープン、ワンフレーム、文献
開催規模： 1600 フレーム
開催場所： “BALNA” Culture Centre（ハンガリー・ブダペスト）
開催期間： 2022年3月31日（木）から4月3日（日）
公式 HP： <https://hunfilex2022.com>

全日本郵趣連合はまだ日本国のコミッショナーを決めていません。代わりに暫定世話人として斎藤環さんが作品募集について取りまとめていらっしゃいます。出品を希望する作品をお持ちの方は、以下にお問い合わせください。

暫定世話人 全日本郵趣連合事務局 HUNFILEX 2022 係
〒276-0022 八千代市上高野 1130-13 斎藤環方
電子メール hunfilex2022@yushu-rengo.jp

国内出品締切日 2021年6月19日（土）

世話人あてに出品申込書とイントロダクションページ（タイトルページ）各一部を郵送ください。その際にメール・アドレスをお知らせ願います。メール送付も受け付けますが、印刷～署名が必要なので、なるべくプリントのうえで郵送をお願いいたします、とのことです。

HELVETIA 2022

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会は、活動の一環として、国際切手展情報の充実に注力しています。本件は詳細をホームページに掲載していますので、ご出品を検討される方はあわせてご覧ください。 <http://kitte.com>



「ヘルベティア2022」は来年5月にスイスで開催される世界切手展で、7/9まで出品作品の募集が行われていますので、ご紹介します。

展覧会名称： HELVETIA 2022
展覧会種別： 世界切手展（FIP レベル・世界チャンピオンシップ専門展）
開催部門： WSC、伝統郵趣、郵便史、ステーションナリー、航空郵趣、テーマティク、文献、ワンフレーム
開催規模： 2000 フレーム
開催場所： Padiglione Conza, Lugano's Fairground and Convention Centre(スイス・ルガーノ)
開催期間： 2022 年 5 月 18 日 (水) から 5 月 22 日 (日)
公式 HP： <https://www.helvetia2022.ch>

全日本郵趣連合はまだ日本国のコミッショナーを決めていません。代わりに暫定世話人として斎藤環さんが作品募集について取りまとめていらっしゃいます。出品を希望する作品をお持ちの方は、以下にお問い合わせください。

暫定世話人 全日本郵趣連合事務局 HELVETIA 2022 係
〒276-0022 八千代市上高野 1130-13 斎藤環方
電子メール helvetia2022@yushu-rengo.jp

国内出品締切日 2021 年 7 月 9 日 (金)

世話人あてに出品申込書とイントロダクションページ（タイトルページ）各一部を郵送ください。その際にメール・アドレスをお知らせ願います。メール送付も受付けますが、印刷～署名が必要なので、なるべくプリントのうえで郵送をお願いいたします、とのことです。

スタンプショウ=ヒロシマ2021

スタンプショウ=ヒロシマ2021実行委員会

スタンプショウ=ヒロシマは西日本最大の切手展として毎年5-6月に開催して参りました。2020年につきましては、COVID-19 流行の影響で中止となりましたが、2021年は当初の開催日程を変更し、9月に予定しておりますので、ご案内申し上げます。

約70フレームの展示と切手商ブースを予定しているほか、初日には、展示会場の閉場後、吉田敬氏（郵趣振興協会）の講演を予定しております。どうぞご来場ください。

開催時期 2021年9月11日(土) 10:00~17:00
9月12日(日) 9:00~15:00

会場 県立広島産業会館・東展示館

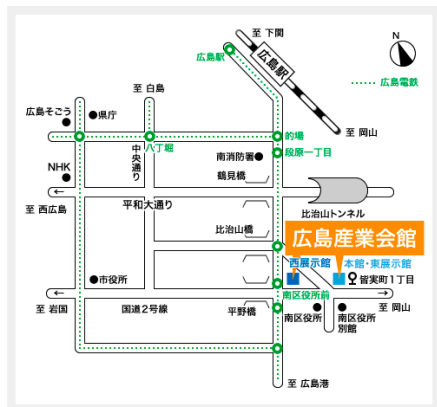
(広島市南区比治山本町16-31)

主催 スタンプショウ=ヒロシマ実行委員会

(公財)日本郵趣協会中国・四国地方本部

後援 日本郵便株式会社中国支社(予定)、
(特非)郵趣振興協会

企画テーマ 東京オリンピック2020



作品名	F	作品オーナー
オリンピックと日本	5	犬飼英明
日本普通切手1871-1907 (手彫・小判・菊)	5	槇原晃二
旧小判切手	5	村上信和
新大正毛紙の多数貼りカバー	1	長竹一彦
藤原鎌足 5円	1	池田健三郎
日本普通切手1980-1988	5	須谷伸宏
英連邦占領軍 B.C.O.F 加刷切手	1	吉田敬
日本の航空書簡	3	山口充
不統一印を楽しむ	2	立山一郎
ルーマニアの付加税切手	5	板橋祐己
米国平版印刷1セント切手	1	奥山昭彦
風景入通信日付印	5	石田徹
フランス美術切手シリーズ	1	江村清
服飾の歴史と髪飾り	2	今井節子

2021 年度 第2回 郵博特別切手コレクション展 第8回ヨーロッパ切手展

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

ヨーロッパ切手展は、2013年に始まった、ヨーロッパの切手を展示する無競争公募切手展で、毎年一つその年にふさわしいテーマを決めています。

第8回ヨーロッパ切手展は、当初、2020年12月12-13日に開催予定でしたが、COVID-19の流行を鑑みて、同年4月9日に2021年度への延期が発表されましたが、このほど展覧会の会期が決まりましたので発表するとともに展示希望者を募集します。

なお本年のテーマは、日独国交成立160周年を記念して「ドイツ」に決定しました。ドイツに関わる郵趣作品であれば、伝統・郵便史・マルコフィリー・ステーションナリーはもちろん、トピカル・テーマティクやカタログコレクションのご出品も歓迎します。

第8回ヨーロッパ切手展

郵政博物館における展示期間：2021-9-25（土）- 2021-9-26（日）

クラウド展示の開催期間：2021-9-25（土）- 2021-10-24（日）

展示作品の募集について

本展覧会への展示を希望する方は展示団体（ヨーロッパ切手展実行委員会 担当 中畑 メールアドレス：chipichan3@yahoo.co.jp）に7月15日までに電子メールでご連絡ください。展示はフレーム単位とし、展示方法は、以下のいずれかをお選びいただくことができます。

	展示方法	提出物
(1)	クラウド展示のみ	作品を200 DPIでスキャンしたPDF
(2)	クラウド展示+郵政博物館展示	作品（郵送）

展覧会の性格：無競争公募切手展

出品料：原則として無料ですが、送料等が発生する場合は出品者負担とします。



サブスク購読できる

郵趣雑誌の発行者等を応援するページ

2021年3月～2021年5月

IZUMI（発行：いずみ切手研究会）



383号を発行（3/21）特殊通送郵便（上遠野 義久）佐倉局の日露戦争凱旋観兵式記念特印の怪（宮崎 幸二）小包郵便2題（町屋 安男）朝鮮の離島 加徳島（馬淵 直人）近代史を語る記念絵葉書-3（矢嶋 基之）大正12年の「12」年活字が小さい櫛型（行徳 国宏）貯金に関する標語（1）（清水 勝利）自動押印機の記念印と周知印（安藤 源成）郵便料金80銭の使用例（濱谷 彰彦）本郷局の不整日付印（飯澤 達男）M型卓上押印機（水谷 行秀）

「いずみ切手研究会」例会案内	
例会開催日	原則として第3日曜日 午前9時-12時
会場	練馬区立勤労福祉会館（大泉学園駅近）
向こう三ヶ月の例会日	6/20, 7/18, 8/15, 9/19
例会参加資格	会員限定（ダウンロード権利のみでは参加できません）

最近の情報（発行：小判振舞処）



201号を発行（4/10）在朝鮮日本郵便局の最古使用例（桑原 康雄）手彫印紙の推定製造枚数（長谷川 純）、N1B1（近辻 喜一）、長崎開港地間便エンタイヤ（城野 隆三）、違和感のあるリーフ（近藤 守雄）、羽後新庄局のDN3B2印データ更新（斎 享）ほか

エハカキ（発行：日本絵葉書会）



76号を発行（3/25）特集 肉筆絵葉書あれこれ（富田 和哉）絵本のような連載絵葉書（林 丈二）絵葉書をより愉しむために（十二）（高尾 均）私の小早川秋聲（九）（松竹 京子）石橋（四）（林 丈二）ほか

郵趣仙台（発行：仙台郵趣会）



247号を発行(4/11) 東京青森間の時刻入り楕型鉄郵印で引受けたカナダ宛菊10銭貼り書状(横山 裕三) 切手に登場した歴史上の女たち(14)(中島 斉) 詩と音楽(14)(佐々木 克夫) 第1次国立公園切手(20)(池田 駿介) ほか

「仙台郵趣会」例会案内

例会開催日時	COVID-19の影響もあり、会場や時間が定まりません。参加希望者は torusai2@yahoo.co.jp
会場	までお問い合わせください。
向こう三ヶ月の例会日	
例会参加資格	会員限定(ダウンロード会員も参加できます)

切手の友会報（発行：切手の友）



3月号を発行(3/14) “絵本の世界”シリーズレオ レオニの切手を買ってしまったII(飯野 明) 開成駅前局、開局初日に行く(竹之内 康雄) 2021(令和3)年の日並び(友田 淳治) 抱き合わせ販売の切手帳(友田 淳治) 台湾切手の整理、1990年代の台湾切手メモ(友田 淳治) ほか

4月号を発行(4/11) 新大津駅前局が移転改称でなくなる(竹之内 康雄) 柴又“川甚”閉店(飯野 明) 郵政博物館ミュージアムショップの閉店セール(友田 淳治) トキワ荘風景印(友田 淳治) 続 2021(令和3)年の日並び(友田 淳治) ほか

5月号を発行(5/9) ぼすくま1円切手初日押印(飯野 明) 貯金の絵文字入り局名印の収集(16)(竹之内 康雄) ワンカップ大関(11)-飲めない男による酒の話-(友田 淳治) スタンプショウ 2021(友田 淳治) ほか

予定されている催事は、季節・時期・地域を問わず、全て急遽中止・変更される可能性があります。ご参加にあたっては、各主催者が提供する一次情報(ホームページや代表電話)を確認の上、ご参加ください。

雑誌名	発行者名	発行予定回数	年間購読料	会員数	備考
IZUMI	いずみ切手研究会	4回	1,000円	121人	毎月の例会と年1回の展覧会を自主運営する首都圏ナンバーワン切手サークル
エハカキ	日本絵葉書会	4回	1,000円		絵葉書文化を提唱する雑誌
郵趣仙台	仙台郵趣会	6回	1,000円	123人	毎月15-16人参加する例会活動を中心とする、東北地方の切手サークル
最近の情報	小判振舞処	6-8回	1,500円	122人	小判切手とその時代に特化し、トップクラスの研究成果を出し続ける切手サークル



[コラム] 今更聞けないフィラテリー (17)

読みにくい消印を読む為の一括画像加工

編集部まとめ

画像加工をマスターすると、マテリアルの研究は進むと言うお話

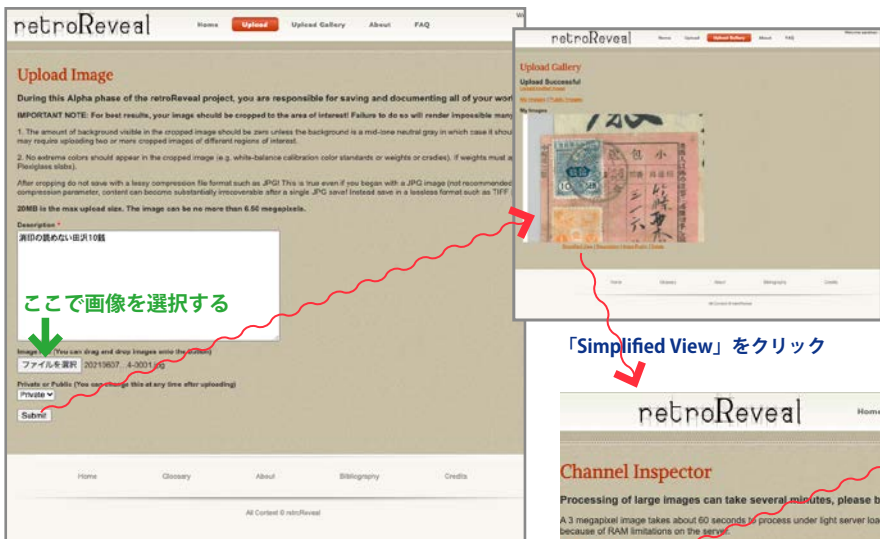
[コラム] 今更聞けないフィラテリーで取り上げて欲しい記事の希望で最近増えているのが、画像加工に関するテクニックの紹介です。Photoshop をはじめとして多数の汎用アプリが世の中にあり、Google で調べれば一発だとは思っていますが、情報が溢れていてフィラテリーに何を活用すれば良いか迷っている方が多い様です。そこで今後はこの分野の掲載を強化していきます。

本日は、「読みにくい消印を読む為の画像加工」と題し、米国ユタ大学のプロジェクトが提供する「レトロリビール (retroReveal)」と言う WEB アプリ (インターネットでアクセスできるサービス) を紹介します。このサービスは一つの画像に対して、トーン・コントラスト等の補正や白黒反転など 50 強の変換パターンを一括でかけてくれると言うものです。なお、出力画像はモノクロに変換されています。

出力される 50 強の画像は、いずれも Adobe 社の Photoshop を使いこなせる方であれば、ご自分で作成可能な画像ばかりですが、同ソフトを持っていない / 使いこなせない方でも、インターネットに繋がる環境さえあれば 5 分後には使えるところが本サービスの良いところです。

<http://retroreveal.org/>

無料ですが、会員登録が必要です。トップページ右上の sign up から登録できます。

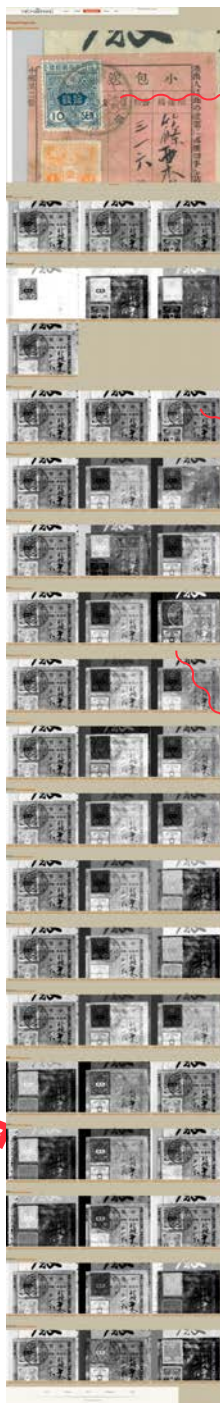


ログインして、「Upload」ボタンを押すと出てくる画面

ここで変換をかけたい元画像を指定できます。

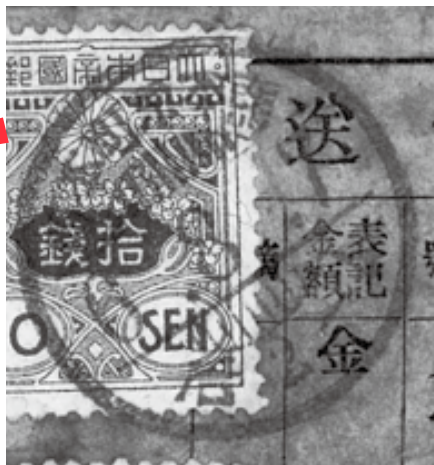
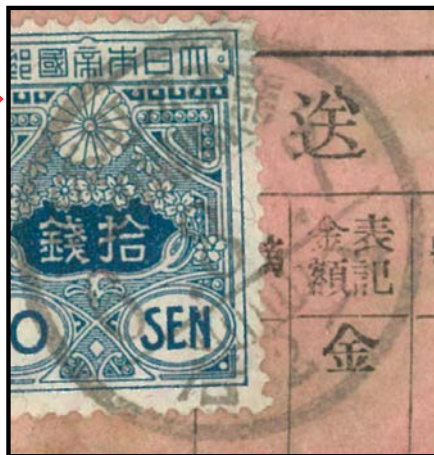
Private or Public で後者を選ぶと公開されてしまうので注意

「Click here to begin processing」をクリック



この画面が表示される
には1分くらいかかる
こともあります。

出てきた中から使える
画像がないか探してみ
ましょう



熊本京町本町
6.8.7
后 2-4
と読めました

戦前の欧文櫛型 JAPAN 印（8）

最終回 電信局

杉山幸比古

欧文電報関係など電信局で用いられた欧文印を取り上げる。特定の地域に限られるので、西から順に地域ごとに進めていきたい。一般局においても、電信関係には概ね金属印が用いられているが、電信局の欧文櫛型印は全て金属印である。

A. 神戸関連局

（1）KOBEC.T.局（神戸中央）

この局に関しては従来、「C.T.」の部分が小文字の「c.t.」であるとされてきた。（＊１）しかしながら図１（1933.3.11）に示すように、「C.T.」と明らかに大文字である。

ただし、「KOBE」の活字と比べるとフォントがやや小さいようであり、このため小文字と誤認されてきたのかもしれない。「C.T.」に関しては「Central Telegraph Office」の略とされている。

鳴美本、ハンドブックの主要２文献には未掲載の局である。データは図１の他に（＊１）の1930.3.31があるのみである。収縮型の金属印である。



図 1

神戸中央局 1933年3月11日

(2) KOBE ONOYE 局 (神戸小野柄)

現在の JR 三宮駅のすぐ南側に小野柄通りという地名が現在も存在し、このあたりにあった局と思われる。とすると三宮局とも近かったことになる。

図2に示すように、バランス型「J」セリフ付きの金属印である。これまで何度か触れてきたが、このタイプの金属印は神戸小野柄の他に、下関、下関2、帝国ホテルの計4局で使用されたものである。最古データは2文献共に、1914.5月であり、最新は鳴美本の1919.7.30となる。



図2 神戸小野柄局
左：1915年4月21日
右：1915年4月22日

(3) SANNOMIYA 局 (三宮)

本来ならばここで電信局としての三宮を取り上げるべきだが、神戸の項ですでに述べさせていただいたので、割愛する。

神戸関連局 (金属印)	最古	最新
KOBE,C.T.	1930.3.31	1933.3.11
KOBE ONOYE	1914.5**	1919.7.30*

各局の最古 / 最新日付における備考は、* 鳴美本 ** ハンドブック

B. 大阪関連局（＊２）

大阪においては明治３年（１８７０年）、川口に大阪最初の電信局が設けられ、大阪（川口）－神戸（大手町）間に電信が開通したという。大阪市西区川口２丁目に「大阪電信発祥の地」の碑がある。次に明治５年（１８７２年）１０月、高麗橋に分局が設けられ、明治１１年（１８７８年）に心齋橋局が開局した。

その後、明治４３年（１９１０年）４月、大阪中央電信局が設置されたが、その起源は明治１６年、梅田に設置された西都電信中央局に由来するという。

この歴史から、川口、高麗橋、心齋橋が明治初期には主要な電信局であり、後述するように川口、高麗橋に欧文櫛型印が確認されていることから、「心齋橋」欧文印が存在する可能性は高いと考える。

（４）OSAKAC.T.局（大阪中央）（図３）

収縮型金属印である。最古データは鳴美本の１９２３．９．１２、最新も鳴美本の１９３５．９．９である。



図３ 大阪中央局 １９２８年６月１４日

(5) OSAKAKAWAGUCHI 局 (大阪川口)

歴史的には大阪最初の電信局であり、欧文印があるのも領けるところである。しかしながら現在まで知られているのは、図4に示すような欧文電報上の印影2点のみである。(もう1点は電報の専門家の方からコピーをいただいている) データは 1915.8.20 と 1916.5.5 である。両文献には未掲載の局である。



図4 大阪川口局 1915年8月20日

(6) KORAIBASHI 局 (高麗橋)

前述したように、明治初期に大阪に設けられた3電信局の1つである。図5に電報上の印影を示すが、タイプはA欄バランス+C欄収縮型の混合型金属印である。

最近、複数のオークションに同様の電報が出現している。両文献には未掲載の局である。データとしては図5以外に、1920.2.6, 1920.3.17を確認している。

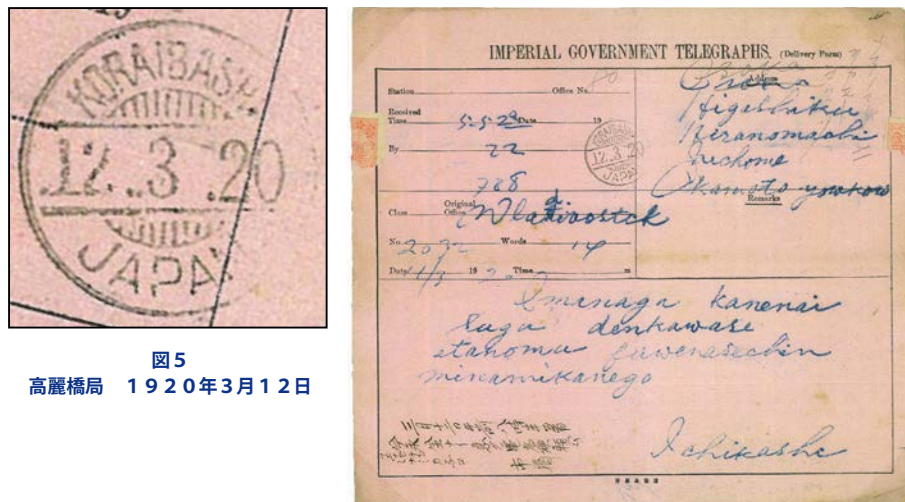


図5

高麗橋局 1920年3月12日

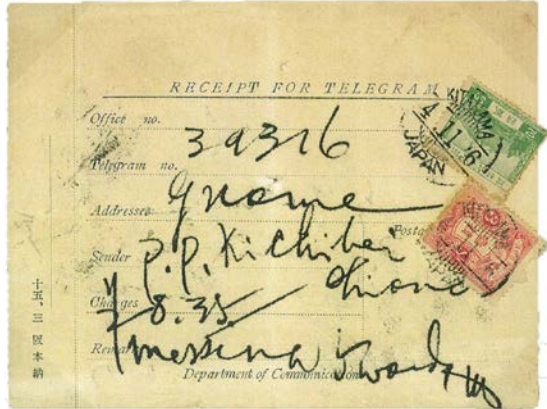
(7) KITAHAMA 局 (北浜)

北浜は大阪市中央区の船場北端の町名で、江戸時代から商業経済の中心地であり、米問屋や両替商などが多数軒を連ねていたことでも知られている。ハンドブックには未掲載であるが、鳴美本に 1932.4.25 のデータがある。

タイプは図6に示すように収縮型金属印で、1926.11.4 である。この2つのデータしかないが、次に続く C 欄 NIPPON 印の KITAHAMA が同じ欧文電報受取り証として文献に存在する。(※3)



図6 北浜局 1926年11月4日



(8) OSAKAHIGASHI 局 (大阪東)

単片上のデータが1点のみ存在する局で、不明な点も多いがここに記録しておく。富士鹿8銭上の印影で、収縮型金属印、1933.6月である。(※4)

大阪関連局 (金属印)	最古	最新
OSAKA,C.T.	1923.9.12*	1935.9.9*
OSAKAKAWAGUCHI	1915.8.20	1916.5.5
KORAIBASHI	1920.2.6	1920.3.17
KITAHAMA	1926.11.4	1932.4.25*
OSAKAHIGASHI	1933.6	

C. 京都関連局

(9) SHICHIJO 局 (七条)

現在の京都駅前にある京都中央郵便局の前身である。最初は京都七条電信分局であり、明治44年(1911年)より七条郵便局と改称され、この電信部門で使用されたのがこの欧文印である。

最古データは鳴美本の1928.4.24、最新は2文献共に1933.8月となっている。金属印であるが図7で見るようにA欄バランス+C欄収縮タイプの混合印であり、SHICHIJOの「J」にセリフが付いている。

図7の朱印は1928年すなわち昭和3年であり、昭和大礼が11月10日京都で举行された年で、それを記念した朱印と思われる。(※5) 京都の項でも触れたが、KIOTO印もこの年は長期間にわたって赤褐色印が用いられており、この七条印も同様の趣旨の朱印と考えるのが妥当であろう。

図8に外国小包送付通知書(イタリア宛)の例を示すが、図9のように裏面にはイタリアの小包切手が貼付されている。京都からイタリア・ボローニャに送られているが、どのような仕組みでイタリアの小包切手が貼付されるのかは、筆者の不勉強で不明である。



図7 七条局朱印
1928年4月26日



図8 七条局 外国小包送付通知書 図9 図8の裏面 イタリア小
1931年4月1日 包切手貼り

京都関連局 (金属印)	最古	最新
SHICHIJO	1928.4.24*	1933.8**

D. 東京関連局

(10) TOKIOC.T.局 (東京中央)

収縮型金属印である。ハンドブックによれば最古データ1929.1.30、最新1930.8.22であるが、図10の1923.10.30があり、最古データを大きく更新する。



図10 東京中央局 1923年10月30日

(11) AOICHO 局 (葵町)

葵町とは赤坂葵町のことであり、1977年町名の変更があり、現在は虎ノ門3丁目となっている。アメリカ大使館、虎ノ門病院、ホテルオークラの付近といえは分かりである。

鳴美本にはデータがなく、ハンドブックでは最古1920.1.20、最新1932.7.26である。図11に欧文電報受取証の例を示すが、典型的な収縮型金属印である。図12の欧文電報上のデータ、1933.10.7が最新データを更新する。



図11
葵町局 1922年10月7日

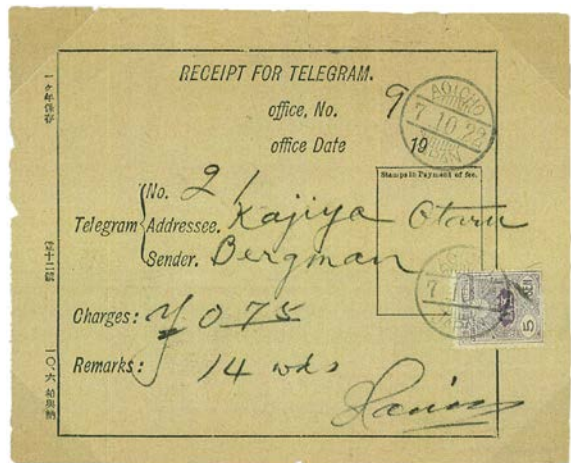
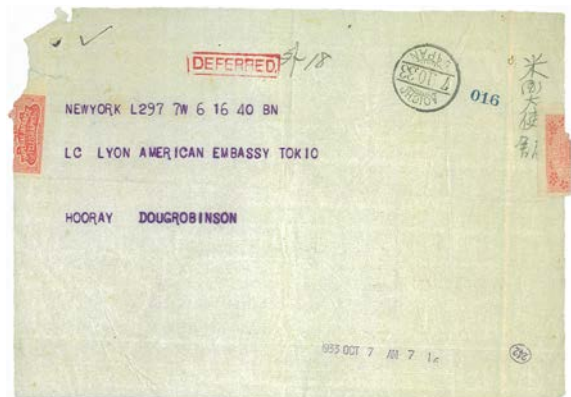


図12 葵町局 欧文電報
1933年10月7日



(12) KOBIKICHO 局 (木挽町)

いよいよ最後の局となった。東京都中央区南部にあった局で現在の東銀座、歌舞伎座付近にあたる。収縮型金属印であり、図13は1906.6.3である。両文献には年号のわかるデータの記載がない。筆者のオークションデータからは1906.5.16があり(*6)、これを最古としておく。

1923年(大正12年)には東京市内電信局として、京橋、深川、本所、葵町など11局が挙げられており、現在は上記の3局だけが大阪のように東京関連局も今後さらに新しい局の欧文櫛型 JAPAN 印が発見されるかもしれない。



図13 木挽町局 1906年6月3日

東京関連局 (金属印)	最古	最新
TOKIO,C.T.	1923.10.30	1930.8.22**
AOICHO	1920.1.20**	1933.10.7
KOBIKICHO	1906.5.16	1906.6.3

連載を通じた、追補・訂正

1) YOKOHAMA 局 小型ゴム印

最近、図14のカバーを入手した。紫のゴム印であるが、通常のものとはペー回り小型である。通常はおおよそ直径25mmであるが、この印は23mmである。また、数字活字にも特徴があり、B欄の中心部に集中して小型の数字活字が存在している。

データは1910.12.6であり、またぞろ明治43年で1/2銭切手は明治43年頃に見られた、小穴+目打抜けの悪い用紙のブラインドパーフ様の切手（*7）である。この印はこれまで未発表のタイプと思われる。



図14 横浜局 小型23mm印 1910年（明治43年）12月6日

2) KOBE 局小型ゴム印

神戸にもやや小型の印があることに、最近気がついたのでついでにご報告しておく（図15）。ただ、神戸の場合は横浜と異なり、数字活字は普通のようなものである。

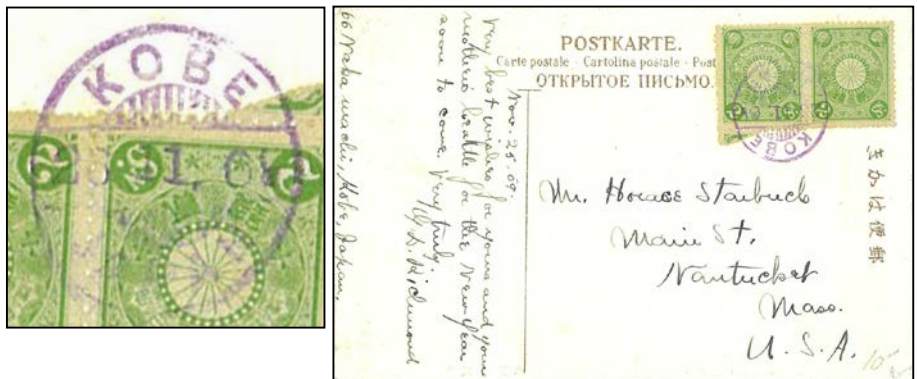


図15 神戸局 小型印 1909年11月25日

3) YOKOSUKA 局 (横須賀)

この局については、過去に1枚の満月消し単片が雑誌表紙に出ているのみ(*8)であり、またその後の発表もなく、素性は明らかではないが一応ふれておく。台切手は菊切手50銭で収縮型金属印のようである。

4) KOBE 局

昨年の JAPEX に九州の久米要三郎氏が戦前の櫛型欧文印の素晴らしい作品を出品された。この中にこれまで筆者が述べてきたことを覆すデータがいくつか含まれていた。

詳細は今後、ご本人からのご発表を待ちたいが、1点だけ、大きな点をご紹介します。それは神戸で、これまで金属印はないとしてきたが、久米氏の作品中に、電信用と思われる金属印が複数あった。驚きであったが他の局のことを考えるなら、神戸に金属印がなかったのが不思議であり、納得のいくものであった。貴重なご出品に感謝したい。また、筆者の神戸部分の記述を訂正させていただく。

4) TSURUGA 局

前回、敦賀局の後期金属印(収縮型)について、データが稀少であると述べたが、最近ネットオークションにイタリアからのハガキの中継印としての使用例が3通、まとまって出現した。同一日付で1918.2.11である。シベリア経路の时期的な興味もあり、報告しておく。

連載終了にあたって

吉田敬さんからお声をかけていただき、この連載を始めさせていただきましたが、あっという間に2年がたち、ここになんとか最終回を迎えることができました。拙いものでしたが、編集部の方々の素晴らしいご編集にもたすけられ、深く感謝申し上げます。また、長らくお読みいただいた読者の皆様にも深く感謝申し上げます。

ご存知の様にこの欧文印は、約30年の長きにわたり使用され、その中に明治、大正、昭和のすべての時代が含まれているという、極めてユニークな消印と思います。使用された局も多く、また長期間の使用のため、マイナーバラエティーもたくさんあり、しかもまだまだ隠れているものと思われま。新たな局の発見も期待され、皆様のご発見・ご発表を期待しております。一個人の収集のみからの発表であり、間違った見解や不十分な点も多々あったことをこの場を借りてお詫び申し上げます。最初に書きました様に、これらのデータをたたき台としてご活用いただき、さらに新たな発見を楽しんでいただければ筆者としても望外の喜びです。長い間、どうもありがとうございました。(杉山幸比古)

<引用文献>

- (＊１) 行徳国宏。外国郵便用欧文櫛型、ローラー、機械印の内地局使用データ（１９１０－４５）補遺。 フィラテリスト 16(10):304-5,1984.
- (＊２) 大阪中央電信局沿革小史。大阪中央電信局、昭和３年刊。
- (＊３) 富士鹿・風景―＜ JAPEX'92 ＞記念出版―fig.109 日本郵趣協会、１９９３。
- (＊４) Japan Stamp オークション。第１０４回フロアー（２０１８年１１月） # ８２６
- (＊５) 大西二郎。色変わり欧文印。関西郵趣 pp229-233,1975
- (＊６) JPS オークション、No.282(1992年４月) # １８２
- (＊７) 杉山幸比古。目打がケバ立つ明治４２・４３年の菊切手。郵趣研究 7(3秋号):43-46,1998.
- (＊８) StampCollector １９９６年２月号、表紙# １０４

戦後の欧文櫛型印 (8)

C欄 JAPAN・後発グループ (中)

神宝 浩

前回は、1951年11月以降に各地で使用が始まったC欄 JAPAN・後発グループ (右の表の④) のうち、「東日本」として北海道、東北、関東 (東京を除く) の各地の欧文櫛型印を紹介しました。

今回はそれに続き、「東京と中日本」として、東京都内、北陸、東海の各地の欧文櫛型印を取り上げます。これらの印はいずれも金属印です。

①	C欄 NIPPON グループ
②	C欄 JAPAN・先行グループ
③	C欄 JAPAN・中間グループ
④	C欄 JAPAN・後発グループ
⑤	事務用印流用グループ

KANDA

東京都内では、1951年10月の時点で、欧文櫛型印の使用局は、東京中央、帝国ホテル内の2局だけ (注) でしたが、同年11月以降、欧文櫛型印の全国展開と歩調を合わせ、あらたに神田、日本橋、京橋および芝の4局が使用局に加わりました。これらの局は、外信便の取扱量がそれなりに多かったようで、使用例の収集はいずれもそう困難ではありません。

(注) 東京中央羽田分室は当時一時閉鎖中。

図1は、神田局の欧文櫛型印 KANDA / JAPAN の使用例で、観光地百選の菅沼・丸沼24円を加貼したカナダ宛航空書簡に使われたものです。航空書簡の料金は当初38円でしたが、1949年6月に24円値上げされて62円になり、旧料金38円の航空書簡は図1のように24円切手を加貼した形で使われました。



【図1】 KANDA 1951.12.21

NIHONBASHI

図2は、日本橋局の欧文櫛型印 NIHONBASHI / JAPAN の使用例です。米国宛航空書状（料金 80 円）に対して、観光地百選の和歌浦・友ヶ島 24 円 3 枚、かもしか 8 円、計 80 円分の切手が貼られ、欧文櫛型印が鮮明に押されています。



【図2】 NIHONBASHI 1952.10.31

KYOBASHI

京橋局は戦前にも欧文櫛型印を使用した時期がありましたので、戦前、戦後の両方にわたっての欧文櫛型印使用局となります。

図3は、ゼロ付塔航空 40 円を 2 枚貼った米国宛航空書状に、KYOBASHI / JAPAN の欧文櫛型印が押されたものです。米国（第3地帯）宛航空書状には立山航空 80 円切手が使われたケースが多いですが、塔航空 40 円切手の 2 枚貼もときどき見かけます。



【図3】 KYOBASHI 1952.11.19

SHIBA

図4は、芝局の欧文櫛型印の使用例で、カナダ宛の船便書状（料金24円）に SHIBA / JAPAN 印が押されたものです。切手は尾長鳥5円の田型と初雁4円、計24円分が貼られていて、たまたまかもしれませんが鳥図案の切手の貼り合わせとなっています。



【図4】 SHIBA 1952.4.19

NIIGATA

北陸地方の欧文櫛型印は希少局が多いですが、新潟局の NIIGATA / JAPAN 印の希少度もかなりのものと言えるでしょう。図5は、米国宛航空書状への使用例で、80円分の切手を貼ったカバーに NIIGATA の金属印が押されたものです。



【図5】 NIIGATA 1952.4.5

TOYAMA

富山局の欧文櫛型印のTOYAMA/JAPANはNIIGATA以上に希少で、筆者の知る限り、エンタィアで残されている使用例は現存3点、いずれも航空書簡への使用です。図6はそのうちの1点で、米国宛の額面50円の航空書簡にTOYAMA/JAPAN印が押されています。



【図6】TOYAMA 1952.5.16

KANAZAWA

金沢局の欧文櫛型印KANAZAWA/JAPANは、NIIGATAやTOYAMAほどではありませんが、それでも収集はそう簡単ではありません。

図7は、観光地百選の赤目四十八滝、長崎各8円に、平和条約記念8円、計24円分の切手を貼ったドイツ（当時は西ドイツ）宛の船便書状にKANAZAWA/JAPAN印が鮮明に押された例です。



【図7】KANAZAWA 1952.2.5

SHIZUOKA

北陸地方に続いて東海地方に移ります。まず静岡ですが、静岡局の欧文櫛型印 SHIZUOKA / JAPAN は、北陸地方の各局に比べればそれほど希少性は高くなく、ありふれてはいますが収集はそう難しい部類ではないように思います。

図8は、観光地百選の昇仙峡24円を貼ったスペイン宛の船便書状に SHIZUOKA/JAPAN 印が使われたもので、24円切手の典型的な1枚貼エンタイアです。



【図8】 SHIZUOKA 1951.12.17

NAGOYA

名古屋中央局は、大局でありながら戦後ずっと欧文印の配備がなかったようで、ようやく1951年(昭26)11月になって、欧文櫛型印の全国展開の一環として、NAGOYA/JAPAN 印が配備されたと考えられます。

図9は、能面50円と郵便夫30円、計80円分の普通切手を貼った米国・ハワイ宛航空書状に NAGOYA/JAPAN 印が押された例で、立山航空発売前の時期のものとしては最もよく見かける貼り合わせのカバーです。



【図9】 NAGOYA 1951.12.27

NAGOYAHIGASHI

名古屋市内では名古屋中央局と並んでもう1局、名古屋東局にも欧文櫛型印が配備されました。印影はNAGOYAHIGASHI / JAPANです。

図10は、ゼロ付塔航空40円ペア貼の米国宛航空書状に対してNAGOYAHIGASHI / JAPAN印が使われたものです。



【図10】NAGOYAHIGASHI 1951.12.29

GIFU

岐阜局の外信便の取扱量はあまり多くはなかったと思われ、岐阜局の欧文櫛型印GIFU / JAPANの使用例はかなり希少です。

図11は、タブ付のUPU75年記念24円のほか各種の切手、計160円を貼り合わせた米国宛航空書状の2倍重量便にGIFU / JAPAN印が押されたカバーです。岐阜局の欧文櫛型印はA欄の局名の活字が周囲の枠より若干へこんでいたようで、どの印影も「GIFU」の表示がやや薄かったり、一部が欠けたりしているのが特徴です。



【図11】GIFU 1951.12.18

TSU

三重県の県庁所在地局の津局にも、欧文櫛型印全国配備の一環としてTSU/JAPANが配備されました。三重県は経済的なつながりから東海地方に含めて扱われることも多いので、津局の欧文櫛型印はここで取り上げることにします。

図12は、外信はがきへの使用例で、ニュージーランド宛船便はがきにTSU/JAPAN印が押されたものです。このはがきはアマチュア無線の交信記録のようで、当時海外から無線を受信するとそれをはがきで連絡しあっていたものと思われます。



【図12】TSU 1952.10.27

資料公開「欧文日付印について」（1956 年）

行徳国宏

これまで多方面の郵政資料を調べてきたが、筆者の投稿文に部分的に引用しただけで、全体の内容を開示していないままの郵政資料がまだいくつか残っている。個々には貴重な郵政資料であり、関心のある方は既に入手されているものもあるかと思う。他方では、全文を知りたいと思う方もおられるかと思う。

その中の一つ、主題の我が国の初期の欧文日付印の材質に関して関係部署ではいくつかの材質を試用してきたことはあまり知られていない。そこで、気がついた郵政資料の中から、全文と図版を引用してみたいと考えた次第である。

欧文日付印について

（出所：加藤 正功氏（用品研究課長）『通信協会雑誌』No.538、1956 年 3 月号、42-47 ページ）

はしがき

明治 8 年 1 月 1 日から日米郵便交換条約の実施によって初めて我国から郵便物を外国に差出せるようになったのでありますが、当時の郵便取扱の実体は先進各国に比べれば極めて粗末で、前島密氏の郵便創業談中にも偶々日付印にふれて、木の柄に真鍮の輪を嵌め内側へ水牛材に彫った活字を挿したものを造らせたが、ローマ字、その他、つまり国名、局名の字体が見苦しく外国行には適さなかった旨記述されております。

我国から差出す外国あて郵便物に引受消印として、年、月、日、局名、国名を円形の輪廓内に明示した日付印が使われるようになったのは、この年以降となりましょう。内国用郵便日付印については前年の明治 7 年 10 月に次のような公達が出されており、外国郵便業務開示への下準備と郵便物へ押捺する日付印の重要性を考慮してのことと思われます。

郵便に月、日、地名付の印を押捺して各地発着の月日を証し、且切手消印両用すべき為め、日付印一顆相渡候条押捺方左の通相心得可取扱此段相達候也

明治 7 年 10 月 駅通頭前島 密

- 1 此日付印の押し方は郵便物の余白を見計い姓名、肩書、等の障に不相成但明瞭なる様押捺し又郵便切手を消すには可成濃黒の肉にて切手七分外部へ三分位の割合を以て消印し再用の患無之様注意可致事、以下云々。

右の部内公達は郵便日付印の取扱心得とも云えるもので当時の新型日付印の交付と共に出されたのらしく、その後通信官署にあっては郵便為替、郵便貯金、電信電話の各現業事務に同様式の日付印を使用する関係上通信日付印の規程が通達されたのであります。

内国郵便物に押捺される邦文日付印の型式は円型輪廓の直径、局名、地名、年、月、日、活字の配列など、明治創業以来数次にわたり改変され、又活字の材料についても「ツゲ」材から水牛材へ更に鉛合金材へと改善されて現在に至りました。（ゴチックは筆者による。）

一方で外国郵便物に押捺する欧文日付印については、明治、大正、昭和、各年代を通じて、前記の邦文日付印の様式をそのままに局名、国名、の両活字を英文に、年活字の数を西暦に置換えて使用されており、これを万郵連加盟各国の郵便日付印に比べると印影の品位、様式についていささか遜色を免れなかった訳で、更に我国の様式には引受時間の明示がなかった点から郵務局国際業務課から時間活字の挿入とあわせて様式改善の要請を受けたので、日付印軸の構造改善に目を染めることとなりました。

そして、過去の欧米諸国で使われた日付印については、通信博物館所蔵の見本参考品を調べると共に最近外国からの到着郵便物に押捺されてある手押日付印の様式及び外国文献に載せられた印影などを比較検討した後、従来の国名、局名、年、月、日、のほか時間の更植をも行えるものとしてはどんな型式が適するか研究も進め、昭和26年7月に一応の結論を得られたので、第1次試作品を造り試用結果も良好だったため、その後逐次増備されている状況であります。特定の方々以外は格別注目する機械もないであります。欧文日付印の内容を事業用品としての性格でご紹介するのも何かの御参考にと考えます。

日付印改善の条件と構造の選択

従来の欧文日付印輪廓は邦文のものと同じく直径24耗で更植活字は局名国名と年月日を上、中、下、三区画に分けてあり、これに強いて時間を挿入しようとすれば局名、又は国、の一部分に楕円半月部が残っているだけで、これは技術的には極めて困難なため、むしろ従来の型式にとらわれずに基本条件を充し得る新構造とした方が良くと考えられたので研究方向をこの様に決めました。

まず各活字の更植回数を考えますと、新たに挿入する時間活字は毎日仮に9回行うとして年間3295回、日活字は365回、月活字は12回、年活字は1回が最低限度必要で、これに各活字の摩損を考慮に入れば更に回数は増す訳で、特に時間活字の更植を従来通り印軸の輪廓環を外して嵌め替える手法によると極めて繁雑となるばかりでなく予備活字の完全保管など相当困難な条件に伴うので、更植に際して一々活字の嵌替えを必要としない回転字輪型を採用するのが合理化への一歩と考えられ、国名、局名、は輪廓部に直接彫刻し、年、月、日、時間、活字の4種のみを回転更植出来る構造とすることに決めました。

次に日付印軸の形は従来から取扱作業上の習慣及び便否から棒型、槌型の形式をそのままとし、又回転字輪を日付印頭部に装置させ、かつ、明瞭な押捺効果を期するには印影の直径も当然大きくしなければなりません。そこで従来の24耗から27耗に拡大しました。無論諸外国の日付印直径は大部分が27、8耗あり、30耗近くのものも数種あります。

我国で外国郵便用に利用される郵便切手の大きさ、例えば33耗x22.5耗に短形面を消印するにはこの寸法で格別の支障はないものと考えられます。

主要部の材質と更植構造

従来の欧文日付印は邦文のものと全く同一規格で更植活字は鉛合金でしたが前記構造の採用と共に、時間、日、月、年、局名、国名活字総て堅牢化は計らねばならず、又比較的狭い日付印頭部内に5種類の回転字輪を装置するためには各字輪の寸法精度を特に高くし将来活字部品としての交換、補給、に備えねばならぬため当然優良鋼を最適とするので柄を除いて総て鋼材とすることにしました。又、彫刻した文字表面は特に硬化処理を施して摩滅の低下を計りました。そして字輪の更植構造は別掲写真に示してあるように輪廓枠内に軸を通し、これに各活字輪を挿入したもので各活字輪には12個の星型孔を設け、更植のため回転させた後、ツマミの付いたピンを星型孔に貫通し各字輪を固定出来るようにしました。印影については上半が局名、下半が国名、で中心部に左から日、

月、年、時間の順序に配列され配列内容は左表の通りであります。この中、月、活字のみは他のアラビア数字との誤読をさけるため特にローマ数字としてあります。

日付印影の品位

欧文日付印様式の改善によって日付印の品位が高められなければ、改善価値は少ない訳で、特に外国郵便物の押捺され、海外諸国の受信者に到着した場合、この郵便物を受取った我国郵便局の責任を明確にするばかりでなく、我国近代文化の水準を語るスケールの一端ともなることは、郵便切手の品位に次ぐものと云えないでしょうか。

ここに述べた日付印が使われるに先立って昭和 26 年 8 月郵国第 978 号で通信日付印の年、月、日更植に対する注意として、外国あて郵便物に押捺される日付印の年、月、日、が区々にわたり、名あて国乃至名あて人が差出年月日の判断に苦しみ、不便を与え、又取扱上でも故障があることを外務省を通じて苦情申出があるから以後慎重を期するよう云々の通達が出されておりますが、これはとりもなおさず万郵連加盟国の各国側では郵便日付印に深い関心を持っている証左云えましょうし、この改善によって向後このような心配は解消されるものと信じられます。

ともあれ明治、大正、昭和の三代を通じて様式、構造、共に少しの飛躍もみあれなかった、この日付印改善方に戦後特に留意し、その方向を示された郵務局国際業務部門の熱意に深い敬意を表すると共に、たとえ 100 パーセントの効果は挙げられなかったにもせよ、我国の外国郵便使用日付印型式に一エボクを画す仕事に供力出来たことは吾々資材部門担当者としても望外の喜びと感じております。なおこの欧文日付印の使用については外国郵便取扱規程の一部改正と共に、昭和 27 年 4 月 10 日郵国第 558 号で通達され、昭和 31 年 1 月現在配備数は、右の通りであります。

様式
楕型
欧文日付印 1 号
更植活字配列

種 類	日 月 年				時間
	A	B	C	D	E
各 字 輪 の 彫 刻 文 字 の 展 開	1	1.	1.	57.	0-8
	2	2.	11.	57.	8-10
	3	3.	111.	57.	10-12
	-	4.	IV.	54.	12-14
	1	5.	V.	54.	14-16
	2	6.	VI.	54.	16-18
	3	7.	VII.	55.	18-20
	-	8.	VIII.	55.	20-22
	1	9.	IX.	55.	22-24
	2	0.	X.	56.	
	3		XI.	56.	
	-		XII.	56.	

上記は交換局用の配列

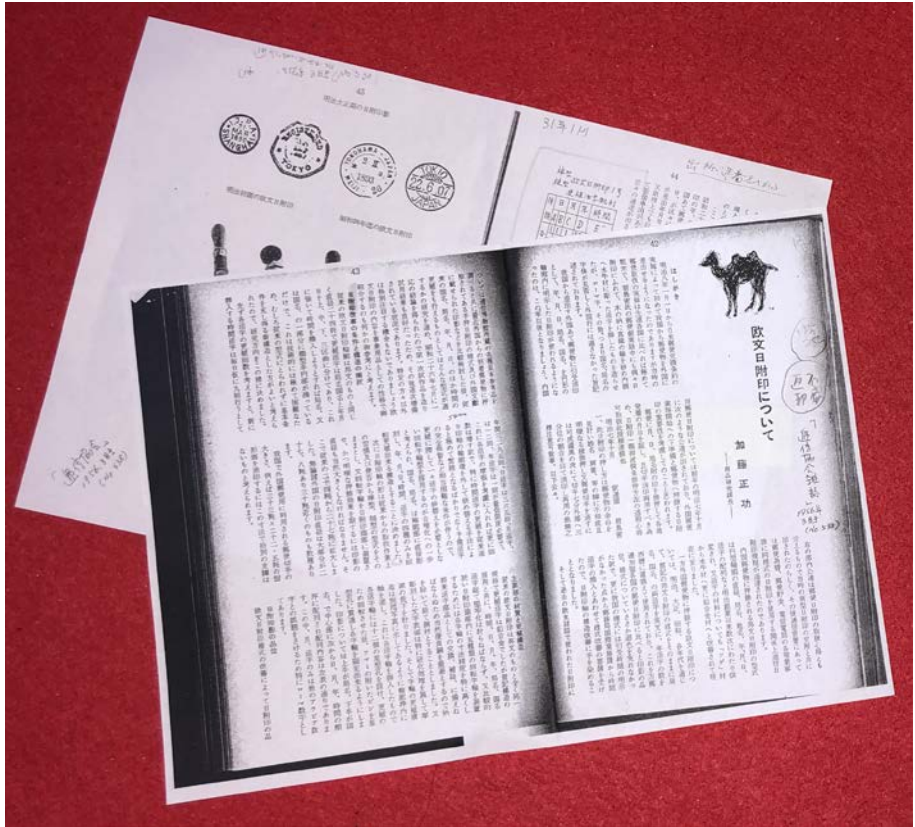
時間活字は通常局集配、
無集配によって異なる。

郵政局	棒型	楕型	計
東京	131	114	245
長野	16	16	32
名古屋	50	50	100
金沢	10	10	20
大阪	90	87	177
広島	43	43	86
松山	18	18	36
熊本	53	52	105
仙台	32	31	63
札幌	14	14	28

欧文日付印配備数

むすび

以上欧文日付印様式の改善実施の内容を資材面から略述した訳ですが、吾々技術部門の担当者としては満足していないので、例えば時間、日、月、年、の各活字は能率的に更植出来るようになりましたが、印軸頭部に局名が直接彫り込んであるため、印軸そのものが各局互換性がなく事業用品として将来への補給、維持、という立場からは局名更植をも簡易に行える構造とすることが今後に残された点と云えます。



欧文日付印について、加藤 正功氏（用品研究課長）『通信協会雑誌』 No.538 1956年3月号 42-47 ページ

明治大正期の日附印影



明治初頭の欧文日附印

昭和26年迄の欧文日附印



明治二十年前後に使用された
日附印の構造
頭部は真鍮製で更植活字は水
牛材へ彫刻されたもの

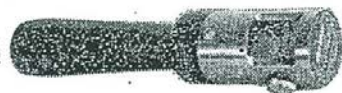
明治三十七年以後昭和二十七
年迄使用された日附印の構造

外国日附印影の一例



イ	ソビエット	直径	25 耗	} 何れも 戦前のもの
ロ	オーストリア	◇	30 ◇	
ハ	フランス	◇	27 ◇	
ニ	オーストリア	◇	28 ◇	
ホ	中国	◇	26 ◇	

現在の欧文日附印 (改善のもの)

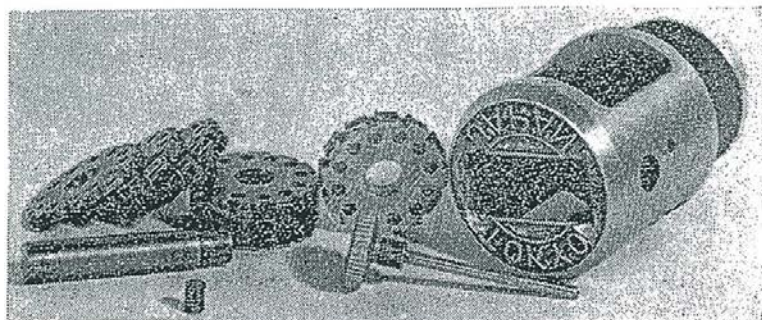


棒 型



植 型

回転文字輪更植構造



現在の欧文日附印影
(改善されたもの)



説明

印影上部 局名

下部 国名

中部 左から日、月、年(西暦)時間

中部の一行が回転更植出来る

富士山頂風景印の印影バラエティについて

石田徹

本誌 30 号 (2021.3) 「風景入通信日付印納品書について (続)」にて記した、「富士山頂の印影バラエティ」に関して新たな情報を記したい。

富士山頂の印影バラエティについて

2 回にわたり、風景印の納品書、納入内訳書について報告し、これを前提として、富士山頂局の印影バラエティに触れ、

1. 富士山頂の風景印使用開始は、昭和 24 年 7 月 15 日だが、それに先立つ 7 月 10 日 (開局日) の印影もあること。
2. そして同日 7 月 10 日既に、大きさ 39mm で鋸歯状の輪郭をしたバラエティも存在すること。
3. そのバラエティは輪郭のみでなく、図案全体の直線部分も歪んでいる事。
4. そして、納品書、納入内訳書により、納入検査が実施されている以上、当初から印影に歪のある風景印が納品されるはずも無く、この歪は納入配備後に複数個の風景印の一つに何らかの原因で生じたものと思われ、一種の損傷、ゴム印の変質から発生したバラエティと考えるのが妥当ではないかと思われる。

ということを示したが、この印影バラエティは、富士山頂局にあったものか、または、事務引継局の富士宮局にあったものかは、本誌 30 号 (2021.3) で示した官白やカバーでは判然としなかった。

今回、この印影バラエティの実通便をもう一つ入手する事ができた (fig.1)。消印が薄く判読困難であるが、差出日が記入されている事、および、裏面の文章から、昭和 24 年 8 月 2 日出発、富士山に登り、2 日間山中湖に泊まった後、8 月 5 日藤沢市片瀬にて文をしたためた事が解る (fig.2)。

これで、この印影バラエティは富士山頂局にあり、記念押印 (8 月 3 日?) した事がほぼ間違いないと思われる。尚、葉書印面は楕型印で抹消されており、その印影は潰れているが、「藤沢 / 24.8.7 / 神奈川」と思われる。風景印で記念押印された葉書が不足料も取られず引受けられているが、富士山頂の風景印があまりにも薄く、またこの形状では郵便印とも思われずに見逃されたのではないだろうか。

ここからは推測に過ぎないのだが、富士山頂に到着した風景印は凍結などの理由で熱水などで暖めたため歪みが生じたものでは無いだろうか。直径が 39mm に膨れているのもそのせいかもしれない。もう一つの 36mm の正円のは事務引継局の富士宮局にあった可能性がある。

すでに使用開始 5 日前に既にバラエティというよりも劣化していたという事、また、正常な歪みのない別の風景印が同時に富士山頂局にあったのであれば、歪みのある印をわざわざ押印する事も無い為、この時点では富士山頂局に風景印の印類はこれ一つだったのではないかと思われるが、いかがであろうか。

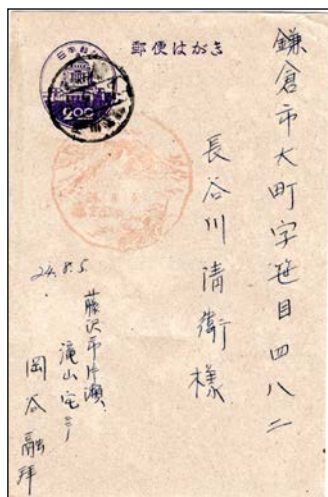


fig.1 富士山頂局、印影バラエティ捺印の葉書。昭和24年8月3日と思われる。
櫛型印は、「藤沢 / 24.8.7 / 神奈川」と推定。

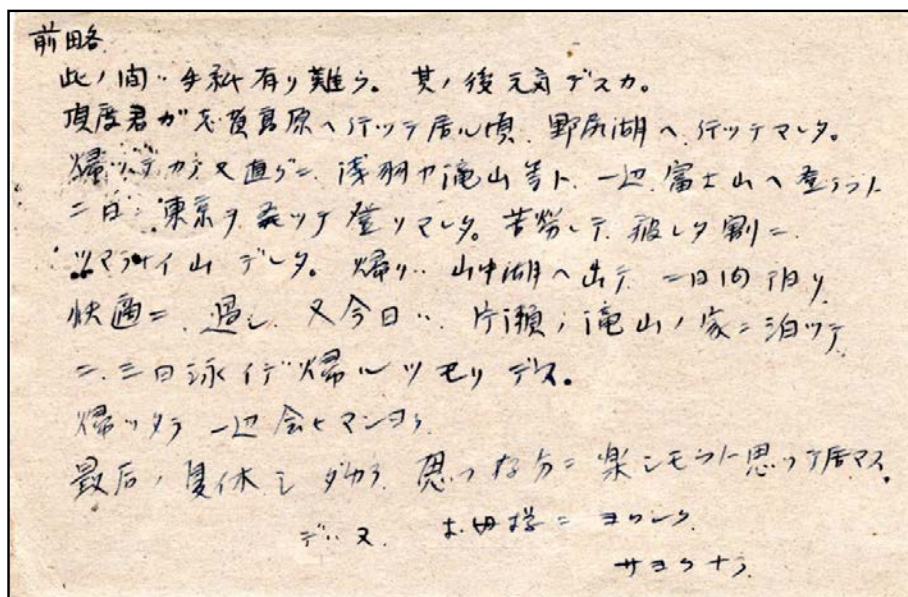


fig.2 葉書裏面、この文面から富士山頂局での8月2日から3日の記念押印と考えられる。

プロイセンの外国郵便料金について

山本勉

フィラテリストマガジン第30号 p.47 に、吉田敬さんが、1867年プロイセン差し立て日本宛の素晴らしいカバーを提示なさっています【図1】。しかし、料金の8 Sgr について、「このあたりはプロシア伝統郵趣のハンドブックに当たっても見つけれずにいます」とあります。

たしかに、この分野の有力な文献「Handbuch der preußischen Freimarken」(Bayer / Stautz 共著)の外国郵便料金の項(08 06 00)を見ると、「外国との郵便は2国間協定によるのが一般的であり、頻繁に料金や条件が変更され、また、仲介国の料金も考慮しなければならず、非常に多岐にわたるため、本書では採録しない」というような意味のことが書かれています。残念ながらこのような専門書でも取り扱っていないのです。



【図1】(再掲) プロイセン切手8 Sgr 分を貼付。「マルセイユ、スエズ経由」の指定。
Elberfeld Bahnhof, 1867.6.8 → Forbach → (たぶん)パリ, 6.10 → マルセイユ → 横浜, 7.30

ところで、ここで言う「外国」は1850年に発効した「ドイツ・オーストリア郵便連合」の加盟国以外の国と言う意味です。この郵便連合は1850年4月6日にベルリンで調印され、同年7月1日に発効した条約です。プロイセン、オーストリア、バイエルン、ザクセンなど、当時のドイツ語圏各国が集まり、それら全体の国土をまとめて一つの郵便上の境域としました。つまり、従来であれば、それらの国境を越えるたびにそれぞれの国の制度や料金に従っていたのを止め、政治上の国境に関係なく、直線距離で10マイル以内、10マイル超～20マイルまで、20マイル超、の3段階に統一したのです。政治上は別々の国ですが、郵便上は「ひとつの国」なのです。

この「ひとつの国」という考え方は、第 34 条にも現れています。この条には、「外国」と直接郵便交換する全郵政当局は、郵便連合の統一的な料金ができるだけ速やかにどこでも施行されるよう努力するとともに、その通信において、自国の郵便料金が連合国内の料金よりも有利にならないようにすること、という意味のことが書かれています。これは、連合加盟国と「外国」との間にも統一的な制度を確立したいという、この連合条約の理想なのです。残念ながら、その存続期間中には実現しませんでした。1875 年の万国郵便連合条約に影響を与えたことは確かです。

余談ですが、ドイツ・オーストリア郵便連合条約は、第 18 条で「加盟各国との郵便物の交換は、郵便料金前納を基本とし、その徴収は可能な限り速やかに郵便切手によって行われる」とあり、これを受けて、それまで切手が無かったオーストリアやプロイセンでも、それぞれ 1850 年 6 月 1 日と 1850 年 11 月 15 日に切手を発行するに至ったことは周知のとおりです。

さて、ドイツのような郵趣先進国で、プロイセンの外国郵便料金に関する文献が全く無いわけではありません。しかし、確かに少ないようです。私の手で該当の時期のものに限ると次の 2 つしかありませんでした。

- ① Zusammenstellung der Portosätze für die Correspondenz mit dem Ausland, Taler - Währung 1846 - 1875 (Werner Steven 著) 【図 2】
- ② Deutschlands Auslandstarife 1850 - 1872 (Florian Berger 著) 【図 3】

両方ともプロイセンだけではなく、①は北ドイツ、②は南北ドイツ全般を扱っており、いずれも完全なものではないと断っています。①によると、1846-1875 年の間の外国郵便に関する資料は 2,500 以上あり、②によると、資料は欠落や散逸しており、たとえ料金表があっても発効日が書いていなかったりして、不完全なものがたくさんあるのだそうです。

区切りとなる年号の 1846 年はよくわかりませんが、

1850 年はドイツ・オーストリア郵便連合の発足年であり、プロイセンの切手発行年、

1872 年はドイツ帝国発足年、

1875 年はドイツで通貨改革が行われた年であり、万国郵便連合の発足年にあたります。

①、②ともにコピーしましたが、ふたつのうち、①には今回の料金に該当するものが見当たりませんでした。したがって、以下の説明は②に基づいて行うものとしますが、まずは次の 2 ページで資料をお見せします。

【図2】文献① Zusammenstellung der Portosätze für die Correspondenz mit dem Ausland, Taler - Währung 1846 - 1875 (Werner Steven 著) の日本の項。

J A P A N

Die Portugiesen landeten 1543 in Japan und brachten das Christentum ins Land, es wurde bald als staatgefährdend verfolgt. Ein geringer Handel mit dem Ausland wurde zugunsten einer strikten Selbstisolation des Landes aufgegeben. Nach vielen vergeblichen Versuchen auswärtiger Mächte, im 18. und 19. Jahrhundert in das Land zu gelangen, erzwang 1853 ein amerikanisches Flottenkommando den Zugang und den Handel mit Japan.

Datum	Leitweg	Brief Sgr.	Loth	RECO Sgr.	Drucksache Sgr.	Loth	Warenprobe Sgr.	Loth	Bemerkung	Quelle
17.08.61	England-Marseille	17 +2½	1 1							23/86/61
18.04.63	England	14½	16 1							10/50/63
01.01.68	Osterreich	D 1	1*						*1 Lot= 2 Bzw.3 Sgr.	76/218/67
01.07.70	Briefpaket USA Bremen/Hamburg	7 6	1 1							41/86/70
16.01.71	Brindisi	8½	1	4.5	1	2½	1	2½		4/10/71
01.08.71	Brindisi	7½	1	6,25	1½	2½	1½	2½	Jokohama.	13/31/71
01.10.71	Briefpaket USA Bremen/Hamburg /Stettin	6 5½	1 1	2	+1% +1 3/4 +1 3/4	50g. 120g. 120g.	1½ 1 3/4 1 3/4	50g. 120g. 120g.	(03.74 je 113g.) (03.74 je 113 gr)	33/74/71
1872	Triest England Frankreich	8 11 3/4 8	15g. 15g. 10g.	5.5 5.25 9	1 1/3 1% 1%	50g. 50g. 40g.	1 1/3 1% 1%	50g. 50g. 50g.		Zu Stell
23.03.72	Brindisi Einschreibbriefe	+4 3/4 +6½ +6½ +13	1 7.5g. 15g. 7.5g.	2	40g.	2	40g.		franz.Schiffe. Jokohoma	23/61/72
27.12.72	Brindisi	7½	15g.	6.25	1½	40g.	1½	40g.	RECO nur Jokohama.	104/293/72
01.11.73	Brindisi Brindisi Einschreibbriefe	6 3/4 +3½ 6 +6½ +4½	15g. 15g. 7.5g.	5.25 2%	1% 50g.	50g. 50g.	1½	50g.	brit.Schiffe. franz.Schiffe. nur Jokohama	74/200/73
30.09.74	Neapel	+2½ +8	15g. 7.5g.	2 6½	2%	50g.				Zu Stell

Thaler - Groschen (ターラー / グロッシェン) という通貨の国のみを対象としています。主に北ドイツです。

印刷物 (Drucksache) や商品見本 (Warenprobe) も扱っており、書留料金 (RECO) も分かりやすいです。

また、1875年というキリのよい時期まで扱っています。この年はUPU発足年であり、ドイツで Thaler / Groschen (南部では Gulden / Kreuzer) という古い通貨が Mark / Pfennige という新しい通貨に切り替えられた年にあたります。

しかし、今回問題としている料金の解明には役立ちませんでした。他のカバーや、もっと後期のカバーを調べる際に、ひょっとしたら役に立つかもしれないので参考のためにコピーしておきました。

【図 3】文献② Deutschlands Auslandstarife 1850 - 1872 (Florian Berger 著) の日本の項。

104 J A P A N

Datum	Porto Silbergr.	Porto Kreuzer	Bemerkungen
1865	19 Schilling		Leitweg 1/5
23.8.61	17	58	Leitweg 1/2
1863	14 1/4	50	Leitweg 1/3
1.7.70	11 3/4	42	Leitweg 1/4, Reco 5 1/4 Gr.
1865	12 1/2 Schilling		Leitweg 2/7 via Marseille
1865	16 Schilling		Leitweg 2/7 via England
1862	1-3 + 7	3-9 + 24	Leitweg 2/5
1872	8	27	Leitweg 2/5
1865	22 Schilling		Leitweg 7/1
1863	16 1/2	57	Leitweg 7/4
20.2.67	15 1/2		Leitweg 7/5
1868	8		Leitweg 7/6
24.11.62	12 3/4	42	Leitweg 8/1
1872	11 1/4		Leitweg 9/1 mit franz.Booten nach Yokohama
1872	8 1/4		Leitweg 9/3 mit brit.Booten nicht nach Yokohama
1872	7 1/4		Leitweg 9/2 mit brit. Booten nach Yokohama
1.7.70	7		Leitweg 14/2 via England
1.7.70	6		Leitweg 14/2 via Bremen oder Hamburg
1.10.71	6		Leitweg 14/2 via Cöln, Reco 2 Gr = 7 Kr
1.10.71	5 1/2		Leitweg 14/2 Reco 2 Gr = 7 Kr via Bremen, Hamburg oder Stettin

矢印が該当部分です。「1862」は適用開始日ですが、正確な日付は不明です。その次の「1-3 + 7」はドイツの国内料金が「1 Sgr ~ 3 Sgr」の範囲で一定せず、したがって外国郵政分の料金 (7 Sgr) と合算できないのでこのような書き方になっています。国内料金は 1 Sgr, 2 Sgr, 3 Sgr のいずれかですので、合算すれば 8 Sgr, 9 Sgr, 10 Sgr のいずれかになることを意味します。その次の「3-9 + 24」は「1 -3 + 7」を南部地方の通貨 Kreuzer (クロイツァー) で表示しています。

その次の「Leitweg 2/5」はルート (ルーティング) を意味します。Leitweg (ルート) は大きく分けて 1 ~ 19 まであります。場合によっては小分けされますので、分かりやすくするため、ルートの大分類 (1, 2, 7, 8, 9, 14) ごとに横線を引いて区分しています。

これに従い、図1のカバーを解析すると、8 Sgr(<Silbergroschen) の内訳は次のとおりです。

1 Sgr= ドイツ郵政の取り分 (この場合プロイセン郵政)

7 Sgr= 外国郵政の取り分 (この場合フランス郵政)

8 Sgr= 合計

なお、文献②(図3)をご覧になって分かるように、ルートがたくさんあり、その違いで金額も異なり、大変複雑です。古い時代の外国郵便料金を考えるときに基本となるのが、このルートの違いです。文献②では、これを、まず「1」はイギリス経由、「2」はフランス経由などと19に大別しています。そして、時期により、あるいは同じ国でも経由地が異なったり、差出地が異なったりすることで、料金や条件が異なる場合、さらに細分します。具体的には次のとおりです。

1/1…イギリス経由 (1852 年頃～ 1856 年)

1/2…イギリス経由 (1854 年頃～ 1862 年)

1/3…イギリス経由 (1863.1.1 ～ 1868 年頃)

1/4…イギリス経由 (1868 年～ 1874 年頃)

1/5…イギリス経由 (1859 年頃～ 1867 年頃) : Hamburg(たぶん Lübeck, Bergedorf も) からのみ
…(中略 : 1/11 まであり)…

2/1…フランス経由 (1851 年～ 1858 年頃)

2/2…フランス経由 (1856 年頃) : バイエルンからのみ

2/3…フランス経由 (1856 年頃～ 1862.3.30) : トゥルン・タクシスからのみ

2/4…フランス経由 (1853 年頃～ 1862 年) : リバプール経由のアメリカ郵船による

2/5…フランス経由 (1858.7.1 ～ 1872/74 年)

2/6…フランス経由 (1862.4.1 ～ 1867 年) : トゥルン・タクシスとバイエルンからのみ

2/7…フランス経由 (1859 年頃～ 1867 年頃) : Hamburg, Lübeck, Bergedorf からのみ

2/8…フランス経由 (1860 ～ 1867 年) : トゥルン・タクシスとバイエルンからのみ

3…ブレーメン経由 (3/1 ～ 3/4 あり)

4…ハンブルク、リュベック、デンマーク経由

5…Stettin 又は Stralsund 経由で東部方面行き、ただし、デンマークは経由せず

6…プロイセンとオランダを経由し、さらにプロイセンとスイスを経由

7…オーストリア経由 (7/1 ～ 7/7 あり)

8…スイス経由 (8/1 ～ 8/2 あり)

9…イタリア経由 (9/1 ～ 9/3 あり)

10…ベルギー経由

11…オランダ経由

12…ポルトガル経由

13…スペイン経由

14…アメリカ経由 (14/1 ～ 14/4 あり)

15…ロシア経由

16…トゥルン・タクシス経由

17…ハノーファー経由

18…スウェーデン経由

19…バーデン経由

実は、前ページの記述だけでは具体的なことは何も分かりません。各ルートごとの説明を見る必要があるのです。文献②では最初にルートごとの説明がまとめてあります。今回はルート「2/5」ですから、その部分を見ると次のように書かれています（一部省略したり、補記したりしています）。

【有効期間】 各国の適用開始時期は次の通り（終了時期は 1872 ～ 74 年）；

1858 年 7 月 1 日～ プロイセン / 北ドイツ郵便連合差立て

1862 年 1 月 1 日～ ハノーファー差立て

1862 年 4 月 1 日～ トゥルン・タクシス差立て

1861 年以前？～ バイエルン差立て

【料金】

ドイツ側の取り分は 1 Loth ごとに 1 Sgr ～ 3 Sgr (=3 Kr ～ 9 Kr)。

外国郵政の取り分は ½ Loth ごとに 7 Sgr (= 24 Kr)

※ Loth (ロート) は重量単位。1 Loth = 約 16.7g。

※ 1 ドイツマイル = 7,500m (=7.5km)

ドイツ側の 1 Sgr ～ 3 Sgr (=3 Kr ～ 9 Kr) の区分は次の通り；

1 Sgr	プロイセンの Rheinprovinz(ライン州)、Birkenfeld(ビルケンフェルト)
2 Sgr	プロイセンの Westfalen(ヴェストファーレン)、Waldeck(ヴァルデック)
2 Sgr = 6 Kr	トゥルン・タクシス、バイエルン(注 1)
3 Kr	ヴェルテンベルクで国境から 10 マイルまで
6 Kr	ヴェルテンベルクで国境から 10 マイル超え
3 Kr	(おそらく) バーデン
3 Sgr	その他のドイツ
1 Sgr = 3 Kr	1872 年頃以降のドイツ帝国(注 2)

(注 1) バイエルンでは、ドイツ料金・外国料金ともに ½ Loth ごとに基本料金が加算される。

(注 2) 1872 年以降、併合料金となり、 $\frac{9}{10}$ Loth (=10g) ごとに基本料金が加算される。

つまり、単純に $\frac{9}{10}$ Loth (=10g) ごとに 1 Sgr + 7 Sgr = 8 Sgr (=27 Kr)。(「1872」の項参照)

※文献では、書留に関する記述もありますが、これは省略します。

※注意すべきは、ドイツ郵政側と外国(フランス)郵政側とでは料金を計算する際の重量の刻みが異なる点です。ドイツ側は 1 Loth ごと、フランス側は ½ Loth ごとですから、ドイツの基本料金 1 Sgr, 2 Sgr, 3 Sgr ではそれぞれ次のようになります。

重量	ドイツ側の取り分			フランス側の取り分			
	1 Sgr	2 Sgr	3 Sgr	7 Sgr	8 Sgr	9 Sgr	10 Sgr
～ ½ Loth				7 Sgr	8 Sgr	9 Sgr	10 Sgr
½ ～ 1 Loth				14 Sgr	15 Sgr	16 Sgr	17 Sgr
1 ～ 1½ Loth	2 Sgr	4 Sgr	6 Sgr	21 Sgr	23 Sgr	25 Sgr	27 Sgr
1½ ～ 2 Loth				28 Sgr	30 Sgr	32 Sgr	34 Sgr
2 ～ 2½ Loth	3 Sgr	6 Sgr	9 Sgr	35 Sgr	38 Sgr	41 Sgr	44 Sgr
2½ ～ 3 Loth				42 Sgr	45 Sgr	48 Sgr	51 Sgr

【図 3】の一覧表で書かれているのは基本料金 (= 網かけ部分) のみです。重量便は、この表のように基本料金の単純な倍数とはなりません。ルートの説明をきちんと読む必要があるのです。

さて、次に問題になるのが差出地です。前ページの表でご覧のように、ドイツのどこで差し立てられたかによって、これだけ国内料金が異なります。外国便の場合、ドイツ・オーストリア郵便連合内のように、単純に 10 マイル以内、10 マイル超～20 マイルまで、20 マイル超、の 3 段階では分けられない場合があります。

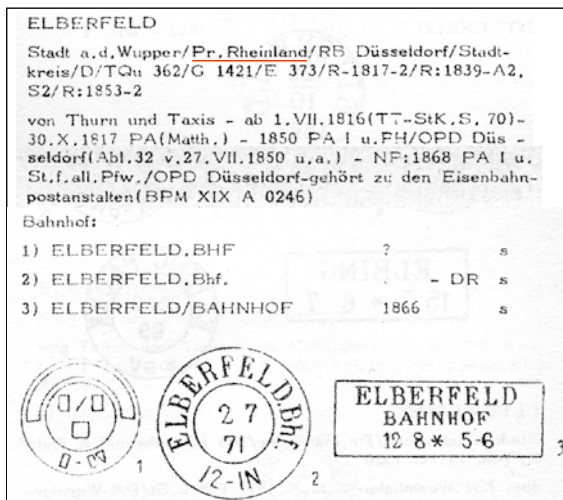
結論から言うと差立て地 Elberfeld (エルバーフェルト) は表の一番上、ライン州にあります。したがって国内の基本料金は 1 Sgr です。郵便局に関連する文献がいくつかありますが、下はその一つ、Preussen, Postanstalten-Poststempel 1817-1867(Werner Münzberg 著)からのものです。下線が示すように Pr.(<Provinz/ 州) Rheinland と書かれています。ついでにその他の情報を説明すると次のとおりです。

RB Düsseldorf	(RB < Regierungsbezirk) デュッセルドルフ県
D	この本の出版時期 (1978 年) の国家帰属。「D」は西ドイツ。
TQu 362	(TQu < Taxquadrat = 料金用四角) の位置「362」(※下記注)
G 1421	(G < Gebührenfeld = 料金領域) の位置「1421」(※下記注)
E 373	(E < Entwertungsstempel = 抹消印) 4 重丸番号印「373 番」
「R:1817-2」、 「R:1839-A2, S2」、 「R:1853-2」	フランスとの郵便料金計算上の地帯 (Rayon)。年号は局名簿の記載年。数字は地帯、「A, S」は課税地点 (A は Aachen、S は Saarbrücken)。

Elberfeld 局の情報 (【図 4】～【図 6】より)

1744 年に郵便所 (PV) に、1808 年に郵便管理所 (Direktion) に、1816 年 7 月 1 日にトゥルン・タクシスからプロイセンに。1817 年 10 月 30 日に郵便局 (PA) に。1850 年に 1 等郵便局 (PA I) に / 管轄はデュッセルドルフ地方郵政管理局。1868 年に北ドイツ郵便連合の 1 等郵便局 (PA I) に。

Elberfeld Bahnhof 局 (鉄道駅局) は 1849 年郵便取扱所 (PE) で開局。1875 年に「Elberfeld 2」(第 2 局) と改称し郵便局 (PA) に。1896 年に第 1 局の支局 (ZdA 1) に。1905 年に 1 等郵便局 (PA I) に。



(※注) ともに距離を測るために作成した地図の区割り番号ですが、詳細は→ポーランド郵趣誌 2017 年 No.155(pp.6～14) と No.156(p.16/訂正)をご覧ください。

【図 4】郵便印の印影は Bahnhof (鉄道駅) 局の部分のみをコピーしています。

ELBERFELD 1	* 1744 PV, 1808 Direktion, 1817 PA, 1850 PAI, 1871 PA, 1876 PAI (Morianstrasse)	DÜS
ELBERFELD 2	* 1849 PE, 1875 PA, 1896 Zda1, 1905 PAI (Bahnhof)	DÜS

【図5】 Deutsche Postorte 1490 - 1920 (Günther Hass 著) から

ELBERFELD 1
Rheinland/ RB Düsseldorf /Stadtkreis/ TQu 362
G 1421/E 373/R:1817-2/R:1839-A2,S2/R:1853 2
von Thurn und Taxis - ab 1.07.1816 preuß.Post-
anstalt g:1817 PA;1850 PA I - OPA Düsseldorf;
ab 1.07.1875 "Elberfeld 1"(43 v.30.05.1875);
Standort: Morianstraße;1923 PA I

ELBERFELD 2 - Bahnhof -
ab 1.07. 1875 "Elberfeld 2"(43 v.30.05.1875);
g: 1896 Zda 1 - Bf. Döppersberg;Stadtpostan-
stalt nun PA I(17 v.6.04.1905);nun "Hauptbahn-
hof"(11 v.12.02.1910);1923 PA I

【図6】 Preussen: Kurbrandenburgische Post, Preussische Post, Norddeutsche Bundespost, Deutsche Reichspost, Postgeschichte und Postanstalten 1649-1923 (Werner Münzberg 著)

※ (参考)1850年の郵政改革で各地に Oberpostdirektion(地方郵政管理局)が設置された。ライン州(Rheinprovinz)には Aachen, Düsseldorf, Köln, Trier の4つができた。



【図7】 1850年1月1日現在のデュッセルドルフ地方郵政管理局管内の郵便局地図

琉球の航空郵便 (5)

ハト航空 12 円

木戸裕介

今号ではハト航空 12 円についてご紹介します。前回の 8 円に続いてですが、ハト航空 3 種発行のうち 2 番目の切手です。

距離別料金では 5000 キロメートル以上 10000 キロメートル以下の地域に対応しますが、これが中々難しく、ハワイが残されていますが、その他のアジア宛などはほぼ見た事がありません。存在するのはハワイが 9 割と思いますが、多いものではありません。

16 円は 10000 キロメートル以上でアメリカ本土が対応しますので、なんとかなるのですが、この 12 円がある種ハト航空では難関となっています。

図 1 は増料金時期の初期適正使用例です。ハワイ宛で、外信船便料金の 3 円竜頭を貼っており、日本宛の船便料金は 1 円でしたから、適正使用で、ハト 8 円 + 1 円とは貼り合わせが異なるのです。

那覇の半櫛で抹消されていますが、この消印是那覇局から牧志局へ移転改称された後の使用例ですので、牧志局で旧来の那覇局消印を使った使用例で、ひねりがあります。

話が本筋からそれますが、那覇局は 50.2.14 に閉局。翌日に牧志局に改称して開局しています。那覇局はこれ以降復活することはありません。那覇中央は 50.1.1 に設置されていますので、那覇局と那覇中央局が併存している期間が 2 ヶ月半あります。別々の場所にある別の局ですので、この辺りは探してみると面白いと思います。那覇局の半櫛は、駄物に見えますが意外と珍品です。気をつけて見てみてください。



図 1

1950年6月に増料金制から統合料金制に変わります。正確な日付はわかりません。これ以降、3円龍頭の基本船便料金は必要なく、12円単貼で適正になります。

図2は首里の半櫛を押した、やはりハワイ宛の適正使用例です。小型封筒で、ルックスがよく気に入っています。

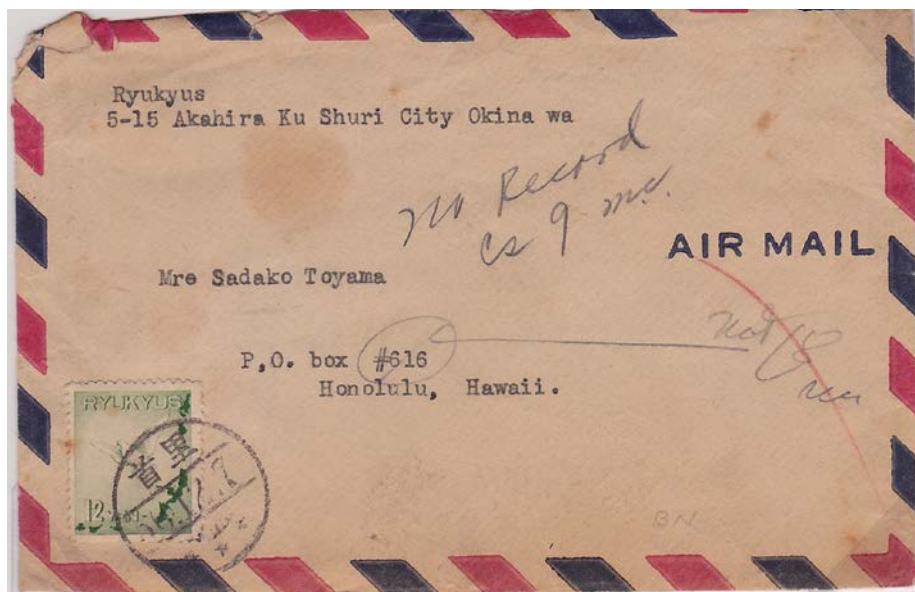


図2

翌年 1951.2.1 になると、本土宛航空料金が 13 円になります。そうすると 12 円に 1 円を足すと 13 円となりますのでその使用例がいくつかあります。

図 3 は 12 円に 50 銭を 2 枚貼った、奄美→大阪宛の料金改正 2 ヶ月後の比較的早い使用例です。消印は鹿児島坂嶺 51.4.28。奄美の櫛型印です。奄美独特の航空 Paravion 印が押されています。局にあったもののようです。

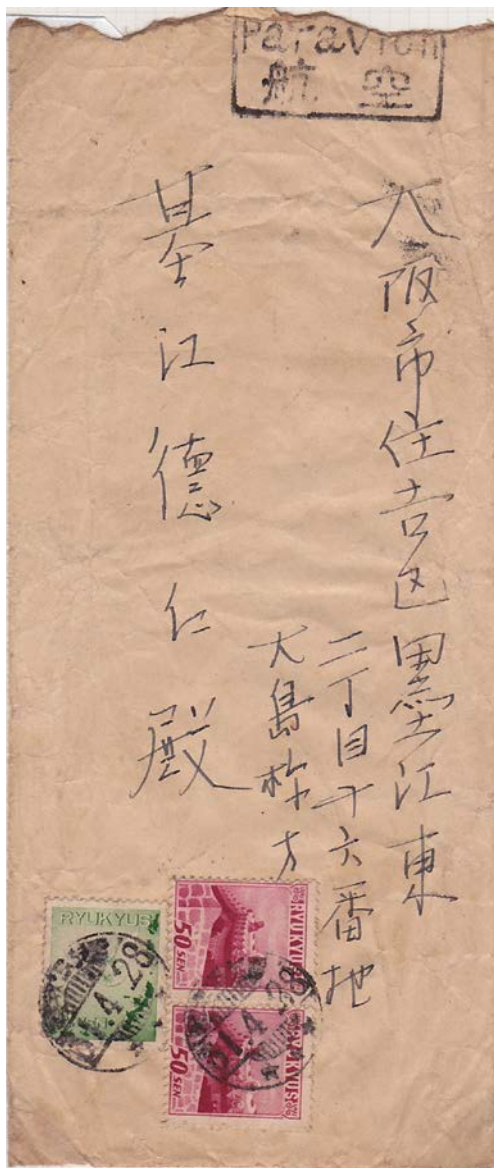


図 3

図4は1円を加貼で13円。沖縄本島→東京宛です。こちらはNAHAの欧文丸二印で抹消されています。この組み合わせが一番見かけますが、ここ4年くらいは出回っていないようです。

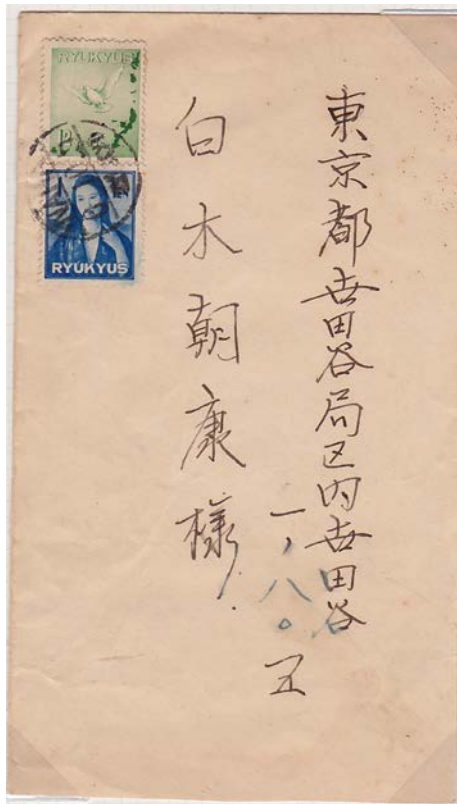


図 4

さらに航空便ですと、4円を加貼すると16円になりますので、米国宛が手元にあります。意外とありそうでないのです。図5です。16円米本土のニューヨーク宛、NAHAの欧文丸二印です。



図 5

航空便はここまでで、内国使用例に移ります。奄美では内国使用に航空切手を使用しているケースが多いです。3円竜頭を加貼した図6は、 $3 \times 5 = 15$ で内国5倍重量便です。鹿児島実久52.3.8 → 奄美群島政府に宛てています。重量便に高額な12円を使用しているケースが多いようです。

図7は、私がハト12円で一番最初に手に入れた使用例で思い出があります。4円を加貼した奄美内の書留使用例です。書留料金は10円ですので、内国2倍重量6円と合計して16円となります。花徳51.11.14 奄美群島医師会宛のルックスの良い使用例です。

ハトの使用例は難関ですが、12円は特にむずかしいです。多数貼が欲しいですが、まだ実現していません。

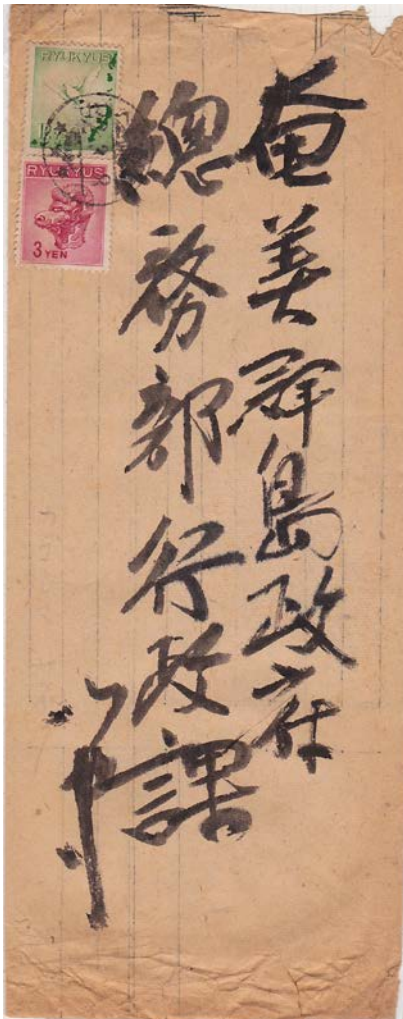


図6

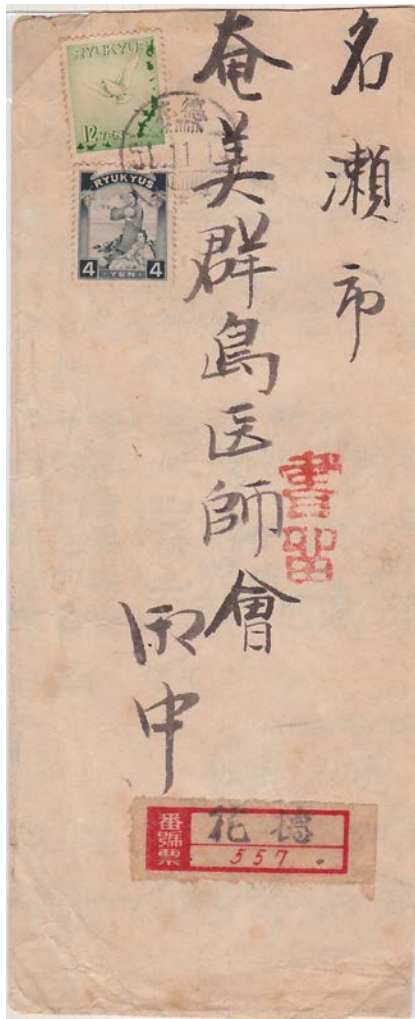


図7

前号掲載記事への追記

通常郵便物封筒の寸法（追記）

行徳 国宏

本誌第 30 号掲載の「通常郵便物の寸法（行徳 国宏氏）」の記事中、109 ページに掲載された大正 14 年 4 月の項目について、執筆者より追加の記事が届きましたので掲載します。（編集部）

109 ページの (2) 大正 14 年 3 月『通信協会雑誌』第 199 号中の『論説』にある「郵便業務と封筒」の本文を、郵政博物館資料センターよりコピーをいただきましたので、ここに追記します。おかげさまで本論をより充実した内容に仕上げることができました。記してお礼申し上げます。

大正 14 年 3 月刊『通信協会雑誌』第 199 号

郵便業務と封筒の統一

逓信局郵便課同人

逓信省では多年の懸案であった郵便用封筒の統一を企て、先ず大（長さ 7 寸、巾 3 寸）中（長さ 6 寸 3 分、巾 3 寸）小（長さ 5 寸 6 分、巾 3 寸）竝葉書形角封筒の 4 種を標準封筒に指定した。申す迄もなく多年の問題が茲に実現の運びとなったこと誠に慶賀に堪へない。此の機会に於て聊か標準封筒制定の趣旨に付て述べて見やうと思ふ。

従来一般に使用せらるる郵便用封筒は、其の寸法様式多種多様であつて、紙質も亦脆弱な為め取揃、押印、区分、道順組立等の点で能率を殺ぐことが少くない。殊に女学生等の間に喜ばれる絵封筒などは、濃厚な紅、紺、赭と云う様な色で印刷された封筒に鉛筆や万年筆で宛名を走り書きされては、配達人の迷惑丈でも並大抵ではないのである。

最近の調査に依ると 1 年間の内地各局引受郵便物の内第一種は拾壹億萬通、第二種は貳拾八億萬通に上がるとのことであるが、之等多数郵便物の消印は一々手押しでは大変だから、数年来能率増進の趣旨で、特に予算を差繰り、米國式自動押印機を購入して、大局から順次据付け使用せしめて居るが、本年夏迄には二百二十有余の一二等局中、実に二百六十数局は据え付けを終わる予定である。此の外林式自動押印機使用の向も少くない。

此の様に折角設備せられたものの、赭て之が利用状況を見ると、何分第一書状の封筒が前叙の通り多種多様な為め、殆んど書状の大部分は手押に據るのみない様な譯で、単に消印の點のみから見ても、如何に封筒の不統一が能率を殺ぎ取扱いの敏速を妨げつつあるかを推知し得るのである。

夫れにはどうしても先決問題として、多年の懸案である所の封筒統一を斷行するの外がないと云ふので、客秋愈之が實行に取掛つた。然しながら特に規定を設け強要することは、事柄自態の性質上面白くないので、寧ろ封筒統一の彼我共に利する所少なからざる由因を力説して、賢明なる一般公衆の自発心に懇へ、漸次統一の實を擧ぐるこそ、眞に現代的であり又或程度迄輿論を尊重することも必要なので、客秋逓信博物館に、市内主なる封筒製造業者及官公廳銀行会社工場等平素多数郵便物発受者の参集を請ひ、いろいろと相互隔意なき意見を交換し尙上局に於ても充分攻究の結果茲に漸く実現の運びとなったのである。

機敏な東京大阪等の封筒製造業者は寄々協議し、既に標準封筒製造販売の向も少くない様だから、日ならずして全国各地に渉ることと思ふが、願わくば此の際一般通信従業員は率先して標準封筒使用の範を示し、協力一致宣伝普及に努められんことを、切に希望する次第である。

和欧文機械印トピックス（第68回）

切り替え時の混乱（3）

水谷行秀

2期→3期への切り替え時の混乱は未だ他に異なるパターンがある。それは逆波である。3期で逆波が生じてしまった理由は、恐らく2期印では波の上から印枠の下までの長さが52mm程度であるが、3期印では43mm程度しかない。これを逆波にセットすることで57mm程度となり、2期印の長さに近いのでこちらの方が正しい向きと勘違いしてしまったからではないかと考えている。

和文機械印では、丸形に切り替わった後も比較的に見ることが出来る（図1）。しかし和欧文機械印となると切り替わり初日に使ってしまった5局しか確認されていない。それら5局はありがたいことに高崎氏の「STAMP FRIEND」誌8号（1990.11.10発行）に記録されている。



図1

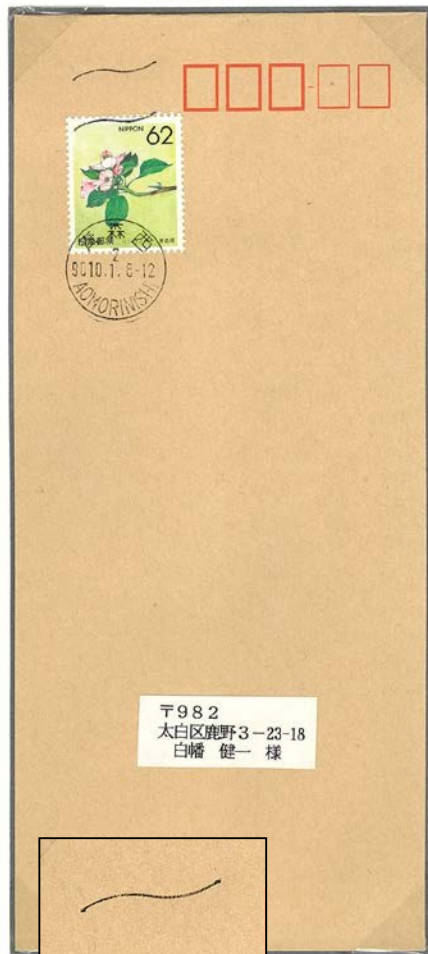
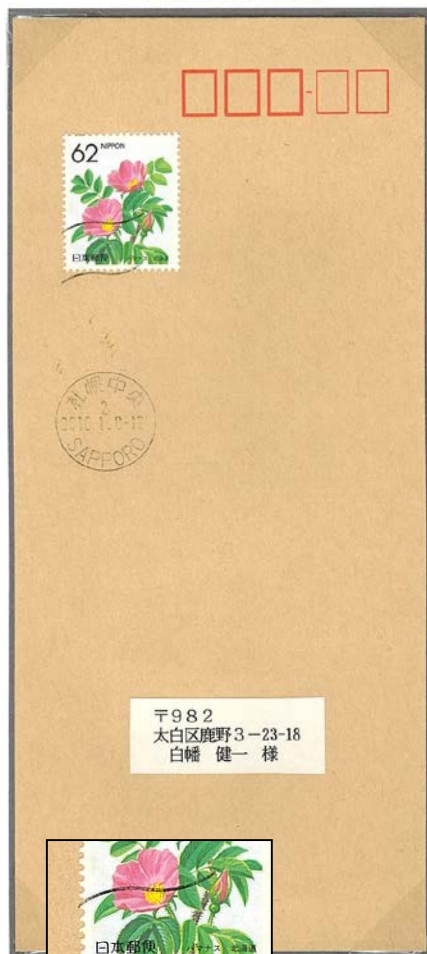
5局とは北から札幌中央・青森西・水戸中央・武蔵野・江戸川である。幸いにも2局はカバーで入手しているので図2（次ページ）に示す。札幌中央の初日午後のカットも入手しているが、こちらは普通の波である（図3）。



図3

札幌中央/逆波

青森西/逆波



2/90.10.1 8-12



2/90.10.1 8-12

図2

北海道で活躍されている湯浅秀樹氏差出のハガキも入手しており、それには「夕方のローカルニュースの中で、札幌中央局の印影が出て来たので見たら12-18で正常に戻っていました。12-18で少しは使った可能性はありますが、8-12はすべてコレだと思います。2台とも逆波でした。(生で見えていますので間違いありません。)」と記されていた。

これは信憑性が高いどころか完全に信用出来る情報としてよいと思う。他の4局については札幌中央ほどの情報が無い。しかし、初日以外の出現はこれまで報告されておらず、初日あるいは早い時間に正常の波にセットし直したのではないだろうか。

3期の場合、逆波にすると波と印枠の間が丁度20mmくらいになる。普通切手の横サイズは22mm。ということは切手を横に貼り、消印が少々横にずれて波と印枠の間にピッタリ入ってしまうと消印洩れとなる可能性がある。それではマズイとなり、初日以降はどの局も注意して間違えないようにしたのではないかと考えている。

和文機械印でも消印洩れとなる可能性は同様である。こちらはそれなりの数の局で使われ、しかも局によっては長く使われた。3期和欧文の逆波が1日で正常に戻った上記理由の考察とは矛盾するが、和欧文に比べ和文で逆波を使用したのは規模の小さい局であるので、そこまで当局の注意が行き渡らなかったのがその理由ではないかと考えている。



無料登録・無料入札の流れ

Philasearch で検索!

- ① www.philasearch.com/jpを開く
- ② 最新オークションからロットを選択し、入札用紙に追加する
- ③ 個人情報登録後、担当会社に入札を送ってから入札完了!

世界の切手オークションが お手軽に

180社以上
参加中

以下の東アジア専門オークション等をご紹介します



Schuyler
Rumsey
Philatelic
Auctions



interasia
auctions



おすすめ!

お探しの切手が
簡単に見つかります!

当ホームページにて国名やトピカルで簡単検索。
検索結果後に細かい絞り込みでお探しの切手が定時間で発見!



www.philasearch.com/jp

※ フィラサーチは、販売代理として日本語対応のウェブサイト及びサポート窓口を無料で提供します。各販売の担当オークション会社により手数料などが発生する場合があります。ご入札送付の際、入札規定をご確認ください。

※ 担当オークション会社へのご連絡、お問い合わせにつきましては、英語のみの対応となります。日本語対応のお問い合わせ・ご意見・ご質問・ご要望などは、service@philasearch.com までご連絡ください。

和欧文機械印トピックス (第69回)

切り替え時の混乱 (4)

水谷行秀

2期→3期への切り替え時の混乱でもう一つの異なるパターンがある。それは2期印をそのまま3期に入ってから使用してしまったものである。名古屋集中のみが確認されている。会員より報告があったため、それに応える形で本誌17号の第24回にて1度取り上げている。まずはその時のものを再掲させていただきたい。



図2



図1

第24回

本誌前号にて加瀬誠氏が報告されている3期期間中に名古屋集中局が使用した2期の印影であるが、私も1点所有している(図1)。一方、名古屋集中では、3期初日に3期印を使用していることも確認されている(図2)。またTPMの前号発行の直前、この当時のカバーのロットを見る機会があり、図1の日付前後の名古屋集中のカバーを複数見つけたが、それら全てが正規の3期印であった(図3)。図1と同じ日付同じ時間帯のものも正規の3期印であった(図4)。

これらから推測して、下記のような仮説を考えた。

名古屋集中では自動取り揃え押印機が複数配備されていた。2台あるいは3台。このうち1台は2期の印がセットされたままになっていた。この1台は予備的な位置付けで、郵便の量が多い時や他の機械の調子が悪い時などにのみ稼働させていた。そのため、押印数も少なく残存数も少ない。

しかし驚くことは、この発見されている2点のデータの間隔である。図1と加瀬氏のもの(1991年4月18日)とは6か月以上の開きがある。集中局ともあろう局が予備的な機械とは言え(仮説が合っているとして)、そんなに長く正規ではない印を使用し続けたことである。



図 3



図 4

その後幸運にもカバーの状態で1通入手したので、それを掲載する(図5)。このカバーの日付は1990年10月1日、そう3期の初日である。この発見で前回掲載時の仮説の一部は当たっていたことが分かった。複数配備されていたうちの1台は2期から切り替えをせずに2期印をセットしたままになっていた。

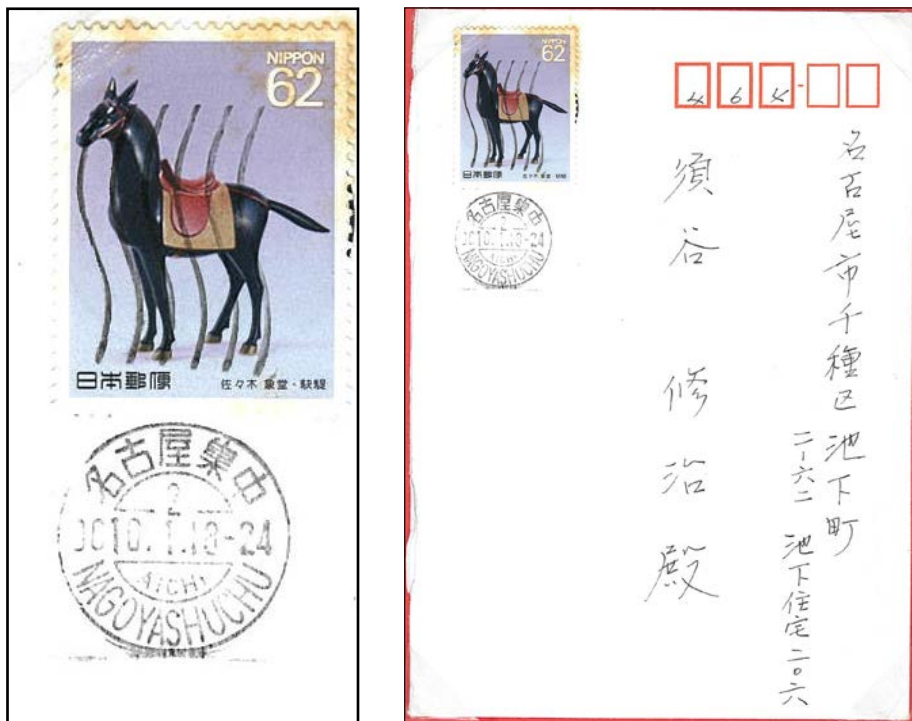


図5

また、高崎氏の発行していた「TOKYO」14号(1991.11.1発行)によると波(3期)+印枠(2期)の混合印が名古屋集中で1991年4月19日の記録があるが、図版が掲載されておらず、また私も実物やコピーを確認していない。

2期印そのままの使用が1991年4月18日まで確認されていることから、4月19日も2期印であったのではないかと考えている。波の無い状態の単片又はカットであれば、波(3期)+印枠(2期)の混合印と会員の方が思われ報告したのではないだろうか。

24回でも記したが、この誤使用は本当に少ない。使用後30年が経過しているのに、現時点においてコピーまたは画像で確認されているものは本誌で発表されているカバー1通と単片2枚が私見では全てである。

参考：高崎氏発行の同人誌名変遷 STAMP FRIEND 1-12, TOKYO 12-21, NAGASAKI 22-32
12号はSTAMP FRIENDとTOKYOの双方にあり。

残念カバー 3 点

安藤 源成

「切手は使われて甦る」が小生の蒐集のモットーです。70 年余り、数千数万のエンタィヤはがきを観てき、集めてきました。一通一通にそれぞれ物語が有り、同じ物はありません。使用した人物、要件、等様々であり、使用された時代、場所もさまざまです。又、逓送経路も時代によって変化します。

新型コロナとオンライン郵便例会のお陰で今まで集めて来たものの整理が大部出来ました。其の整理中に 3 点の残念カバーが有るのを思い出し今回取り上げます。此のカバーが完全品ならば自慢できますが残念ながら自慢できません。

1. 5 円鎌足カバー

このカバーは日本切手社の松島君が商売を始められた頃に入手したもので、図 1 のカバーがブラジル宛ての書留で当時外郵の宛先が珍しく購入しました。



図 1



図 2 (図 1 の表面)

その封筒の中から図3の小型封筒が出てきました。このカバーには幸いにして鎌足5円のみが残り他の4枚の切手が脱落していました。外国宛国際郵便の書留、航空便の為高額な料金の為、5円の当時としては高額5円切手が使用されたと思われますが、他にどのような切手が貼られていたのかわかりません。

また、日米間に航空便は存在して居なかったので、米国内西海岸から東海岸の都市迄航空便と米国からブラジル迄も航空便だったのか？詳細は判らないので果たして料金はいくらだったのか？賢明な方はご解説下さい。



図3



図4 (図3の表面)

通走路は、◎静岡・鷺津 16. (3).30. → ◎YOKOHAMA 31.3.41. → 日米航路 → ◎SAN PEDRO APR.19.1941. → 空路→ NEW YORK →空路→□ SAN PAULO? 27.ABR.1941.

料金は 封書 20 銭 (20g 毎) 書留 10 銭 航空 ((米国内) ロサンゼルス→ニューヨーク) 30 銭 (20g 毎) →ブラジル (サンパウロ) 2 円 (20g 毎) ですので、封書の重量は 40g までの 5 円 10 銭と予想できますがニューヨーク以遠の料金は未確認です。

静岡県からブラジルに移民した親子又は親族の交信で、書留・航空便は封入されていた手紙の内容から旅券を送ったものです。図 5. 6 は封入されていた手紙。文面から当時の撮鋼鉄好きの様子が判ります。

年復
お手紙 拝見致し、大変うれしく
思ひました。お返事も、由何しでも
今後、いよいよ、帰る、由、有りや
う、な、り、ま、す。
お事、の、旅、の、件、
領事、査、証
(旅券、の、方、は、只
(旅券、の、日、場、合、入、る、ミ、ル、の
ミ、ル、を、つ、と、し、て、入、り、持、ち
警、察、署、査、証
(査、証、領、書、
(五、玉、税、
ナ、ミ、ル、二、百、
五、十、ミ、ル、二、
外、の、人、査、証、を、所、で、入、る、警、察、署、の、お、き、を、送、り、
場、合、は、入、る、を、要、せ、う、代、の、査、証、を、入、る、に、お、き、を、
要、せ、う、(五、玉、税、は、入、り、
衛、生、局、査、証、領、書、
一、ミ、ル、二、百、
外、の、査、証、を、所、で、入、る、取、扱、者、を、呼、
び、下、取、扱、者、に、入、る、に、お、き、を、送、り、
不、可、
領、事、査、証、を、所、で、入、る、領、事、館、に、得、
る、

図 5

お金の事は承知致した。
内、各、署、の、所、相、談、り、上、質、格、を、承、
け、上、り、
ミ、ル、二、百、ミ、ル、か、い、す、か
二、三、の、日、の、内、の、日、の、を、以、て、四、下、
様、し、ら、れ、ん、事、と、い、お、待、ち、好、し、
し、ら、れ、ん、事、と、い、お、待、ち、好、し、
お、き、を、送、り、
領、事、の、査、証、を、所、で、入、る、取、扱、者、を、呼、
び、下、取、扱、者、に、入、る、に、お、き、を、送、り、
不、可、
領、事、査、証、を、所、で、入、る、領、事、館、に、得、
る、
三、ミ、ル、二、百、
お、き、を、送、り、
お、き、を、送、り、

図 6

コイル切手書留カバー

何時頃どの様にして入手したかは覚えていません。入手した時点ですでに切手 1 枚が脱落していました。

当時のコイル切手全種が貼付したフィラテリックカバーであることは明確です。当時のコイル切手 6 種を貼って料金過剰で差し立てたと思われ、脱落した切手は 5 厘御朱印船と思われま

す。差出人は記載されていませんが、抹消印、書留票から岡山県井原局から昭和 20 年 1 月 4 日に差し出されていることがわかります。受取人「田中信知」については全く手掛かりがなく判りません。御存じの方はお知らせ下さい。本人が帰郷に際に出したのかも知れません。何れにしてもコイル 14 銭の実通カバーは貴重です。



図7

第二次新昭和 100 円航空カバー

このシリーズ最高額 100 円切手の貼付された郵便関係は、料金収納受取署証や航空郵便の外国宛大型封筒や小包に見られますが、アルバムに貼れる適当なエンタィヤは少ないです。

このカバーは航空第四地帯宛ての為、高額切手の 100 円が使用され、切手の脱落が無ければ実に綺麗なカバーです。

第四地帯の航空料金は 161 円ですので脱落切手は 50 銭 2 枚の内の 1 枚です。抹消印の欧文櫛型印 TOKYO CP03 / JAPAN は珍しいです。

「AV2」は何か判りません。誰か教えて下さい。



図 8

書状 16 円 + 航空（第 4 地帯）110 円 + 書留 35 円 計 161 円

第二次昭和 10・50・100 円 + 50 銭（50 銭 1 枚脱落）

◎ TOKYO.CP03 1.10. 48 → CHICAGO OCY.3.1948. → Argentine

開催報告

ふるさと 故郷の郵便の歴史展

2021 年度第 1 回 郵博特別切手コレクション展

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

本展覧会は、2019 年秋に、郵趣振興協会と小判振舞処（代表：長田伊玖雄氏）で共同企画した展覧会です。FIP 競争展規則とは相容れない収集方法ですが、地元印の収集は世界展でトップクラスの実績を残しているフィラテリストにも広く楽しまれているテーマであり、これらのコレクションを展示する非競争の展覧会を定期的に開催することは、郵趣振興に大いに役立つと考えた為でした。地方郵便印等のコレクションを持つ方の反応も良く、一月で展覧会の開催に必要なフレーム数は集まり、会期も 2020 年 4 月 17 日 -19 日と決定しました。

しかしながら、COVID-19 の流行により郵政博物館が閉館されたことから、同展覧会は延期日程を決めぬままの延期が決定しました。幸いな事に郵政博物館より 2021 年 5 月 8 日からの開催許可をいただき、展示作品案内パンフレットも印刷に出そうか、という段階で、東京都に三度目の緊急事態宣言が発出されることが分かり、郵政博物館が再度閉館される事になりました。

実は、宣言発出の前後から郵趣振興協会では、再度の博物館閉館の場合には、クラウド展示（インターネットで全リーフの閲覧を可能にする展示方法）サービスで展覧会を開催し、臨時閉館が解除された後の最初の土日に、博物館で展示を行う形に『郵博 特別切手コレクション展』の形態を変えることが議論されていきました。

実は、インターネット上における作品展示は個人レベルでは散見されますが、ハイレベルな展覧会での展示コレクションの全てをオンラインにも提供してきた事例は多くありません。「ネットに出してしまったら会場に来てくれない人もいないのではないか？」といった主催者の心配や「自分のコレクションをコピーされてしまうのが嫌」という出品者の意向も大きな要因です。



しかしながら、郵趣振興協会の役員会におけるプレストでは『地方に住む収集家からすれば、都心で開催されるミニ切手展は見に行くことがほとんど不可能（斎享理事）』『海外の展覧会では展示会場における写真撮影を禁止しているところはなく、リアルな展示だからコピーされないというのは幻想（吉田理事）』など、郵趣振興の観点では、協会として力を入れるポイントであることが合意されたため、展示システムの開発と並行して、出品者に対する案内・説得に力を入れました。

この結果、フレーム単位でもリーフ単位でも閲覧できるWEBサービスを開発すると共に、故郷の郵便の歴史展の出品者14名の内13名（5/10からは14名全員）の方に、クラウド展示に合意していただき、5月8日に無事、開幕することができました。クラウド展示が皮切りとは言え、臨時閉館の解除後は郵政博物館で展示を行う展覧会ですので、小型印も使用されました（下図左）。

この時点では、緊急事態宣言の期間は4/25-5/11の2週間とされていたため、切手展の会期は5/8-5/15を変更せず、博物館での展示開催日を解除明けの土日である5/14-15の両日のみに変更しました。

しかしながら緊急事態宣言の5/31までの延長並びに臨時閉館の継続が続いたため、展示期間を6/6まで延長するとともに、博物館での展示日程を6/5-6に延期し、三度目の正直を願いました。

5月末が近づくにつれて、緊急事態宣言の再延期が確実となった為、主催者側では善後策を練っていたところ、東京都の方針で博物館の臨時閉館は5/31で解除されることが判明し、予定通りの会期で郵政博物館における展示ができることとなり、展覧会前日の6月4日（金）に設営が、また会期終了後の6月6日（月）に撤収が行われ、郵政博物館における2日間の展示も無事終了しました。

両日は丁度、有楽町で切手商組合の催事も開催されている日で、展覧会の日和としては悪くなかったこともあり、コロナ禍での開催にも関わらず、176名のご来場がありました。



会場パノラマ風景（開催前日撮影）



本展覧会の小型印の押捺された記念品（出品者に贈呈された）

作品名	オーナー
国立銀行	近辻 喜一
横浜の抹消印・証示印	城野 隆三
明治前期上野国差立の書留・金子入・別配達	設楽 光弘
千葉県の丸一印の集め方	永富 功
八王子の消印	長野 行洋
群馬県の鉄道郵便印（停車場印～丸一型印）	森下 幹夫
甲斐国 二重丸型日付印 アラカルト	穴戸 俊介
明治の東京・深川郵便局ぶらり散歩	鎌倉 達敏
不統一印を愉しむ	立山 一郎
伊賀国消印	須谷 伸宏
三河国岡崎一飛脚と郵便	祖父江 義信
豊後国の郵便路線の発達と初期郵便	桑原 康雄
U小判切手と二重丸型印	平尾 勉
練馬	吉田 敬

切手コレクション紹介

ふるさと

故郷の郵便の歴史展 展示作品 付録1 に全リーフ掲載 (1F)

国立銀行

近辻 喜一

明治の国立銀行とは、1872 年 (明治 5 年) の国立銀行条例に基づいて開設された金融機関である。当時の大蔵大輔・伊藤博文のもとで制度が創られた。

「国立銀行」とはアメリカの national bank の直訳であり、国が設立して経営した銀行ではない。金貨との交換義務を持つ兌換紙幣の発行権を持ち、当初は第一から第五の 4 行 (第三は欠番) が設立された。

1876 年 (明治 9 年)、不換紙幣の発行も認められるようになると急増し、1879 年までに 153 の国立銀行が開設された。銀行は設立順に番号を名乗っており、これを「ナンバー銀行」と呼ぶこともある。

1882 年に日本銀行が開設されると、国立銀行は民営化されて普通銀行になり、紙幣発行も日本銀行のみが行うようになった。

なお、作品オーナーのご好意で本作品は全リーフが付録に収められています。

付録は「マイスタンペディア」よりダウンロードできます。入手後は個人の利用の範囲で印刷等してご利用ください。



10 ページ目

2021年度 第1回 郵博特別切手コレクション展

ふるさと

故郷の郵便の歴史展

2021

5月8日土 — **6月6日日**

PHILATELIC EXHIBITION OF POSTAL MUSEUM JAPAN

国立銀行

明治の国立銀行とは、1872年（明治5年）の国立銀行条例に基づいて開設された金融機関である。当時の大蔵大輔・伊藤博文のもとで制度が創られた。「国立銀行」とはアメリカの national bank の直訳であり、国が設立して経営した銀行ではない。金貨との交換義務を持つ兌換紙幣の発行権を持ち、当初は第一から第五の4行（第三は欠番）が設立された。

1876年（明治9年）、兌換紙幣の発行も認められるようになると急増し、1879年までに153の国立銀行が開設された。銀行は設立順に番号を名乗っており、これを「ナンバー銀行」と呼ぶこともある。1882年に日本銀行が開設されると、国立銀行は民営化されて普通銀行になり、紙幣発行も日本銀行のみが行うようになった。

東京第一銀行	若松第三十一銀行	久留米第六十一銀行	福井第九十一銀行	大阪第二百一十一銀行
横浜第二銀行	大阪第三十二銀行	水戸第六十二銀行	福井第九十二銀行	桑名第二百二十二銀行
東京第三銀行	東京第三十三銀行	松代第六十三銀行	三春第九十三銀行	富山第二百二十三銀行
新潟第四銀行	大阪第三十四銀行	大津第六十四銀行	竜野第九十四銀行	見附第二百二十四銀行
東京第五銀行	静岡第三十五銀行	鳥取第六十五銀行	東京第九十五銀行	米沢第二百二十五銀行
福島第六銀行	八王子第三十六銀行	尾道第六十六銀行	柳河第九十六銀行	大坂第二百二十六銀行
高知第七銀行	高知第三十七銀行	静岡第六十七銀行	小坂第九十七銀行	丸亀第二百二十七銀行
豊橋第八銀行	姫路第三十八銀行	郡山第六十八銀行	千葉第九十八銀行	八幡第二百二十八銀行
熊本第九銀行	前橋第三十九銀行	長岡第六十九銀行	平戸第九十九銀行	大垣第二百二十九銀行
山梨第十銀行	館林第四十銀行	淀第七十銀行	東京第百銀行	大坂第百三十銀行
名古屋第十一銀行	栃本第四十一銀行	村上第七十一銀行	梁川第百一銀行	大坂第百三十一銀行
金沢第十二銀行	大阪第四十二銀行	酒田第七十二銀行	越前第百二銀行	保ヶ谷第百三十二銀行
大阪第十三銀行	和歌山第四十三銀行	神戸第七十三銀行	岩国第百三銀行	彦根第百三十三銀行
松本第十四銀行	東京第四十四銀行	横浜第七十四銀行	水戸第百四銀行	名古屋第百三十四銀行
東京第十五銀行	東京第四十五銀行	金沢第七十五銀行	津第百五銀行	宇土第百三十五銀行
岐阜第十六銀行	多治見第四十六銀行	高須第七十六銀行	佐賀第百六銀行	半田第百三十六銀行
福岡第十七銀行	八幡第四十七銀行	仙台第七十七銀行	福島第百七銀行	鎌山第百三十七銀行
長崎第十八銀行	秋田第四十八銀行	中津第七十八銀行	須賀川第百八銀行	二俣第百三十八銀行
上田第十九銀行	京都第四十九銀行	松江第七十九銀行	佐伯第百九銀行	高田第百三十九銀行
東京第二十銀行	土浦第五十銀行	高知第八十銀行	山口第百十銀行	山形第百四十銀行
長浜第二十一銀行	岸和田第五十一銀行	山形第八十一銀行	京都第百十一銀行	西条第百四十一銀行
岡山第二十二銀行	松山第五十二銀行	鳥取第八十二銀行	東京第百十二銀行	鏡子第百四十二銀行
大分第二十三銀行	津和野第五十三銀行	伊賀上野第八十三銀行	函館第百十三銀行	八街第百四十三銀行
飯山第二十四銀行	沼津第五十四銀行	大聖寺第八十四銀行	高松第百十四銀行	越前第百四十四銀行
小浜第二十五銀行	出石第五十五銀行	川越第八十五銀行	亀山第百十五銀行	延岡第百四十五銀行
大阪第二十六銀行	明石第五十六銀行	高梁第八十六銀行	新発田第百十六銀行	鹿兒島第百四十七銀行
東京第二十七銀行	武生第五十七銀行	大橋第八十七銀行	飯田第百十七銀行	大坂第百四十八銀行
浜松第二十八銀行	大阪第五十八銀行	一ノ関第八十八銀行	東京第百十八銀行	函館第百四十九銀行
川ノ石第二十九銀行	弘前第五十九銀行	徳島第八十九銀行	東京第百十九銀行	八戸第百五十銀行
東京第三十銀行	東京第六十銀行	盛岡第九十銀行	古河第百二十銀行	熊本第百五十一銀行
				沖縄第百五十二銀行
				京都第百五十三銀行

※赤字は展示品

切手コレクション紹介

ふるさと

故郷の郵便の歴史展 展示作品 付録1 に全リーフ掲載 (1F)

名古屋の D・E 欄★入り櫛型日付印

石代 博之

櫛型日付印は、明治 39 年 (1906) に一、二等局で使用が開始され、4 年後の明治 43 年 (1910) に三等局でも使用が開始されたが、最初の通信日付印規定では、無集配二、三等局の日付印は、D 欄の櫛の中に星が白抜きで描かれていた。

本コレクションは、上記テーマを名古屋に絞り展開した研究コレクションである。

出品者の石代博之氏は、本作品の本展覧会への出品を楽しみにしたまま、2020 年 1 月 19 日に逝去されました。本作品は、ご友人の長田伊玖雄さん、並びにユキオスタンプ社のご好意で、一般への紹介ができませんでした。数多くのワンフレーム作品を作った氏の最後の作品をどうぞご覧ください。

なお、作品オーナーのご好意で本作品は全リーフが付録に収められています。

付録は「マイスタンプEDIA」よりダウンロードできます。入手後は個人の利用の範囲で印刷等してご利用ください。



2 ページ目



2021年度 第1回 郵博特別切手コレクション展

ふるさと

故郷の郵便の歴史展

2021

5月8日 | 土 | → **6月6日** | 日

PHILATELIC EXHIBITION OF POSTAL MUSEUM JAPAN

名古屋のD・E欄★入り櫛型日付印

◆ 概要

明治39年1月1日、公達第369號により一、二等局で櫛型日付印が使用され、明治43年1月1日、告示第1,386號により三等局でも使用された。無集配の二、三等局にして市制及び区制施行地に在るものは局名のみを用いD欄★入りを、局の名称長くして欄内に挿入し能わざるときは半月形欄内に市、区名、府縣名又は局名の一部を入れE欄★入りを使用しており、局名が七文字を例示している。

名古屋では、無集配の二等局が1局、三等局が33局存在する。この内、局名が七文字は4局存在し、D欄★入りは2局、E欄★入りを2局確認できた(右例参照)。

E欄★入りは告示に記載がないため、局名が七文字以上の局の検索と、実例による櫛型日付印の確認が必要であり、理論と実証は車の両輪である。

◆ 構成



記号	沿革			櫛型日付印					ページ
	年月日	等級	一	A欄	D欄	B欄	E欄	C欄	
わい	明治36年4月1日	一等郵便局	改定	名古屋					
わろ	明治36年4月1日	二等郵便局	改定	熱田					
わにけ	明治38年4月1日	二等無集配	改定	名古屋笹島	☆	明治45年2月12日	櫛	后7-8	2
わにめ	明治36年4月1日	二等郵便局	改定	名古屋赤塚					
わろの	明治38年4月1日	三等郵便局	改定	名古屋東門前町	☆	明治43年6月19日	櫛	后3-4	3
わく	明治38年4月1日	三等郵便局	改定	名古屋橋町	☆	明治45年1月12日	櫛	后3-4	4
わま	明治39年1月1日	三等郵便局	改称	名古屋江川	☆	明治44年4月14日	櫛	前11-12	5
わけ	明治39年1月1日	三等郵便局	改称	名古屋中市場	☆	大正1年10月31日	櫛	后3-4	6
わあ	明治38年4月1日	三等郵便局	改定	名古屋本町	☆	明治43年11月15日	櫛	后7-8	6
わいち	明治38年4月1日	三等郵便局	改定	名古屋和泉町	☆	明治43年1月17日	櫛	后2-3	7
わいり	明治38年4月1日	三等郵便局	改定	名古屋新地	☆	明治45年5月20日	櫛	后1-2	7
わいよ	明治38年4月1日	三等郵便局	改定	名古屋塩町	—	—	—	—	—
わいた	明治39年1月1日	三等郵便局	改称	名古屋矢場	☆	大正2年3月1日	櫛	后3-5	8
わろら	明治38年4月1日	三等郵便局	改定	名古屋船入町	☆	明治43年5月21日	櫛	前11-12	8
わろむ	明治38年4月1日	三等郵便局	改定	名古屋傳馬町	☆	明治43年3月16日	櫛	后3-4	9
わろ宇	明治39年1月1日	三等郵便局	改称	名古屋坪切	☆	明治44年10月19日	櫛	后5-6	9
わろや	明治38年4月1日	三等郵便局	改定	名古屋門前町	☆	—	—	—	—
わろふ	明治38年4月1日	三等郵便局	改定	名古屋石町	☆	明治44年10月7日	櫛	后3-4	10
わろえ	明治38年4月1日	三等郵便局	改定	名古屋新柳町	☆	明治45年5月8日	櫛	后8-9	10
わにに	明治38年4月1日	三等郵便局	改定	名古屋呉服町	☆	明治43年12月18日	櫛	后2-3	11
わにほ	明治39年1月1日	三等郵便局	改称	名古屋古渡	☆	明治44年1月9日	櫛	后3-5	11
わにと	明治38年4月1日	三等郵便局	改定	名古屋泥町	—	—	—	—	—
わにま	明治39年1月1日	三等郵便局	改称	名古屋奥田町	—	—	—	—	—
わにき	明治38年4月1日	三等郵便局	改定	名古屋神楽町	☆	明治43年6月20日	櫛	前10-11	12
わはい	明治41年2月21日	三等郵便局	改称	名古屋新築町	☆	明治43年3月3日	櫛	前9-10	12
わほを	明治38年4月1日	三等郵便局	改定	大曾根	—	—	—	—	—
わほわ	明治38年4月1日	三等郵便局	改定	熱田旗原	—	—	—	—	—
わほさ	明治41年2月21日	三等郵便局	設置	名古屋鍋屋町	—	—	—	—	—
わほみ	明治42年3月21日	三等郵便局	設置	名古屋上前津	☆	明治44年3月28日	櫛	前9-11	13
わほし	明治42年3月18日	三等郵便局	設置	名古屋上島町	☆	明治44年3月22日	櫛	前9-11	13
わほふ	明治43年3月26日	三等郵便局	設置	名古屋登形町	—	—	—	—	—
わほひ	明治43年3月26日	三等郵便局	設置	東陽館通	名古屋	明治43年7月23日	★	前11-后1	14
わ	明治44年11月26日	—	改称	名古屋東陽町	—	—	—	—	—
わほも	明治44年4月11日	三等郵便局	設置	名古屋末広町	—	—	—	—	—
わへい	明治44年4月11日	三等郵便局	設置	名古屋東古渡	☆	明治44年5月29日	櫛	后6-7	15
わへろ	明治44年4月11日	三等郵便局	設置	名古屋新出来町	☆	明治44年7月14日	櫛	前9-11	15
わへと	明治45年7月21日	三等郵便局	設置	下飯井町	名古屋	大正2年4月5日	★	后9-10	16
わへり	明治45年7月21日	三等郵便局	設置	名古屋築地	—	—	—	—	—

1 / 16

タイトルリフ

国内競争切手展 受賞結果抜粋等

STAMPEX JAPAN 2021

2021/4/10（土）～4/13（火） 会場：郵政博物館（押上）

「スタンペックスジャパン2021」は、我が国で開催される競争切手展の中で、FIPの審査基準に最も準拠する度合いが高く、審査結果が世界的に通用する競争切手展として新たに開始され、無事所定の会期を終えました。

HPで公表されている『スタンペックスジャパン2021 採点 最終結果報告書』によると、出品作品は16点で、審査結果は以下の表の通りとなりました。

No.	展示部門	作品名称	出品者名	Tr 20	Ilm 10	Kn & St 35	C 10	Ra 20	Pr 5	合計 100
1	伝統	France 1849-1862	有吉伸人	18	8	33	8	18	5	90
2		新昭和切手	飯澤達男	16	7	29	8	17	4	81
3		Japan Definitives 1899-1908	内海省一	15	7	28	8	15	4	77
4		Japan Definitives 1937-1940	菊地恵実	18	7	31	8	17	4	85
5		South Korea 1945-1947	木戸裕介	16	7	29	6	16	4	78
7		Japan Definitive Issues 1914-1925	丹羽昭夫	18	8	33	9	18	5	91
8	郵便史	Early Cancellations of MIMASAKA, BIZEN, BICCYU-Han in OKAYAMA prefecture	安藤源成	16	6	30	8	16	4	80
9		配達証明・到達証明郵便	行徳国宏	16	7	30	7	16	4	80
10		Postal History of Transvaal during the Second Boer War	内藤陽介	16	7	28	7	16	4	78
11		朝鮮半島に於ける日本の消印(1876-1945)	中野健司	15	7	30	7	15	3	77
12		大清国家郵政郵便史 1897-1912	藤本博嗣	16	7	28	7	15	3	76
13		郵便の効率化と機械化	水谷行秀	18	7	31	8	17	4	85
14		Overseas Printed Matter 1877-1949	森田美佐子	15	6	27	7	16	4	75
15		郵便に見る昭和 1937-1946	山本幸治	17	7	30	8	17	4	83
16		POSTAL CARDS OF JAPAN 1873-1874	斎享	19	9	34	9	19	5	95
17	ステーショナリー	Postal Stationery of Japanese Occupation Naval Occupied Area	守川環	16	8	31	8	17	4	84

賞は、合計得点により右の表に従い決定されますが、国際展より一ランクずつ甘い点は JAPEX や全日展と同様です。なお今回の展示では全ての作品が75点以上を獲得したため、初出品作品を含めて全ての作品が国際展へのエントリー権利を獲得し、エントリーシートに本展覧会の実績を記載することができます。

得点	賞
90-	LG
85-89	G
80-84	LV
75-79	V
70-74	LS
65-69	S
60-64	SB
55-59	B

なお、特別賞が以下の4名に出されました。おめでとうございます。

グランプリ（1名） 斎 享さん

審査員特別賞（3名） 有吉 伸人さん、菊地 恵実さん、山本 幸治さん

STAMPEX JAPAN 2021 の記録

2021 年 4 月 1 日～4 日

今年が初めての開催となるスタンベックスジャパン2021は、COVID-19の流行の中での開催の確実性を高める為に、余裕をもったスケジュールで業務フローが組み立てられました。

会場設営は、会期開始の10日前に完了し、4月1日には会場には50台100フレーム分の切手コレクション展示パネルが並びました。

郵送による出品物の提出期限である4月1日には続々と出品物が納品され、4月4日には、会場ですべての出品物の確認が行われました。



切手コレクション展示パネルの設営が完了した会場で、出品物の確認をする、横山裕三実行委員会 事務局長

2021 年 4 月 4 日

スタンベックスジャパン2021の記念企画である、WEB セミナー『競争切手展に向けた作品の改善方法』の第1回（3回シリーズ）が同日行われました。

基調講演は、本展審査委員長の佐藤浩一氏による「審査員との駆け引き」で、一時間の講演の後、多くの質疑応答が行われました。

その後「クリティークを活用する為の準備」を吉田 敬氏が一時間講演。本展出品者に、4月11日のクリティークへの準備を求めると共に将来の国際展でも準備してクリティークに臨む様、述べました。



基調講演を行う佐藤浩一審査委員長

2021 年 4 月 8 日

切手コレクション展示パネルへの出品物の展示は、会期二日前に、少人数で選抜された実行委員会により実施されました。

郵趣振興協会の誇る『切手コレクション展示パネル』は、PHILANIPPON 2001 にて使用された国内でも随一に堅牢なパネルですが、その反面取扱いが難しく、最初は戸惑う実行委員もいましたが、作業終了時には皆慣れ、予定通り12時半から4時半までの4時間で全フレームの設営を完了しました。

作業終了後は、実行委員の特権で、換気付きで閉鎖された会場で出品作品の鑑賞をお楽しみいただきました。



設営作業をしていただいた実行委員の皆様+α
(顔出しできない実行委員も数名いらっしゃいます)

2021 年 4 月 9 日

審査委員会のみが会場に滞在できる日として設定されており、実行委員すら立ち入ることができない環境で、一日をかけて出品作品の国際展規則に準拠した審査が行われました。

全国切手展で設営日や参観者来場日とは別の日に審査日が設けられるのは稀有な事例ですが、COVID-19 の流行する中で、競争切手展の開催を確実にする為に、このようなスケジュールとなり、審査は朝から夕方まで行われ、審査結果が決定しました。

審査委員長：佐藤浩一 審査員：山崎文雄、山田廉一
アプレntイス審査員：吉田敬（敬称略）



真剣な審査風景

2021 年 4 月 10 日

本日から 4 日間展覧会が開催されます。まず、開場一時間前に、審査委員会から実行委員会に対して、審査結果が引き渡されます。実行委員会は作品に対する結果の貼り付けや配布用の審査結果表の印刷、を短時間で手際良く行います。

展覧会の開場前には 20 名近い方が並びました。開場と同時に日本切手社ブースに行く方、自分の審査結果を見にいく出品者など、様々でした。

開場と共に、出品作品の最初の 8 リーフを紹介する動画も公開開始となり、COVID-19 の流行などの理由でご来場が叶わなかった参観者に少しでもお楽しみ頂けるよう配慮いたしました。

なお、日本郵便が、本展覧会を記念する小型印を使用するのは、4 月 10 日一日のみ。スタッフ及び出品者に向けた記念品に提供する為、実行委員会は、小型印を押捺する向島局に向かいました。



日本切手社ブース

2021 年 4 月 11 日

スタンベックスジャパン 2021 に出品する意義の半分をしめるのがクリティーク（審査員による作品の改善指導）です。全 16 名の出品者の内 12 名が参加しました。

この内 4 名は、COVID-19 の流行の影響で、東京に移動ができなかった為、急きょ用意されたオンラインクリティークの仕組みを通じて、クリティークに参加しました。

審査委員長である佐藤高一氏による「出品者が納得するまで、時間をかけて丁寧にクリティークを行う」という方針に従い、各審査員は、出品者一人一人に対してじっくり FB を行いました。

出品者も 4 月 4 日の WEB セミナーにおける講演「クリティークを活用する為の準備」で学んだ内容を生かして、質問事項を準備するなど、この改善指導の機会を次の作品作りに生かそうという貪欲さが垣間見れたクリティークとなりました。



オンラインクリティーク 右は iPad をもつ横山実行委員会 事務局長 左は山田廉一 審査員

2021 年 4 月 12-13 日

平日しかご来場できない方の為に月曜日／火曜日も展覧会を開催することにしましたが、特に本年は人が多い土日を避けたいという方が多く、平日開催の意義があったと考えています。

安藤源成実行委員長には 4 月 12 日までご滞在いただき、後援団体の代表の方のご来訪等にご対応頂きました。

またこの間審査委員会は、迅速な審査票の返送を実現する為、全ての審査員が審査票の記入を完了しました。

こうして 4 日間の会期は無事終了しました。



後援団体の JPS 池原郁夫理事長 (左) と、安藤源成 実行委員長 (右)



ブース出店の日本切手社松島社長 (右) から、寄付を頂戴しました。(左:横山)

2021 年 4 月 14 日

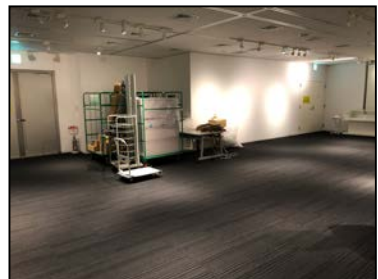
閉場日の翌日、実行委員にお集まりいただき、撤収作業を行いました。

返送に当たっては二人一組となり内容確認しながらコレクションの丁寧な梱包・記念品の封入を行った上で、審査委員会からの審査票の同梱も行いました。

二時間ほどで全ての梱包が完了し、同時に日本郵便の集荷が到着し、全コレクションをセキュリティゆうパックで発送し、実行委員会は解散しました。



上) 会場遠景 下) 撤去完了時の会場

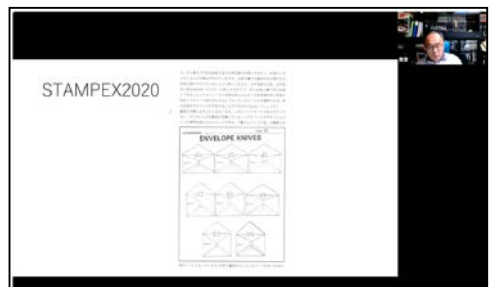


2021 年 5 月 4 日、6 月 6 日

スタンベックスジャパン 2021 の興奮が収まって半月ほど経過した 5 月 4 日 (火・祝) 及び、翌月の 6 月 6 日 (日) に、WEB セミナー「競争切手展に向けた作品の改善方法」の第 2 回及び第 3 回を実施しました。

第 1 回以上に多くの質疑応答が交わされ、アンケート結果からも多くの視聴者が満足していることがわかり、全国切手展の付属企画として有意義だったことを再確認しました。

これをもって、スタンベックスジャパン 2021 の全事業は完了しました。2022 年の同展にもどうぞご期待ください。



講演を行う斎 享氏

全日本切手展 2021 参観ガイド

フィラテリストマガジン編集部まとめ

[おことわり] 例年の全日本切手展は FIP 競争展示作品が 170-200 フレームほどあり、参観ガイドも 80-100 ページ前後の別冊として発行できる程度の『出品者の見所』解説投稿が集まりましたが、今年は競争展示が少なく本誌の 1 コーナーに替えて提供することとなりました。ただ下表の通り FIP 競争展示以外の作品で龍切手時代の壮大な作品が 5 つほど並ぶほか、日本中の切手商が多数出店する旨の主催者からのアナウンスもあり、展覧会としてはたいへん魅力的です。是非、ご参観されることをお勧めいたします。(編集部)

FIP 競争展示部門以外の作品 5 作品 4 4 フレーム (鳴美株式会社提供、今後変更の可能性があります)

部門	注目	作品名称	F	出品者
招待出品		龍切手	6	切手文化博物館
		静岡県の不統一印	6	日本切手社
チャンピオン		飛脚	10	山崎 好是
	○	手彫証券印紙 1873-1876	12	長谷川 純
		都道府県別の龍切手カバー	10	手嶋 康

さて、当誌が、2014 年に号外の形で、全日本切手展の「参観ガイド」の発行を開始して 7 年が経過しました。2016 年からは JAPEX について、2020 年からはスタンベックスジャパンについても参観ガイドの発行を始め、今や日本で開催される競争切手展は、参観ガイドで予習してから見に行くのが、展覧会慣れたフィラテリストの行動パターンになりました。

このような「参観ガイド」が、ベテランから初心者までの幅広いフィラテリストに受け入れられてきた理由は、競争切手展で入場時に配布される目録に記載される 200 文字程度の出品物の説明だけでは作品の理解が十分できない点にあります。本ガイドにより次のような効果が得られます。

- (1) 切手展開催までに展示内容を予習できる。
- (2) 200 字程度の文しか書かれていない目録と異なり、画像入りの長文解説を読むことができる。
- (3) 目録と異なり、何を書いても良い為、しばしば出品者の本音が垣間見える。

国際展の参観経験を豊富に持つ広範な範囲に渡る知識を持つフィラテリストであればともかく、大半のフィラテリストや審査員にとって、予習なしで作品の鑑賞を楽しんだり、国際展ルールに法り適切に審査することは簡単なことではありません。競争展に何度も出品される特定シリーズのオーソドックスな展開ならまだしも、毛色の変った作品がでてきて、その年代のフィラテリーに馴染みがないと「よくわからないから面白くない」と、参観者も審査員も感じてしまうと思います。

対象に対して「よくわからないから面白くない」という感想に至る理由は、対象に対する無知に起因します。そしてこの原因と結果の法則からは、ベテランも、また国際展への参観経験の少ない審査員も逃れることはできません。いわんや初心者をやです。

作品作りの上手い出品者は、このような事態にならないような審査員の教育法を熟知しています。国際展でも FIP の幹部が出品者に対して「Educate Jury!」と口を酸っぱくして言っています。標準的な国際展の審査時間がせいぜい一作品あたり 10 分前後ということ考えると、上手い作品作りに加えて、シノブシや出版物による事前案内を行うことは有効です。

本号外を読み、一人でも多くの方が競争切手展をより深く楽しんでいただければ幸いです。

FIP 競争展示部門 31 作品 100 フレーム (鳴美株式会社提供、今後変更の可能性があります)

展示作品の「注目」欄に○のついた作品は、次ページ以降で出品者が見どころを語っています

部門	注目	作品名称	F	出品者
伝統日本		和紙桜青一銭	5	高橋 卓雄
		玉六	3	山崎 好是
		第1次新昭和切手	4	濱谷 彰彦
	○	観光地百選	3	宇佐見 比呂志
		通常はがき (1873 ~ 1876)	3	村上 信和
伝統外国	○	スイス不足料 1883-1910	5	有吉 伸人
		POSTCARDS of MANCHUKUO	5	岩崎 善太
		ドイツの普通切手 ブランデンブルク門図案 1966-67	4	田中 勝善
郵便史日本	○	東京と大阪の商圏	3	近辻 喜一
		震災郵便史	4	遠藤 浩二
	○	日本の近代郵便の歴史	5	吉田 敬
	○	美作國の二重丸印	5	安藤 源成
		支局の丸一型日付印	3	上遠野 義久
		丸二型日付印とその時代	5	山田 理治
		満州國の鉄郵印	3	黒原 和男
		日本の軍艦郵便	3	森下 幹夫
郵便史外国		Indian Army Postal History of WW1	5	榎沢 祐一
テーマチック		World War II in Asia the butterfly effect of war	5	虎頭 雄彦
オープン	○	明治の東京・深川 郵便局ぶらり散歩	3	鎌倉 達敏
	○	Republic of Finland its independence and the struggle	4	菊池 達哉
		オリンピックと日本	5	犬飼 英明
ユース		日本の国立公園	2	千葉 郁実
現代郵趣		Japan Definitives 1992-1998 the Nature of Japan Series'	5	虎頭 雄彦
ワンフレ	○	外信実通 初日カバー	1	安藤 源成
	○	<支那>加刷・大正白紙切手	1	柳川 英幸
		教育勅語記念	1	木下 朋英
		平成郵便切手の変遷	1	下園 康治
		低料年賀郵便制度	1	山田 克興
		完全参加と平等を目指して―国際障害者年40周年―	1	山口 弘幸
		へりごらんの偽物切手	1	吉田 敬
	○	日芬関係史	1	菊池 達哉

FIP 競争展示部門 文献6作品

単行本部門・名称	出品者	単行本部門・名称	出品者
創業 150 年 郵便の歴史	星名 定雄	平成切手カタログ	山崎 好是
第 69 回全日本切手展・全日本切手展史	小藤田 紘	和欧文機械印の研究 第2期 1979-1990	水谷 行秀
エコー葉書カタログ	鈴木 幸宣	雑誌部門・名称	出品者
		月刊「たんぶるぼすと」令和2年分	山崎 好是

チャンピオンクラス（12フレーム）

手彫証券印紙 1873-1876

出品者：長谷川 純

国際切手展 NY2016 年に、私の出品した手彫り印紙 1873-1874 が、予測していなかった、大金賞を受賞しました。

全日展には 2013 年より毎年、出品して金賞を受賞し、2017 年から 2019 年まで、毎年、大金賞を連続して受賞しました。昨年の 2020 年はコロナの影響で全日展が中止となりました。

今年はチャンピオンクラスで、私の収集してきた手彫り印紙を 12 フレームに纏めました。並べてある順番に見ていけば、日本の手彫り印紙の全貌を見られ、製造面でもどういった変化、また進化があったかが分かります。

昔はリーフに余り多く貼り込まず、書き込みは出来るだけ簡単に少なくする。分かる人には分かるので、未使用、ブロックの構成枚数、など見て分かるものなどは書き込まないほうが良いと傾向がありました。それが今では料金から、使用方法を詳しく説明して、貼る枚数もリーフに 15 枚くらい、一見、多すぎるくらいを貼り込み、判明するなら、ポジションをできるだけ書き込むなど、以前とは正反対の傾向が強いです。昔の作品集を見ると、その違いが一目でわかり、何となく、物足りなさを感じます。

私も証書の使用方法や、料金は全然、気にしていませんでしたので、いざ文献（租税門）を広げてみて、余りにも印紙税が複雑なのを初めて知って驚きました。しかも途中で印税が値下げしていたり、第 1 種や 2 種といった項目別に变化したり、表記してある金額のきざみによって税額が変化するなど、複雑な事に驚き、そのうえ時系列になっておらず、1 枚の証書料金を探すのに 3 日掛かった事もありました。そして、この作業をしたおかげで、今まで料金が合わないと思って作品には使用していなかったものが、適正料金の使用例だと分かって使用例として、利用できるようになりました。

リーフの中で、切手や印紙の周囲に枠を書くのも必要と感じています。その枠を太くしたり、座布団を引いたりすることで注意を集められますが、多くしすぎるとマイナスです。本当にこれと言うもののみ対応すべきです。なお、私は元糊のあるものでヒンジ無はマウントを用いますが、その他は全てヒンジを用いております。

なお、展示作品のフレーム数によりますが、3, 5, 7 フレームで重要なことはタイトルページです。このページはたいていの人が初めに読み、珍しいものがどこにあるかを知り、それを見るので、きちんとリストしておくことが大切です。そして、各フレームの大体最上段が見やすいので、重要なリーフや、区切りをする場合には最上段の左に置くのがのぞましい。又、各フレームの中での見た目のバランスも重要で、塊やカバーなどが偏ると見苦しくなります。特に同じようなリーフが並んでいると、知識のない人から見ると、重複しているように感じられます。

そして、バランスを考えて、時には重要なリーフであっても思い切って外す工夫も必要です。私の場合、8 フレームなら、128 リーフを選び出すのにかなりのリーフをあえて外しました。余分なリーフがない場合でも、配置変えをするだけで、見た目は変わってきます。自分だけで見ていると気づかない事も、他人が見ると分かる場合もあるので、第三者の意見を聞くことも重要です。

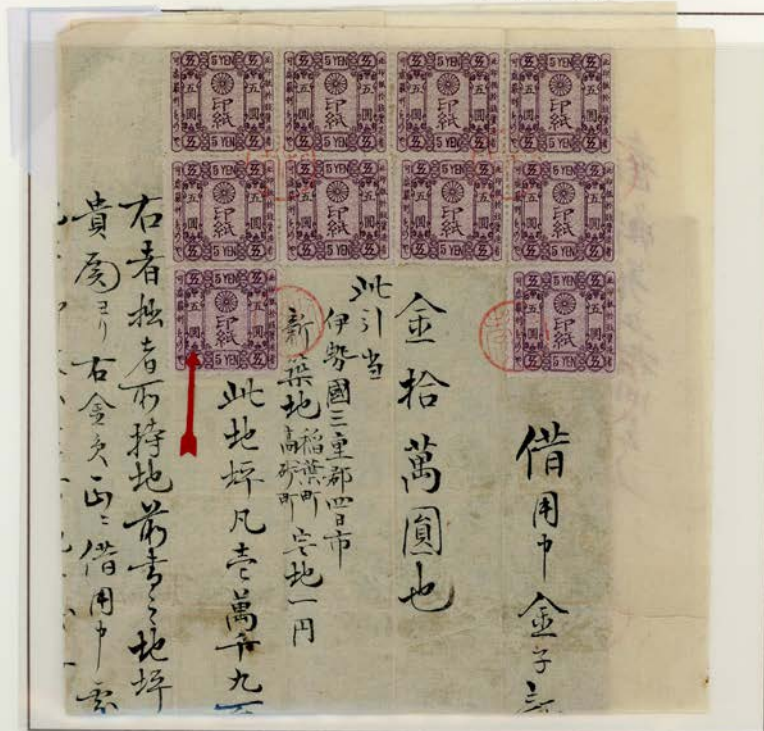
作品はその人の独自の作り方で良いのですが、経験の豊富な人に聞いて、見てもらうのは大変重要です。ともかく、出品することで、作品の目標もたてられますし、他人の作品を多く見ることで、気持に変化が起こります。このようにして、多くの経験を積むと、他人の作品に対しても、自分の意見が持てるようになります。

Fourth Issue

5 Yen Bright Red Violet & Purple

1st September 1874

The earliest usage of 5 Yen foreign paper, perforated



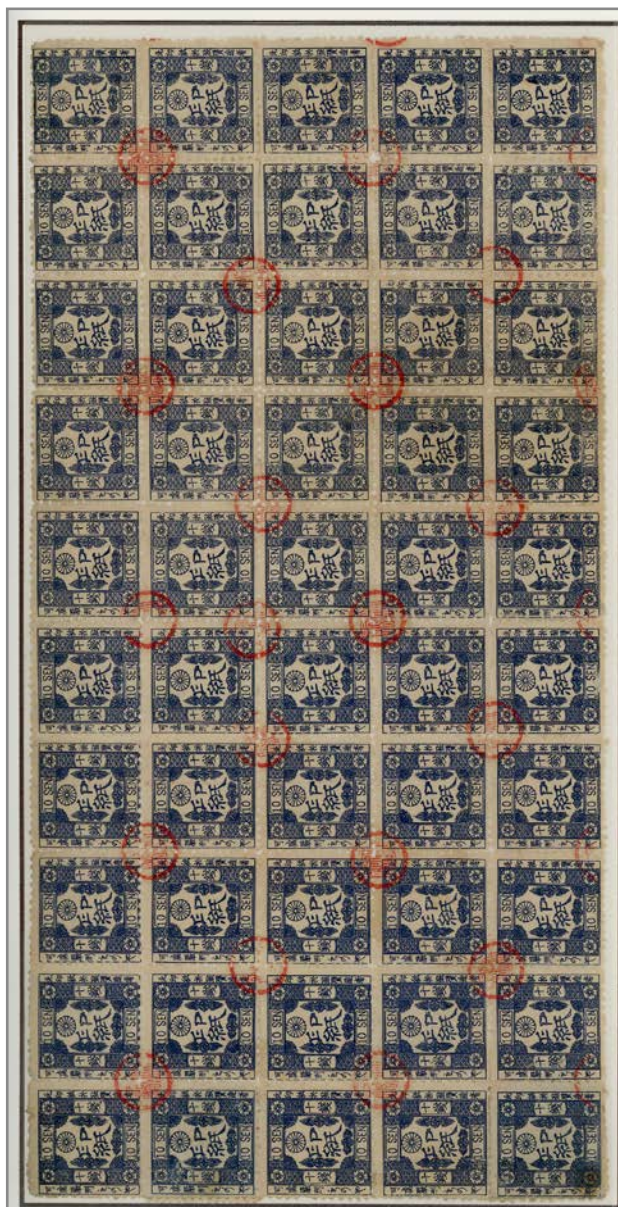
10 copies of 5 Yen (Perf 12.5) tied to a 100,000 Yen loan document, dated on February 28, 1875 (Meiji 8). Additional 50 copies of 1 Yen were pasted on the backside.

The general revenue tax rate was 1 Sen per 10 Yen or 0.1% started on June 1, 1873 (Meiji 6) and valid until June 30, 1884 (Meiji 17).

This is the largest amount of loan document and also the largest amount of revenue stamp used on document.



Pattern unfinished in value tablet at left.



10 Sen Blue

Fifth Issue

1st September 1874

Foreign Paper Perforated

Multiplicative printing

Plate I

*A full Used sheet of
fifty, no margin.
Porous paper, perf 10.*

8

5 Yen

Bright Red Violet & Purple

Second Issue
Foreign Paper

1st September 1874
Rouletted

ERROR of Etching



Specimen



Specimen



Remainder cancel



The largest block of 6

13

今回の私の作品で注目すべきは、洋紙印紙を通常版と増殖版に分けた事です。詳しくは今後、発表する予定ですが、簡単に何故、私がこの分類をしたかを申し上げます。

手彫り印紙は明治6年6月1日に6額面が手彫り凹版で印刷、発行され、次の凸版印刷の菊型印紙が、明治17年7月1日に発行されるまで、11年間印刷製造されました。始めは和紙にルーレット（目打ち形式）で、それから普通の目打ちにかわり、洋紙（国産と輸入紙）が使われました。

明治11年7月から明治15年6月までの手彫り印紙の製造枚数は約1億2685万枚である。私の所有する証書付の記録では、長い間、電耐版の1銭の最古使用例は明治12年の5月でしたが、数年前、記録更新の1月が発見されたので、手彫り印紙の電耐版使用例は明治12年1月となります。近い将来、これが更新され、明治11年の12月から11月になると、考えています。その理由は明治11年の9月29日に国産の機械部製の大型凹版印刷機械を設備と記録されているので、これが当てはまるのではないかと考えている。なお、明治8年の10月には初めて銅板に鋼鍍を施すと記録されているが、これは銅板にメッキした事である。その頃はまだ、印紙では電耐版を使用していないので、通常版を強化する為に用いられたと考えています。

明治12年から15年にかけて印刷された手彫り印紙は全て増殖版だと想定しています。何故、私がここで、増殖版と電耐版と別々に記しているかは後に説明する予定です。増殖版のたった9種の原板で総数1億2,685万枚を印刷したと考えると、其の70%（実際はもっとかもしれない）は最低額の1銭の電耐版2面で印刷された。単純に言って、8、880万枚となるから、各版はそれぞれ4、440万枚となる。これは88.8万シートである。銅板の硬度、及び技術進歩がすすんでも、5万シートで実用版は摩滅すると仮定したら、各版の実用版が17枚ぐらい必要だった事になる。実際にはもっと少ないだろうと思っているが。

印刷局の記録には各額面の記録はない。依ってあくまでも推察するしかないが、私が根拠とするものは現在までに収集した現在数と、見分してきた経験である。すなわち、どこからか、洋紙の1銭の手彫り印紙を100枚入手すれば95枚はこの電耐版の2版のどれかに当てはまる。洋紙1銭の通常版（電耐版以外の物）は現在、20版ぐらいと推定しているが、現存の5%ぐらいである。私が所有する約1万枚の1銭のうち通常版が1、000枚ぐらいとなるのは意識して通常版を集めた結果であり、実際には95%ぐらいが電耐版である。そして、プレーティングをしてみた結果、この2版。すなわち100位置に全て当てはまった。

しかもこの2版の存在率はほぼ50対50である。これは10銭にも当てはまる事実で、2面がけで印刷したのではないと思う根拠のひとつである。

ちなみに私はリコンストラクションを目打ちでは10、11、11L、13と目打ち違いでしかも紙違いでも無地、ポーラスの刷色違いをやったくらいなので、市場にはまだ数十万枚は存在すると思う。リコンストラクションの練習には最適の材料だと思っています。

手彫り印紙のストックがあるとすれば、1銭のルーレットと1銭の洋紙の電耐版が大半となります。1銭のルーレットにはエラーが数多くあり、まだまだ発見される余地が大きい。しかし、1銭洋紙の電耐版では第2版のポジション8の位置に左たすき落ちがあるのみで、ほぼ均一性を保っている。この印紙が一番多く印刷され、全国で大量に使われているので、色々と面白い収集対象となっている。例えば紙違い、目打ち違いを詳しく分類すると専門コレクションができます。

なお、明治15年6月21日に壁紙用細紋銅板を第二科より長さ2尺7寸、幅2尺の半面クラッチにてハギ合わせを為し始めて電耐版へ送付す、と記録されています。又、手彫り凹版であった証券印紙も明治18年（1885）にエルハート凸版に改刻、とあるが明治16年の間違いではないかと思っている。でないと、明治18年まで手彫り印紙が印刷されていたと読めるからである。すでに17年の7月には凸版印紙が発行されているが、其の後手彫り印紙が凹版で印刷されているのは理解しがたいからである。なお、エルハート凸版の機械は明治7年5月15日には到着している。

現在調査中であるが、なぜ、この電耐版の1銭は殆どがぼやつとした感じを受ける彫線の滲んだものの様なものが多いのかを考えると、これが50面の銅原版を増殖したからではないかと思っている。原板の増殖の結果、彫線がぼやけたのではないかと思う。今後の課題としては、線トンボや、耳紙のマークなどを徹底して調査する必要がある。単片の印紙でも広巾なので、ウェルセンターが多く、ウェルセンターを探せば自然に電耐版と判明します。

Fourth & Fifth Issue

Foreign Paper
Perforated

1st September 1874

According to the National Printing Bureau's record, on February 13, 1874 (Meiji 7), Government decided to replace native paper with foreign paper for postage stamps and revenues. However, shortage of the supply of foreign paper, it was not done until September, 1874.

Fourth issue (narrow margin)

1 Sen



5 Sen



50 Sen



Narrow
2 mm margin

Fifth issue (wide margin) - Multiplicative

1 Sen



10 Sen



50 Sen



Wide
3 mm margin

	Narrow 2 mm margin	Wide 3 mm margin
1 Sen	Plate I to VIII	Plate I & II
5 Sen	Plate I to V	Plate I only
10 Sen	None	Plate I & II
25 Sen	None	Plate I only
50 Sen	Plate I to II	Plate I & II

1 Yen Rose

Fifth Issue

Multiplicative printing

1st September 1874

Plate I

Specimen



Perf 13



Perf 11



Only one known

Unused



Perf 13

Perf 10



The largest block of 5



Perf 13



Unused



Only one known

Perf 13 x 10



20 Yen

Bright Red Violet & Dark Red Violet

Second Issue

Foreign Paper Rouletted

1st September 1874

Remainder cancel



Position 10

Shade varieties



Error of Etching



Position 3



Specimen



Specimen



伝統日本（3フレーム）

観光地百選

出品者：宇佐見 比呂志

この作品は、「全日展 2013」に同じテーマで出品し銀銅賞をいただいた作品に、その後の収集品を加え、リニューアルしたものである。

2021（令和 3）年は、1951（昭和 26）年の「観光地百選」切手の発行から 70 年となる。1950（昭和 25）年、毎日新聞社と日本観光地選定協会とが企画した「日本観光地百選」の投票が行われ、①海岸、②山岳、③湖沼、④瀑布、⑤温泉、⑥溪谷、⑦河川、⑧平原、⑨建造物、⑩都邑の 10 部門で、各第 1 位となった名勝が「観光地百選」切手として発行された。

この作品では、みほん及び銘版付未使用に加え、使用済により当時使用されていた消印の種類の概略を紹介するとともに、葉書や書状の使用例により郵便の種類別の展開を試み、併せて「観光地百選」にちなむ広告印も紹介する。



【リーフ 1・2（広告印）】

リーフ 1 はタイトルリーフであるが、リーフ 2 とともに、観光地百選に関わる広告印の押印された葉書を示す。この広告印を 3 類型に分類する。

まず、「観光地百選」の投票を広く呼びかける目的で、1950（昭和 25）年 7 月末から 9 月末までの投票期間中に、全国 100 局で使用された「観光地百選は郷土の誇り」のキャッチフレーズが入った広告印【A】、次に、観光地の所在する地域において、地元への投票を呼びかける広告印【B】、そして「観光地百選」選定後に、その選定結果を PR する広告印【C】の 3 類型である。

リーフ 1 には、広告印【A】及び広告印【B】のうち熊谷局で使用された「埼玉縣 / 日本観光地百選 / 都邑秩父 / え投票を」、リーフ 2 には、同じく広告印【B】のうち飯田局で使用された「観光地百選に / 長野縣 / 富士見台を」と及び前橋局で使用された広告印【C】の「観光百選 / 菅沼 / 丸沼 / 湖沼一位」を示す。

広告印【B】のカテゴリーでは、ほかに乗鞍岳「日本観光地百選 / 乗鞍岳」に投票を乞う」と及び長崎「日本観光地百選候補 / 長崎」の投票呼びかけの広告印が使われた。一方、広告印【C】のカテゴリーでの使用は、現時点ではこの例のみの確認となっている。

観光地百選

日本平8円

1951. 4. 2



みほん



銘版付未使用



右書和文櫛型印
日本橋 26.4.16



和文櫛型印
名古屋港 26.10.4



鉄道郵便和文櫛型印
函館旭川間 26.7.6



和文ローラー印
名古屋東 27



鳶色和文櫛型印
静岡 26.9.7



和文機械印
静岡 28.11.6



欧文櫛型金属印
OSAKA 7.4.5-



欧文三日月型印
YOKOHAMA 6.VII.53

【リーフ 3～7 (蔵王山)】

リーフ 3 の 1 段目には山形局の鶯色和文機械印、2 段目には蔵王温泉局の D 欄文字入和文櫛型印があるが、どちらもいわゆる“ご当地”使用になる。

リーフ 4 の 3 段目にも同じく蔵王温泉局の使用済がある。8 円とも初日印でありフィラテリックなものと思われるが、好ルックスである。

和文櫛型印の形式について、1949 (昭和 24) 年 9 月 30 日付の郵政省告示第 177 号により、A 欄の局名は左書、C 欄の時刻表示は戦後型 (「前 0 - 8」「前 8 - 12」「後 0 - 6」「後 6 - 12」) とし、その施行は同年 10 月 1 日からとされた。しかしながら、告示においては、「なお、当分の間は、従来の形式による通信日附印を使用することがある」とされており、観光地百選シリーズが発行されたころには、いまだ局名右書や時刻表示復活 Z 型 (戦前の Z 型 (「前 0 - 8」「前 8 - 12」「后 0 - 4」「后 4 - 8」「后 8 - 12」) の戦後復活使用) の例も多く、本作品には、こうした使用例も適宜収めてある。

和文機械印についても状況は同様であり、リーフ 5 の桐生局の鶯色標語和文機械印が押印された国内宛書状も、右書・復活 Z 型となっている。

リーフ 7 の 2 通は、上段はアメリカ宛船便書状、下段は同じくアメリカ宛航空便書状である。1951 (昭和 26) 年 12 月 1 日に国際航空便書状の料金体系が「併合料金」になるまでは、「船便料金 + 航空扱増料金」であった。アメリカは第 3 地帯で、その航空扱増料金は 59 円のため、下段の航空便書状には $24 + 59 = 83$ 円分の切手が貼られている。また、この航空便書状は FDC でもあるが、蔵王山の 2 額面揃い貼りのカバーでもある。

「観光地百選」の 10 セットを 2 額面揃い貼りの使用例で集めることを目標にしてきたが、あと宇治川と長崎を残すのみとなっており、追ってご覧いただきたい。

【リーフ 8～11 (日本平)】

リーフ 8 の 3 段目には、ご当地使用の静岡局和文機械印を鶯色と黒色で並べてみた。和文機械印の印色は、例外使用も見られるものの、1950 (昭和 25) 年 3 月 1 日に黒色から鶯色に切り替わり、1953 (昭和 28) 年 10 月 14 日をもって使用禁止となっている。

リーフ 11 の下段は、2 額面揃い貼りのカナダ宛 4 倍重量船便書状であり、その料金 66 円の内訳は、20 グラムまでの基本料金 24 円に、20 グラム毎の増料金 $14 \text{ 円} \times 3 = 42 \text{ 円}$ を加えたものである。

観光地百選

日本平8円/24円

1951. 4. 2



ホンジュラス宛船便書状
白金 27.10.6



カナダ宛4倍重量船便書状
TOKYO 124.51

【リーフ 12～16 (箱根温泉)】

リーフ 12 の 2 段目には、半欠けながら箱根湯本局のご当地消印。かかりが良ければ出世したるうに。

リーフ 13 では、3 段目の紫色和文ローラー印がいいアクセントになっている。色変わり印は、茶、赤、青などが 1950 年代には散見されるが、時代とともに使われなくなっていった。

リーフ 16 は、お約束の 2 額面揃い貼りが 2 通。上段は国内宛書留書状で、書状料金 8 円＋書留料金 30 円の計 38 円貼り。下段のカナダ宛航空便書状は、リーフ 7 でも説明した 83 円料金である。

【リーフ 17～21 (赤目四十八滝)】

リーフ 20 には、国内宛速達葉書を 2 通示す。左は、赤目 8 円 2 枚ほかを貼った 22 円料金（葉書料金 2 円＋速達料金 20 円）であり、右は赤目 24 円ほかを貼った 30 円料金（葉書料金 5 円＋速達料金 25 円）時代のものである。

リーフ 21 の上段は、1 円過納だが 2 額面揃い貼りの書留航空便書状の FDC。適正料金は 131 円（船便料金 24 円＋第 3 地帯宛航空扱増料金 59 円＋書留料金 48 円）のところ、132 円分の切手が貼られてある。

【リーフ 22～25 (和歌浦・友ヶ島)】

リーフ 22 及びリーフ 23 の銘版付未使用を、「赤目四十八滝」以前のものと比べると、「刷」の文字及び「造」の文字に違いがある。「刷」の文字の部首「りっとう」が、接触しているか離れているか。また「造」の部首「しんにゅう」の点が二つであるか一つであるか。前者を「印刷庁製造（旧庁）」、後者を「印刷庁製造（新庁）」と区別している。

リーフ 25 の下段、アメリカ宛航空便書状も 83 円料金の 2 額面揃い貼りの FDC である。2 額面揃い貼りは、やはり FDC となっているものが多い。

観光地百選

箱根温泉8円/24円

1951. 5. 25



国内宛書留書状
瀬戸 26.6.23



カナダ(第3地帯)宛航空便書状
神奈川・大磯 26.7.11

【リーフ 26 ～ 30 (宇治川)】

リーフ 26 及びリーフ 27 の銘版付未使用も、「和歌浦・友ヶ島」と同じ「印刷庁製造（新庁）」ではあるが、文字のポイント数が小さくなっている。「和歌浦・友ヶ島」が「新庁・大文字」であることは、日本切手専門カタログにも触れられていないようである。

リーフ 27 の 4 段目、かかりが悪いが IMPERIAL HOTEL PO 局の D 欄文字入欧文櫛型ゴム印は、直径およそ 28 ミリの大型のもので、1951（昭和 26）年に限って使用されたものだという。この局の欧文櫛型金属印は、直径およそ 25 ミリの通常サイズのもので、その印影は、リーフ 6 のドイツ宛航空便書状にも示してあるので比較いただきたい。この局は、さらに直径およそ 23 ミリの小型の欧文櫛型ゴム印（金属印だとする見解もある。）も、1952（昭和 27）年 4 月から 1957（昭和 32）年 1 月までの使用が確認できているほか、欧文櫛型金属印でも、D 欄の「TOKYO」の文字の有無の違いがあるなど多彩な欧文櫛型印を使っている。

リーフ 28 の国内宛現金書留は、通貨保険扱封筒を代用した使用例である。「現金書留」制度は、1951（昭和 26）年 6 月 1 日に「保険扱い」制度から移行され、その専用封筒は同年 10 月 5 日になって発行されている。このリーフの使用例は、差出人の手持ち使用か、差出局の在庫活用であろう。料金 50 円の内訳は、書状料金 10 円＋要償額 1,000 円までの書留基本料金 35 円＋要償額超過 2,000 円毎の増料金 5 円となっている。なお、日本切手専門カタログの郵便料金変遷表には、書留のうち、「現金以外（物品）」の料金しか掲載されていないので注意が必要である。

【リーフ 31 ～ 34 (長崎)】

リーフ 32 の 4 段目、NAGASAKI 局の欧文ローラー印は、田型に押されたことで逆位ながら印影が完全に読めるご当地消印となっている。後期使用であり横一条は別納の匂いもしないではないが、貴重なマテリアルである。

リーフ 34 上段の国内宛速達簡易書簡は、額面より 1 円高い 9 円が売価である 8 円炭鋤夫の簡易書簡に、1951（昭和 26）年 11 月 1 日の料金改正を受け 2 円農夫を貼り 10 円とし、速達料金 25 円の一部として長崎 24 円切手が使われているもの。なお、額面 10 円（売価 11 円）の観音菩薩像の簡易書簡は、1954（昭和 29）年 11 月 1 日になり、ようやく発売されることになる。

観光地百選

宇治川8円

1951. 8. 1



国内宛現金書留
【要償額1,001円～3,000円】
兵庫・江井ヶ島 25.11.3

【通貨保険扱封筒代用】

【リーフ 35 ～ 39 (菅沼・丸沼)】

リーフ 35 の 3 段目には、リーフ 27 で触れた IMPERIAL HOTEL PO 局の大型 D 欄文字入欧文櫛型ゴム印、リーフ 36 の 3 段目には、同局の通常サイズの欧文櫛型金属印を示すが、残念ながらどちらもかかりは良くない。

また、リーフ 36 の同じく 3 段目の TOKYO 局の欧文櫛型ゴム印は、月活字がローマ数字表記のものである。日本郵便印ハンドブックには、こうした印は、本来は局内の式紙類に用いられるもので、金属印が KOBE 局及び KOCHI 局で知られているとされている。リーフ 36 の月活字ローマ数字表記印はゴム印のようであり、金属印以外が他局で使用されていた可能性がある。なお、リーフ 45 の 3 段目にも、(Y)OKOHAMA 局の月活字ローマ数字表記の欧文櫛型ゴム印が、かかりは悪いが入っている。

リーフ 38 のスイス宛航空便書状は、初日午後印だが一般使用の雰囲気である。料金 127 円の内訳は、船便料金 24 円＋第 4 地帯宛航空扱増料金 103 円である。航空扱増料金の 103 円分に、3 円捕鯨と 100 円電気炉が充当されている。

リーフ 39 の下段は、83 円料金のカナダ宛航空便書状 FDC で 2 額面揃い貼り。

【リーフ 40 ～ 43 (昇仙峡)】

リーフ 40 及びリーフ 41 の各 4 段目は、同一日付の YOKOHAMA 局紫色欧文櫛型ゴム印を示す。消印の傾きもほぼ同じであり、一通のカバーからはがされたものか、あるいはフィラテリックなものか不明だが、リーフを引き締めている。

リーフ 43 上段のアメリカ宛船便書状は、赤坂局の鶯色和文機械印で引き受けられているが、同様のものがリーフ 47 の上段にもある。どちらも「差出人返戻」の赤い印が押されており、同じ差出人である。

下段の韓国宛航空便書状は 2 額面揃い貼りカバーだが、あて名は著名な韓国の収集家。料金 35 円は、第 1 地帯宛の航空便書状の併合料金である。リーフ 25 及びリーフ 30 の韓国宛航空便書もこの収集家宛の使用例であり、こちらの 2 通は実は差出人も同一である。

こうして作品として使用例を並べてみると、このような同一宛名や同一差出人の使用例は、重複感が強いと反省。

【リーフ 44 ～ 48 (錦帯橋)】

リーフ 44 及びリーフ 45 の銘版付未使用は、銘版が「大蔵省印刷局製造」になっており、額面表示も「銭単位」から「円単位」へと切り替わっている。錦帯橋は、「日本観光地百選」の投票が行われていた 1950 (昭和 25) 年 9 月に、日本を襲ったキジア台風の影響により流出していたものの建造物部門で第 1 位を獲得し、本切手の発行までには紆余曲折があったようである。そして、最終的に再建後の発行となり、「観光地百選」切手全体の統一感を損なうような結果となったのは惜しまれる。

リーフ 45 の 3 段目の欧文櫛型ゴム印は、前述の月活字ローマ数字表記のもの。

リーフ 48 は、デンマーク宛の 2 倍重量航空便書状で、2 額面揃い貼りの使用例を示す。料金 250 円の内訳は、第 4 地帯宛の航空便書状併合料金の 10 グラム毎 125 円 × 2 となっている。

観光地百選

普沼・丸沼24円

1951. 10. 1



みほん



銘版付未使用



和文櫛型印
横須賀 26.11.12



D欄文字入欧文櫛型金属印
PERIAL HOTEL PO/TOKYO -11.51



欧文櫛型ゴム印
TOKYO 13.III.53



欧文三日月型印
SHIBA/TOKYO 27.IV.56



和文ローラー印
神田 26



欧文ローラー印
TOKYO 30.VII-

伝統外国（5フレーム）

スイス不足料 1883-1910

出品者：有吉 伸人

これまでフランス・クラシックで競争展に出品してきましたが、吉田敬さんに「スイスの不足料切手は面白いですよ」と誘われたことがきっかけでこの分野に興味をもち、今回初めて出品作品を作ってみました。

フランス・クラシックは生涯のテーマと思っているのですが、ある程度、収集が進むと、欲しいマテリアルは、いわゆる“大物”になってきて、なかなか入手が叶わなくなってきました。また、製造面から見るとフランスのクラシックはシェード以外の変化が乏しく、ポリウムを増やすのも容易ではありません。

そんなとき、スイス不足料に出会ったわけですが、とにかく製造面の変化が豊かであることにびっくり！タイトルリーフに記したように、この第2シリーズだけで26の版があり（外見上識別できる版は10）、そのすべてに枠の向きの通常版（N）と上下の反転版（K）があります。額面の数字が欠けていたり、位置がずれていたというバラエティも豊富なうえに、26のうち13の版にはタイプⅠとタイプⅡが存在する（リーフ2P参照）という変化に富んだ興味深いシリーズなのです。

ただ、タイプⅠの存在数は0.5%と極端に少なく、オークションにも滅多に出てこないため、収集の難易度をグッとあげていることも集め始めてわかりました（涙）。また、この第2シリーズの最初のA版はlight blue greenというシェードなのですが、スイス切手のなかでも特筆すべき美しい切手と呼ばれているとか。スイスでは大版の写真を配した書籍が発行されているほどです。水色のベースに鮮やかな赤の額面数字。未使用はうっとりする綺麗さで、これもこのシリーズを集め始めた理由のひとつです。

不足料切手の性質上、使用面の面白さは言うまでもありません。特に外信便のカバーには複数の国の切手が貼られるため、見た目の派手さもあって、リーフ作りも楽しいです。今回は近隣の欧州各国に加えて、アメリカ、北オーストラリア、グアテマラ、アルゼンチン、南アフリカ、独領東アフリカ、英領インド、アルジェリアそして日本など、19の国からの外信便を展示しました。外信便の場合、不足金額の2倍が不足料として徴収されました。

使用面の収集でとびぬけて難易度が高いのは最高額面の500Ctsです。この作品には、小包伝票を一点展示しました。当時、新聞を印刷物として1通2Ctsで配送する制度があり、この伝票は545通の新聞配送料をまとめて支払ったものです。

スイス不足料を郵便史ではなく伝統郵趣でまとめた競争展出品作品は本国スイスでも見たことがないという話も耳にしています。まだまだ、よちよち歩きのコレクションですが、まずは競争展に出品してみることに意味があると思い、思いっきり背伸びをして5フレーム作ってみました。最初に譲って頂いたロットがとても良質だったので、思っていたより早くまとめることができました。

いつか、国際展出品資格を得られた際には、欧州の切手展に「伝統郵趣」作品として出品し、本国スイスのフィラテリストたちをざわつかせたいなあと勝手に夢想しています。笑。

スイス不足料 1883-1910

【展示の目的】

この作品は1883年から1910年に発行されたスイス不足料切手第2シリーズの伝統郵趣コレクションである。本シリーズには26の版が存在し、製造面のバラエティが豊富である。版ごとの製造面の変化と、内外からの変化に富んだ使用例を展示し、本シリーズの魅力を伝えるのが作品の目的である。

【スイス不足料第2シリーズとは】

未払いの郵便料金などを徴収するために1878年に発行された不足料切手"postage due stamp"第1シリーズに続き、1883年から1910年まで発行されたシリーズ。第1シリーズと枠、数字ともに同デザインであるが、シェードが青から緑(枠)と赤(数字)に変更された。額面は1cts, 3cts, 5cts, 10cts, 20cts, 50cts, 100cts, 500ctsの8額面。紙はすべて繊維紙で目打ちは11²/₃。版は1版から26版までであるが、シェードやすかし等によって外見上版別できる版区分は13で、ツームスタイン・スイス専門カタログではアルファベットによって表記されている(下記一覧表を参照)。すべての版に通常版(Normalstehend, Nと表記)と、枠が上下に反転した逆転版(Kopfstehehend, Kと表記)が存在し版によってはタイプIとIIがある。通常版と逆転版の比率は額面、版によって異なる。タイプIは0.5%と極端に少ない。

【展示のプラン】

8つの額面を発行順に展示。すべての額面について、外見上判別可能なすべての版を展示し、本シリーズの特徴である通常版と逆転版、多彩なバラエティにも力を入れた。版は基本的にツームスタイン専門カタログに従ってシェードやすかしの組み合わせから分類(A-J版)を行い、より詳細な版分類(1-26版)が可能なのはそれも記した。通常版と逆転版の割合も付記した。使用例については、国内便、外信便ともに変化に富んだ使用例を選び、郵便料金、搬送ルートのできる限り解明し表記した。*ツームスタインカタログの版区分は第1シリーズから通し番号が付けられており、第2シリーズは9版から35版であるが、本作品では9版を第2シリーズとしての"1版"として版番号を付している。またツームスタインではアルファベットの版表記において、すかしが変わる23版以降に再びA版、B版、C版を付与しているが、本作品では第2シリーズ全体で表記を一貫させるため、23版はH版、24版をI版、25、26版をJ版とした。

<参考文献> ツームスタイン・スイス専門カタログ2000

額面毎に存在する版の一覧

発行年	版	***	1C	3C	5C	10c	20c	50c	100	500
1883	1	A			○	○	○	○	○	○
1884	2				○	○	○	○	○	○
1885	3	B	II		○			○	○	○
1886	4				○	○	○		○	○
1887	5				○	○	○	○	○	○
1888	6	C			○	○	○	○	○	○
1889	7			○	○	○	○	○	○	○
90/91	8	Da		○	○	○	○	○	○	○
1892	9		I	○	○	○	○	○	○	○
1893	10	Db	II		○	○	○	○	○	○
94/95	11	E			○	○	○	○	○	○
95/96	12				○	○	○			
1897	13	F		○	○	○	○	○	○	○
発行年	版	***	1C	3C	5C	10c	20c	50c	100	500
97/98	14		○		○	○	○	○	○	○
98/99	15	Ga	○		○	○	○	○	○	○
99/00	16	I	○		○	○	○	○	○	○
00/01	17	Gb	II	○		○	○	○	○	○
1902	18				○	○	○	○	○	○
03/05	19		○		○	○	○	○	○	○
04/05	20		○		○	○	○	○	○	○
1905	21	Gc			○	○	○			
06/07	22				○	○	○			
07/08	23	H	II		○	○	○	○		
08/09	24	I	○		○	○	○	○	○	○
1909	25	J	○							
1910	26		○							

Postage Due
1883-1910

Switzerland

Proof

プルーフは最初に発行された10ctsのみ存在する



このシリーズには、Type I と Type II が存在し、それぞれに通常版 (N) と、枠が上下に逆転した版 (K) がある。N と K の割合は、版によって異なる。

Type I

通常
(Normal stehend)



逆転
(Kopfstehend)



Type I は、1 に隙間がある。2 と 3 の先端が尖っている。4 に隙間がない。

Type II

通常
(Normal stehend)



逆転
(Kopfstehend)



Type II は、1 がつながっている。2 と 3 の先端が丸まっている。4 に隙間がある。

Postage Due
1883-1909

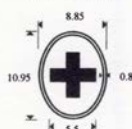
Switzerland

10 Cts.

A 版

light blue green

すかし: Kz I



A 版 - Db 版



Jan. 20. 1883 (1版)

N:K=8:92



数字ずれ



数字が傾斜

B 版

pale green

May. 3. 1884 (2版)

N:K=1:1



数字ずれ



数字ずれ



数字が傾斜

pale green

pale yellowish green



1に白い傷



Jul. 20. 1886 (4版)

N:K=1:1

Postage Due
1883-1909

Switzerland

500 Cts.

Da 版

light green



下段右の切手に数字欠け



目打ちずれ

数字ずれ



数字ずれ

目打ちずれ

Postage Due
1883-1909

Switzerland

500 Cts.

C 版

新聞搬送小包（印刷物扱い）

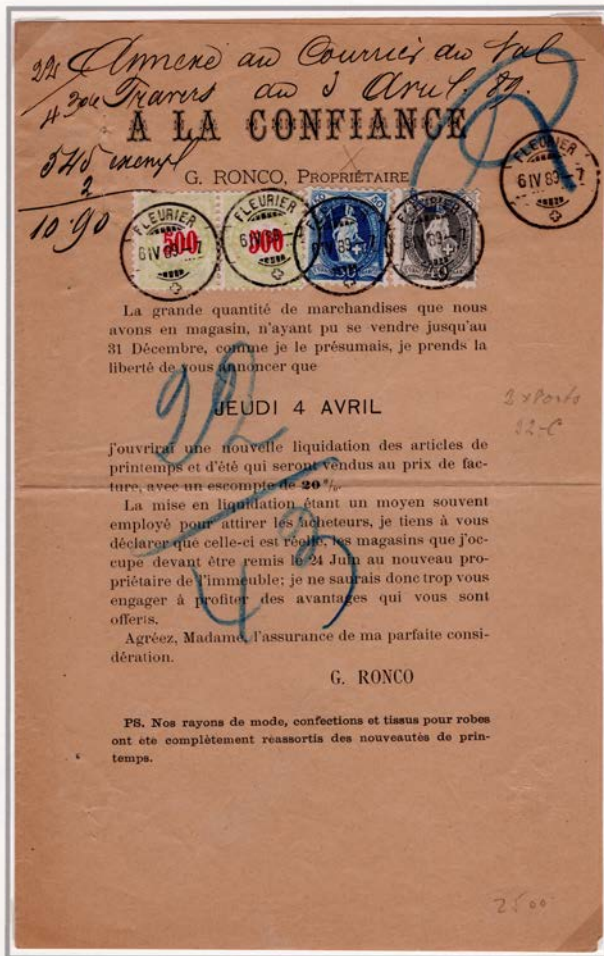
Type II

Fleurier
Apr. 6, 1889

新聞 1 通 = 2 Cts

545 通

Total 1090 Cts



郵便史日本 (3 フレーム)

東京と大阪の商圈

出品者：近辻 喜一

昨年のコロナでヒマを持てあまし、丸菊はがきの残骸をリーフに整理した。東京・大阪・京都・地方に分けたアルバムが7冊になった。当時の葉書のほとんどが商用だったので今回のテーマが決まり、一気に3フレームの作品が出来上がった次第。

東京と大阪が国内の「どこ」と商取引していたかを一覧表にしてみたら、東京が東日本を、大阪が西日本を分担していることが確認できた。東日本と西日本の境界は電力の周波数の境界でもある、フォッサマグナの西縁にあたる糸魚川静岡構造線と一致する。

注目アイテムは最終リーフのM10.6.19 函館差立て、同年6.29 大阪到着の丸菊はがき。東京大阪間は上海航路の広島丸で運ばれた。ちょうど西南戦争の真っただ中で、国内航路の蒸気船は軒並み徴用され、国際線の上海航路の郵便船のみが就航していた



国名	東京	大阪	京都	国名	東京	大阪	京都	国名	東京	大阪	京都
北海道	0	1	0	信越	0	2	0	中国	2	7	2
渡島		○		信濃				因幡			
後志				越後		○		伯耆			
石狩				佐渡		○		出雲			
天塩				北陸	0	2	1	石見			△
胆振				越中	7	4	0	隠岐			
日高				能登				美作		○	
十勝				加賀				備前	△	○△	
釧路				越前		○	△	備中	○△	△	
根室				若狭				備後		○△	
千島				東海				安芸		○	○
北見				飛騨				周防		○	
東北	6	1	0	美濃	○△			長門		○△	
陸奥	○			伊	○△			四国	2	3	1
陸中	△			駿河	○△			阿波	○△	○	
陸	○△			遠江	○△	○		讃岐		○	○
羽後		○		三河	△			伊予			
羽前	○△			尾張	○△	○△		土佐	△	○	
岩代	○△			伊賀		○		九州	0	3	2
磐城	○△			伊勢	○△	○△		筑前			
関東	8	1	3	志摩				筑後			
常陸	○△			近畿	5	9	6	豊前		○	△
下野	○△		○	近江	○△	○△	△	豊後		○	
上野	○△		○	丹後		○		肥前		△	△
下総	○△			丹波			○△	肥後			
上総	△			山城	△	○△	○	日向			
安房				摂津	○△	○△	○	大隅			
武蔵	○△	△	○	和泉	○△	○	○	薩摩			
相模	○			河内				壱岐			
甲斐	△			但馬				対馬			
○着、△発、数字は発着国数				播磨		○		琉球			
				淡路		○		計	30	33	15
				大和		○△	○				
				紀伊	○△	○△					

日本の近代郵便の歴史

出品者：吉田 敬

「郵便史で、国際展大金賞を取れる作品は滅多にない」と聞いて・・・

出品者は自他共に認める伝統郵趣家ですが、折角さまざまな楽しみ方があるのだからと思い、これまでもマルコフィリーやトビカル作品に臨んできました。

昨年の JAPEX では、なんちゃって郵便史作品を出品しましたが、やってみると意外と面白く、ちゃんとやってみようと思ひ決心するきっかけになりました。

そう思い、過去の世界展における日本の郵便史作品の結果を見てみると、大金賞を獲得している作品が非常に稀であることに気がされました。

本作品は国際展に一度も出品したことがない段階の作品ではありますが、国際展で郵便史部門で上位賞を獲得された審査経験の豊富な方に、どのようにしたら大金賞の可能性ができるかお聞きしたところ、

- (1) 展示範囲を狭める＝現在は長すぎる
- (2) 個々のマテリアルの Condition Rarity の改善
- (3) 構成の改善＝在外局と日本の郵便制度の混在がわかりにくい、の3点をご指摘いただきました。

さらに「仮にこれを全部達成したところで、大金賞は確実に取れるものではない」と付言いただきました。世界展の郵便史部門における大金賞と言うのは、本当に難しいのだと再認識した次第です。

特に本作品のような手彫時代から始まるものの、最終フレームに小判が入ってくる様な作品だと、外国人審査員に「新しいものが入っている」感覚を与えてしまう様です。

国際展への初出品もいつになるかわからないので、急がず気長に臨みます。右は美封ですが切手に傷があるため無競争で入手できたマテリアルですが、調べてみたところ田型貼りは数点との事。本当でしょうか？



和桜2銭田型貼り2倍重量便、東京→奈良、6.2.26(1873)

美作国の二重丸印

安藤 源成

次ページに美作の二重丸印」リスト全てを貼付します。リスト中は下記にとおりです。

凡例

☒=エンタイヤ、☒=はがき、●=単片、●=手掘り切手単片、郵便=郵便事務、承認=☒型承認印、證=書留請取証、税=公用税済、印=印鑑鏡、不=不統一印、記=記番印、郵便=郵便局局所印

美作国の二重丸印

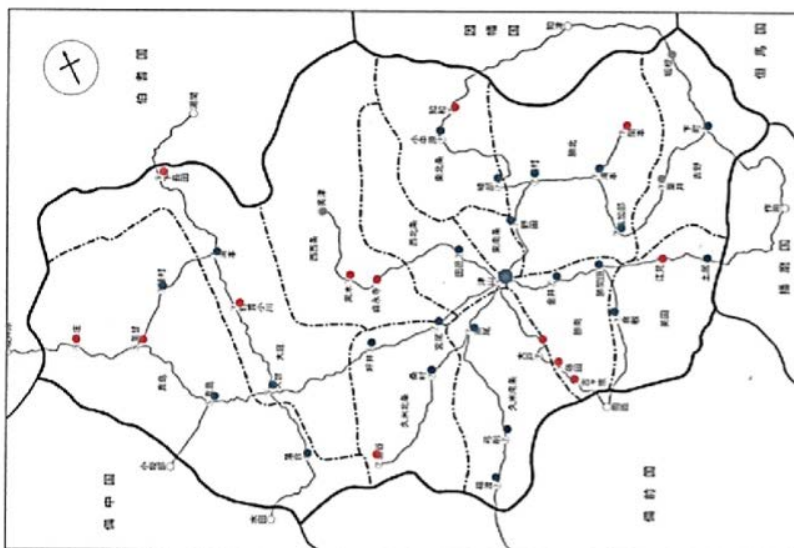
中国地方で唯一 海のない国、「美作」は「津山」を中心とした津山盆地を除けば、水の豊富な山と谷の閑散とした地である。明治7年12月16日、美作全域に郵便取扱所が開設され、8年1月1日より「郵便局」と成るまでは、出雲街道と因幡街道の郵便路線に10ヶ箇所に郵便取扱所が開設され、不統一印、記番印が使用された。

今回の展示は7年12月16日から20年8月31日までに美作に存在した郵便局で使用された二重丸印単独使用のみを展示した。

展示リーフの途中に下記要領の要領で「郡別局名」リストを掲載しているので参照して下さい。

- 局 名 欄 開設された取扱所(郵便局)が「改称」「移転改称」された局は1字控えた。
太字はエンタイヤ・葉書・単片使用済等 蒐集できた局。赤字は未収集局。
「下弓削村」は告示にはあるが実在しない。最初から「弓削」である。
- 開 発 欄 開局、廃局を記したが完全ではない。「通谷」は「西川」が廃止後、再度開局。
KG・KB2 欄 津山の「N1」は直径が大きく7年使用。津山に「KB1」欄を設けた。
KGは期間中全局で使用。KB2は19年4月26日に3等郵便局と成った局で使用。
1日一便送局は不使用。
- ☒=差立エンタイヤ確認 ☒=差立葉書 ☒=到着エンタイヤ確認 ☒=到着又中継確認
☒=手彫切手 印色 青 R=書留 ●=単片確認 ●=手彫切手単片 色字は印色。
☒印=印鑑鏡 郵便=郵便事務 税済=公用 税済 證=書留郵便差立証印記 ○米=郵便局承認印
- 備 考 欄 不+KG=不統一印抹消 KG 差立印。記+KG=記番印本柄 KG 差立印。津山にN1と「KB1+KB2」の移行期が有る。

美作国郵便路線図(M7)



不統一印コレクション局

● ●コレクション局

未収局

部名	局名	開 席	K G	K B2	備 考	部名	局名	開 席	K G	K B2	備 考
英田	土 居	5.7.-	☒	☒		真 島	月 田	14.11.18. 18.6.30.	☒	☒	
	江 見	7.12.16. 10.11.21.	☒				藤 森	14.5.20.	☒	☒	
	川 崎	10.11.22 19.5.14.-	☒	●		吉 野	坂 根	5.7.-			
	倉 敷	7.12.16.	☒	●	☒		栗 井	7.12.16. 16.-			
	福 本	13.6. 18.6.30.	☒	☒			栗井中村	16.- 17.6.30.			
勝南	勝間田	5.7.-	☒	☒	☒		下 町	7.12.18. 17.6.30.	☒	●	
	金 井	7.12.16. 20.3.31.	☒	☒			古 町	17.7.1.	☒	☒	☒
	藤 田	7.12.16. 11.-	☒				五 名	13.9.- 20.3.31.	●		
	吉ヶ原	7.12.16. 17.8.30.	☒	☒			後 山	15.2.23 17.6.30.	☒		
	行 信	16.5.1. 18.6.30.	☒	☒			大 庭	久 世	5.7.-	☒	☒
西北条	津 山	5.1.-	☒	☒	☒			釘貫小川	7.12.16. 10.12.21.	●	
	田 邑	7.12.16. 17.6.30.						小 川	10.12.22 20.3.31.	☒	☒
	香々美中	11.- 15.1.27.						湯 本	7.12.16.	☒	☒
	香々美	15.1.28. 18.6.30.						下 長田	9.9.25.	☒	●
	香々美	20.4.1.	☒	☒				上 徳山	14.5.-	●	
	西 一宮	15.11.27. 20.3.31.	☒	☒			勝北	植 村	7.12.16.	☒	☒
久米北条	坪 井	5.7.-	☒	☒	☒			野 田	7.12.16. 9.9.1.		
	宮 尾	7.12.16.	☒	☒				真加部	7.12.16.	☒	☒
	栗 村	7.12.16.	☒	☒				湯 本	7.12.16. 17.6.30.		
	通 谷	7.12.16. 14.9.28.						関 本	7.12.16. 18.6.30.	☒	
	西 川	14.8.29. 20.3.31.	☒	☒	☒			勝加茂西	12.3.15. 15.3.16.	●	
	通 谷	20.4.1.	☒	☒				廣戸市場	15.3.16.	☒	☒
	和田南	13.2.-	☒	☒			東北條	綾 部	7.12.16.	☒	☒
真 島	真 島	5.7.- 11.4.-	☒	●				小 中 原	7.12.16.	☒	☒
	高 田	11.4.-	☒	●	☒			知 和	7.12.16. 18.6.30.	☒	☒
	美 甘	5.7.-	☒	☒			西西条	真永寺	7.12.16. 17.6.30.	☒	●
	落 合	5.7.- 6.8.-	---	---				黒 木	7.12.16.	☒	☒
	垂 水	5.8.- 7.-	---	---				廣 津	7.12.16.		
	垂水落合	7.- 10.11.21.	☒	●				竹 田	7.12.16. 18.10.1.	☒	☒
	垂 水	10.11.22.	☒	☒	☒			寺 元	19.1.1.		☒
	新 庄	5.7.-	☒				久米南条	高 尾	7.12.16.	☒	☒
	植 村	7.12.16. 17.6.30.	☒	☒				下町南村	7.12.16. 8.-	---	---
	伊 崎	13.2.- 13.-						弓 剛	8.-	☒	☒
	真 賀	13.- 18.6.30.	☒					堀 渡	7.12.16.	☒	☒
	毛 益	13.7.- 14.11.17.						戸 戸	7.12.16.	☒	☒

楢 村 (NARAMURA)

勝北郡

明治7年12月16日 開局。

現 津山市蔵

◎ K G

書状 2 銭

明治(8)年1月27日



洋模 青 1 銭(口)×2 星「一」消

◎楢村 KG 1.27. → ◎藤田 KG 1.28.

郡名	局名	開局	K G	K B2	備考
勝北	楢村	7.12.16.	☑☑☑	☑	
	野田	7.12.16.—9.9.1.			不+KG
	真加部	7.12.16.	☑☑☑	☑	
	滝本	7.12.16.—17.6.30.			不+KG
	関本	7.12.16.—18.6.30.	☑		
	勝加茂西	12.3.16.—15.3.16	●		
	廣戸市場	15.3.16.	☑☑	☑☑	

真 嶋 (MASHIMA)

真 嶋 郡

明治5年7月1日 開局。

現 真 嶋 市 勝 山

◎ KG

番 状 2 銭

明治10年9月12日

真嶋局は明治7年12月1日より記番印を使用し、初期併用印は不統一印を8年3月頃より「◎KG 真嶋」を使用している。明治11年4月「高田」と改称され、記番印の併用印は[◎高田 KG]が12年半ば迄使用された。此の◎真嶋KG単独使用は「洋櫻 黄 2銭」単片が見つかった事から、誤用ではなく、記番印に何らかの支障をきたし、◎KG単独使用された。真嶋の「真」の上部が「ヒ」でなく「十」であるが現在の辞書には無い。

真 嶋
(MASHIMA)

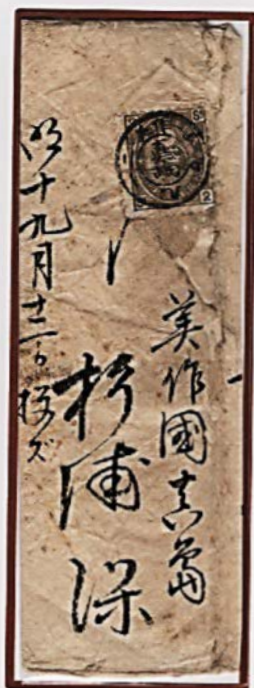


洋櫻 黄 2銭(タ)

高 田
(TAKATA)



洋櫻 6銭(ワ)



小判 2銭(オリーブ)
◎真嶋 KG 9.12. → 豊前・仲津郡

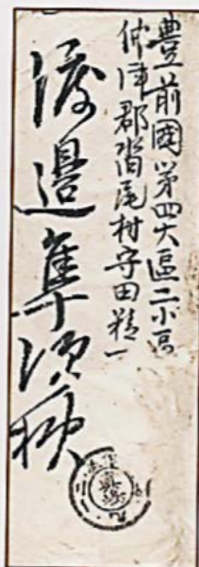


表 面

オープン

明治の東京・深川 郵便局ぶらり散歩

出品者：鎌倉 達敏

東京・深川出身のため、東京・深川局の各年代の郵便印を集めています。郵便史（マルコフィリー）部門でも、過去出品してきましたが、今回は、郷土の郵便の歴史を幅広い方に興味を持って頂くために、明治時代と現代の関連性を地図等で示しながら、「郵便局ぶらり散歩」として「オープン郵趣」部門に出品してみました。

明治の東京・深川 郵便局ぶらり散歩

明治年代、東京・深川には、次頁に示す16の郵便局（名称は異なりますが）が存在し、明治末までに各局変遷があり、12局になりました。各郵便局から発信された郵便物は、全国に残されており、一方、郵便局自体は、各局の変遷、関東大震災及び太平洋戦争による大空襲により、かつて所在した場所には、残されていません。そこで、明治時代の地図（明治39・40年）をたよりに、現代地図と照合しながら、3つの区分に分け、かつて郵便局が存在した場所をめぐる「郵便局ぶらり散歩」をする事にしました。現在の周辺の状況を写真で伝えるだけでなく、周辺の新旧の名所・旧跡もまわることになります。

明治時代の深川区役所 霊巖町局周辺



（九）

最ノ名所深川区役所（霊巖町）（水鏡大）月八年三十四治明

明治43年8月（大洪水）（聖恩優渥）勅使深川区役所着の景

深川富岡八幡宮の夏祭り



興興の場本下 祭大宮輔八岡富川深（物名丹江）

深川 昭和11年8月15日 富岡八幡神社臨時大祭記念

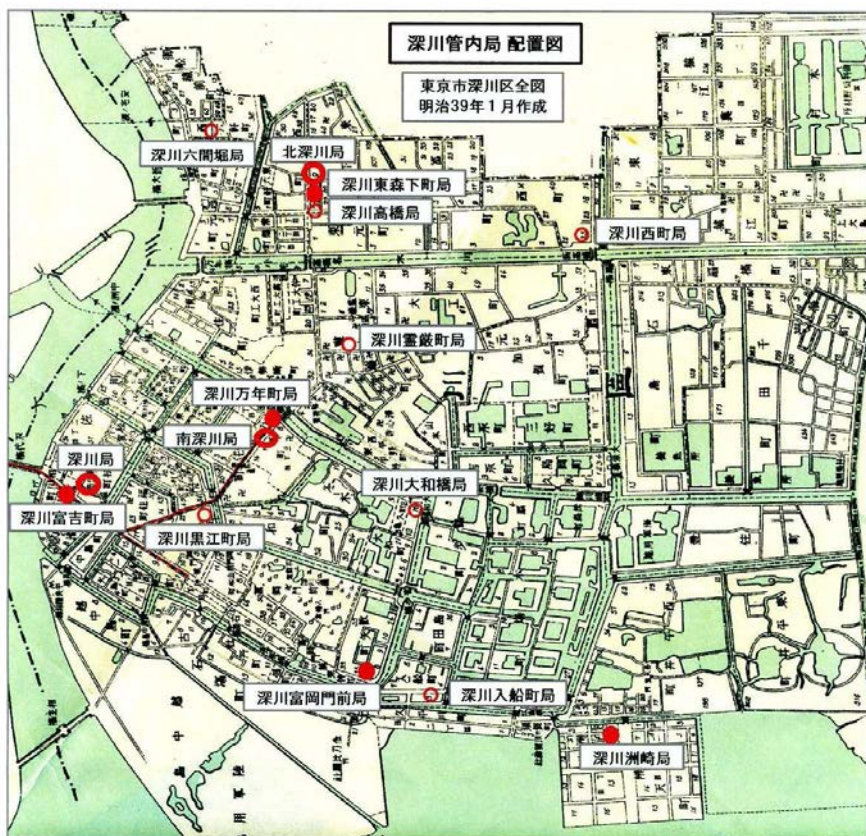
明治の東京・深川

深川管内局の配置

郵便局ぶらり散歩

明治年代、東京深川に存在した郵便局を、下記の3区分に分け、明治時代の地図に配置します。

1. 管内集配局の変遷 ○ 北深川・南深川・深川局
2. 郵便受取所の時代 ● 富吉町・東森下町・萬年町・洲崎・富岡門前局
3. 三等無集配局の発展 ○ 高橋・西町・入船町・大和橋・西六間堀・黒江町・靈巖寺町



明治の東京・深川

北深川局

郵便局ぶらり散歩



所在地：深川区東森下町



現在の地名：江東区森下2

東京十五区集 本所及深川区之部 明治39年版

東京都区分地図・昭文社刊 平成元年5月版

- 北深川郵便局
- 明治5.9.1
郵便仮役所として設置 設置名称「深川六間堀」
 - 明治8.1.1
郵便分局に改定
 - 明治14.2.- 「北深川」と移転改称 (1.26火災により焼失のため)
 - 明治16.5.23
郵便支局に改定
 - 明治18.8.31 廃止
 - 明治18.9.1
東森下町郵便受取所として引き継ぐ

芭蕉記念館



現在の周辺写真 撮影方向 上図⇒方向



現在の地下鉄 森下駅周辺のエリア。
移転に伴い、東森下町・高橋局と局名称が改称される。
現在も、同エリアに、森下町局が、無集配普通局として残っている。
付近には、江東区芭蕉記念館がある。

奥の細道シリーズ 第1集 行春や鳥啼魚の目は泪



北 深 川 局

明治16.1.2~18.8.31

二重丸印「N3B2」

北深川郵便支局

「N3B3S」

明治16年1月2日より、
ボタ印を使い始めた東
京支局で、証示印とし
て使用された。自局及
び連合局宛の補助便の
み使用された。



N3B2

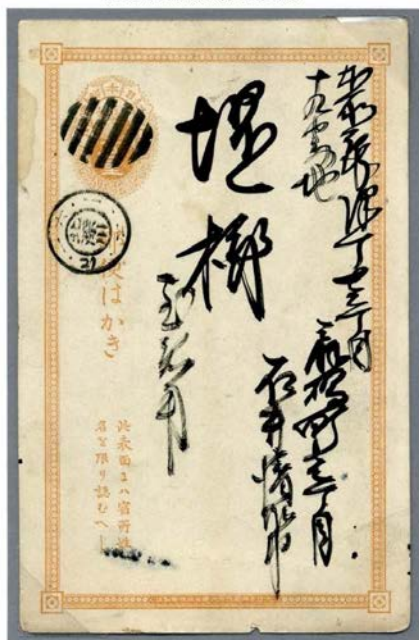


N3B3S

これまで、支局の
切手抹消は東京府
内に限定されてい
たため、全国宛に
は、東京名の挿入
が必要になり、
N3B3S印が導入さ
れた。

連合局管轄宛（初日使用）

全国宛



北深川 明治16年1月2日に便
深川扇橋町一本所亀澤町（本所支局）



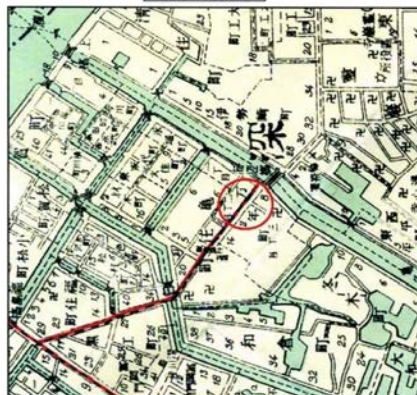
北深川 明治18年7月26日へ便
東京・本所林町一陸中・磐井
陸中・西磐井・磐井KG 7月29日

明治の東京・深川

南深川局

郵便局ぶらり散歩

明治の地図



所在地：深川区万年町

現代の地図



現在の地名：江東区深川一

南深川郵便局

- ・明治5.3.1 郵便取扱所として設置
- ・明治5.6.1 郵便仮役所に改定
- ・明治5.6.1 郵便仮役所に改定
- ・明治5.8.- 「南深川」と改称
- ・明治8.1.1 郵便分局に改定
- ・明治16.5.23 郵便支局に改定
- ・明治18.8.31 廃止（北深川と合併、深川に）
- ・明治18.12.05 郵便取扱所として設置

設置名称「万年町一丁目」

清澄通りの海辺橋際の万年町に、南深川局があり、深川万年町局として、引き継がれたが、今は痕跡はない。現在は、同エリアに、深川一郵便局がある。

また、付近には、昭和の映画監督、小津安二郎が誕生した商店がかつてあり、十歳まで過ごし、その後三重県松阪市の本家に戻り、映画の道を志すことになる。

現在の周辺写真 撮影方向 上図→方向



小津安二郎 生誕100年記念



深川一局



(2003年12月12日)



小津安二郎 誕生の地（深川1-8-8）

南 深 川 局

明治18.6.2~18.8.31

二重丸印「N3B3S」

南深川郵便支局

本便 全国宛

これまで、支局の切手抹消は東京府内に限定されていたため、全国宛には、東京名の挿入が必要になり、N3B3S印が導入された。



「フカガワ」欠けボタ印

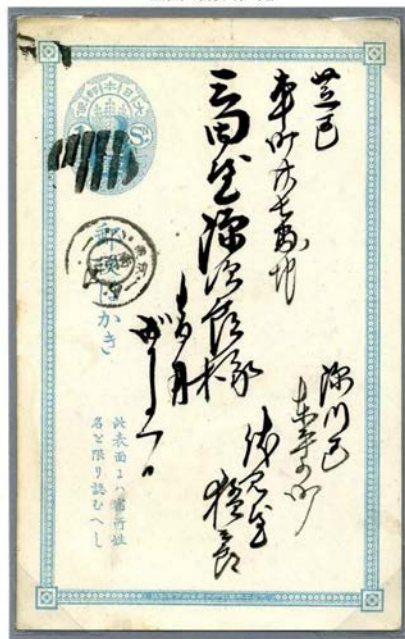


N3B3S



東京ボタ印

全国（府内）宛



南深川 明治18年8月1日ハ便

深川東平野町→芝車町（田町局）

「フカガワ」欠けボタ印（後に深川局でも使用）

全国宛（書留便）



南深川 明治18年8月24日ハ便

深川佐賀→徳島

Republic of Finland

its indipendence and the struggle

出品者：菊池 達哉

2015 年、JPS 北欧部会主催のミニベックスに 2F 作品を出品して以来、フィンランド共和国の歴史をテーマに作品作りを楽しんできました。この間貴重なご意見、ご指導を頂いてきた、JPS 北欧部会、テーマチック部会をはじめとする郵趣家の諸先輩各位に対しまして、この場を借りて御礼を申し上げます。

今回は、全日展 2019 で金銀賞を頂いた作品の構成を改め、フィンランド共和国の歴史を従来の 5F から 4F に圧縮し英文表記としました。サブタイトルとして織り込んだ“struggle”の用語は、同国の独立にいたる、そして独立後に数倍化したかのように見える同国の軍事、外交的困難から受けた印象を言語化してみたものです。

スウェーデンの領地時代にノブゴロド（ロシア）と国境が画定してから、米ソ冷戦終結の時代まで約 660 年のフィンランド史を、スウェーデン時代、ロシア時代、独立、対ソ連戦争時代、第二次世界大戦後の中立外交、の 5 章にまとめました。テーマからの逸脱を最小化するためにマテリアルを強化し、できるだけ分かり易い展開となることを心がけましたが、以前審査員の先生からいただいた「我田引水的」な作品からどれだけ改善しているかは、こころもとないところです。

Republic of Finland

its independence and the struggle

Following the history of the Republic of Finland notices us Japanese the international political realism of the military small continental country.

The republic of Finland had realized its independence in 1917, just after the Russian Revolution.

But after the occupied period as the territory of the Kingdom of Sweden and the Russian empire, the Republic of Finland has encountered the several crisis to be exiled. Finnish people have overcome these military crisis by their stout patriotism and the outstanding wisdoms of their leaders.

The 6th president Carl Gustaf Emil Mannerheim, the hello of salvation, said as below.

"Fortifications, artillery, foreign aid - will be of no value, unless the ordinary soldier knows that it is HE guarding his country"

The Republic of Finland, the population about only 5 millions, also today has been keeping their 7 hundred thousands of the reserves for the next military crisis.

Making this philatelic work could be the process to look straight their geopolitical fate, especially the fact of the long country borders on giant military power Russia, and could suggest us Japanese to notice firstly the difference of political realism between the Maritime and the Continental nation, and secondary the common importance of the noble spirits to be independent.

PLAN FOR THE EXBIT

- 1 Swedish era (1323-1809)
 - 1.1 Establishment of Sweden Finland
 - 1.2 Swedish-Novgorodian Wars
 - 1.3 Expansion of Russian control
- 2 Russian era (1809-1917)
 - 2.1 Russian emperor also serves Grand Duke of Finland
 - 2.2 Modern postal system
 - 2.3 The independence movement
 - 2.4 The Russian revolution
- 3 The independence of republic of Finland (1917-1923)
- 4 Finland Soviet War (1939-1945)
 - 4.1 The winter war
 - 4.2 The continuation war
 - 4.3 The lapland war
- 5 After World War II (1945-1995)
 - 5.1 Post war trial of the Axis powers
 - 5.2 Adaptation for the Soviet union
 - 5.3 Neutral diplomacy

1

2. Russian era (1809~1917)

2.2 Modern postal system

1856. Issue of the first stamp

5 kopeekka pair USED IN HELSINGFORS 1858.10.5



large pearl



Earliest using data is 1856.3.8

Oval design, and coat of arms of Finland and Posthorn as a symbol of post are designed.

The name "Finland" is not revealed.

The face value were revealed by both latin letters and Cyrillic, that is Russian, letters.

5kopeekka USED IN WIBORG 1856.11.2

WIBORG BOX TYPE POSTMARK EARLIEST DATA

small pearl



2. Russian era (1809~1917)

2.2 Modern postal system

1845 Portostempel-envelopes was issued

On March 29, 1848
ABO, current Turku.



Type I
the text 10kop
damaged top



Type II
the text 10kop
undamaged



1856 Oval envelopes with pearls was issued



1857.3.29 WIBORG,
current Leningrad oblast
Russia Vyborg

1854.10.28
FREDRIOSHAMN
"1854" may be
typographical error.
FREDRIOSHAMN
may be the Danish

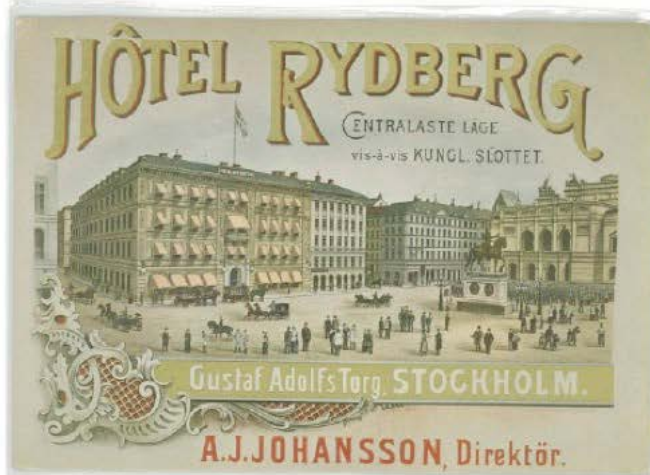
17 city.

2. Russian era (1809~1917)

2.4 Russian Revolution

1904. Akashi construction

February 22, 1904 . Akashi Motojiro , a member of the Japanese Secret Intelligence Service was visited by a finish independence activist, Konni Zilliacus at the Rydberg Hotel Stockholm Sweden. Since then, Akashi had supported the finish independence movement with the big intelligence funds of the Japanese military as an anti Russian construction.



Akashi Motojiro 1915



"Russian revolution became intensified, markedly from the time of Akashi's Appearance."



Novel "Clouds above the Hill"

By Shiba Ryotaro

31years ago,
in April 1873,
Japanese new leaders
"Iwakura mission",
had stayed also in this
Rydberg hotel.



外信実通 初日カバー

出品者：安藤 源成

外信実通 初日カバー (HAWAII宛 1939-1942) 2
国際料金 20 銭 + 航空 39 銭 + 書留 16 銭 (1940.7.1. - 1943.3.1.)

第一次昭和

藤原 雄 足 5 圓

1939(S.14), 7.21.



東京 14.7.21. → HONG KONG 20.39.JY(誤植) → HONOLULU AUG.9.1939. → REGISTERED HONOLULU AUG.10.1939.

1円・5円・10円FDCについて

1円・5円・10円切手は発行された当時、郵便料金は書状 4 銭、葉書 2 銭だったので 1 円切手は書状料金の 25 倍、5 円切手は 125 倍、10 円切手は 50 倍である。現在にすれば消費税を別として書状を 80 円として、1 円切手は 2000 円切手、5 円切手は 10000 円切手、10 円切手は 20000 円切手に相当する。当時通函する郵便料金は無かった。当時の収入からしてこれらの切手が購入でき、FDC まで作成できた収集家が何人いたであろうか？これらの切手は主として当時電話加入申し込みの際に使用された。又、1、2 等局では郵便料金の別納に使用されたので、実際に郵便物に貼付された。郵便に使用されたものは実便の FDC のみである。これらの切手は戦後、GHQ が郵便を統括していた時代に急激なインフレにより郵便料金が値上げされて使用され、現在、電話加入申込書や郵便料金別納受領証貼付させたものが多く残っている。これらの切手の FDC は日本郵便切手の白封のものが有り実便は極めて少ないのは当然である。

この展示した、5 円 10 円にカバーは河村氏が藤原氏に米ドルを送金して FDC の製作を依頼して作成したものです。その際、藤原氏は 5 円 10 円共に 3 通作製し、各 1 通を河村氏に、2 通は某氏に送り 1 通を取り返し所持して居た。日本郵政会が当時の善秀を同氏から聞いた。当時、日本の航空機は米国には就航してなく米国のパン・アメリカン航空機が香港まで就航していた。2 つのカバーの裏面に香港の中継印が押されているので P.A. によって運ばれたと思われるが航空料金については定かでない。



裏面

5 円切手の 100 枚シートは当時、米軍が持ち帰ったものが、近年、見つけたので数シートあるが、10 円切手のシートは極めて少ない。一般の蒐集家は欲しくても高価で手が出なかったが、しかし、一部の裕福な蒐集家は購入している。

REGISTERED(書留)とEXPRESSにはハワイ・HONOLULUに到着時に②のHONOLULU HAWAII REGISTERED(左)とWAILUKU HAWAII REGISTERED(中央)が到着印として押され日付けが入っている。右の黒印は「香港」の中継印が有るので、前年に就航したパン・アメリカン航空は北太平洋サンフランシスコ-香港に就航し往路は日本に寄航したが、往路はマニラ、ハノイ経由で帰航した。2 つカバーはパン・アメリカン航空で香港経由で、ハワイに運ばれたと思われるがチャイナクリッパーかも知れない。

5 円 10 円カバーの料金は経路は解明できない。

外信実通 初日カバー (HAWAII宛 1939-1942)
 国際料金 20 銭+航空 39 銭+書留 16 銭(1940.7.1. -1943.31.)
 第一次昭和

蝶 価 模 様 10 圓

1939(S.14), 9.21.



蝶 価 10 圓(9月25日 通和)

横原友治より河村照道宛。

①東京中央 14.9.21. → ②HONGKONG 29.SP.39. → ③WAILUKU HAWAII REGISTERD OCT. 12.1939



裏 面

<支那>加刷・大正白紙切手

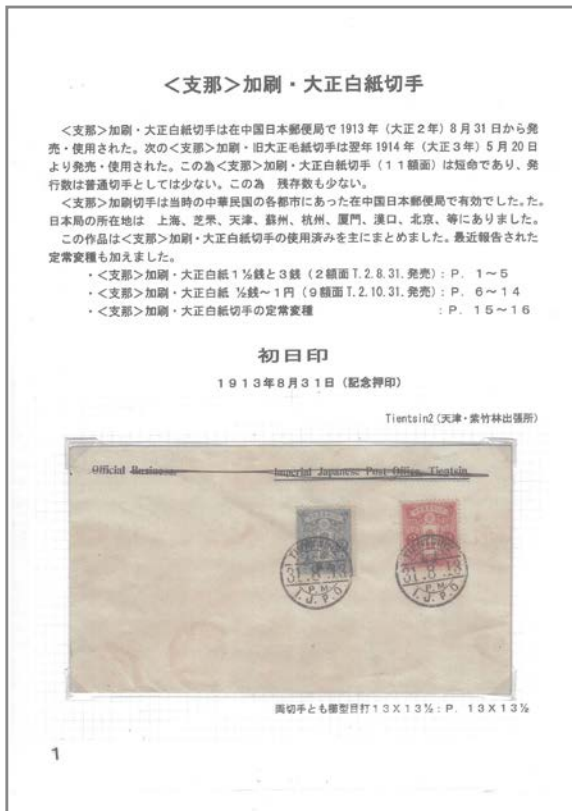
出品者：柳川 英幸

<支那>加刷・大正白紙切手は使用済が難しい。あえてこの作品は使用済切手を主にしました。14リーフまでに発行順、低額順、目打ち別に並べました。推定発行数は印刷局長年報書によりました。残された切手が多いものは多く、局での使用切手が多ければ多く展示しました。ただし25銭は青島・軍用をあえてはずしています。

最近 JPS「菊・田沢切手研究会」の会報で山口充氏が旧版・田沢切手の定常変種を報告しています。この印面の定常変種等を未使用・無加刷を含めて最後の2リーフに展示しました。

下記文章は全日展2021申し込み用紙の作品説明文です。

<支那>加刷・大正白紙切手は在中国日本郵便局で使用されました。1913年8月31日に2種、10月31日に9種 計11額面の切手が発売されました。そして翌年には旧大正毛紙が発売され、短命な切手でした。この作品は使用済みを中心にまとめ、最近報告された定常変種も入れました。支・大白は発行数も残存数も少ない。楽しみ苦しんで約40年かけて集めました。どうぞご覧ください。



大正白紙

〈支那〉加刷

1 円

単線目打 1 2

1913. 10. 31.

(大正 2 年) 発行

欧文櫛型印



(e)

Peking ゴム印

欧文櫛型時刻入印



Swatow



Shanghai



Chefoo



Peking

ゴム印

金属印

和文・非郵便印



上海



長沙

(e)

=



清 な

山東半島



台東鎮



—— 青島・軍用 ——



推定発行数 6, 000 枚

1 4

大正白紙

〈支那〉加刷

1 ½ 銭

目打：楕形 12 X 12 ½

(P. 12 X 12 ½)

1913. 8. 31.

(大正2年) 発行

欧文楕型時刻入印



Peking



Shanghai



金属印



Canton



Tientsin



Tientsin 2



Swatow

金属印

P. 13 X 13 ½

欧文楕型印



〈支那〉加刷

菊・1 ½ 銭 (紫)

Peking

ゴム印



Canton 金属印

推定発行数 15万枚(両目打)+切手帳400冊(4千ペーン=2万4千枚: P. 13 X 13 ½)
合計 17万4千枚

大正白紙
 〈支那〉加刷
 1 ½ 銭
 P. 13 X 13 ½

1913. 8. 31.
 (大正 2 年) 発行

欧文構型時刻入印



Hankow ゴム印

Hankow 金属印

Shanghai

Peking

(縦ガッター幅 2.5 mm 加刷の字の間隔 21.5 mm)



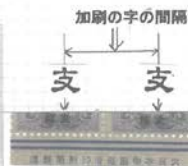
Canton

Tientsin 金属印

山東半島・青島 金属印

切手帳ペーン

銘版 (大日本帝国政府印刷局製造)



Shanghai

中子持ち紙

縦ガッター幅 3.0 mm 加刷の字の間隔 22.0 mm

百面シート中央に銘版部分

(百面シートの中央以外は各々 2.5 mm 21.5 mm)



縦ガッター幅 3.0 mm 加刷の字の間隔 22.0 mm

切手帳ペーン用シート中央

(切手帳用シートの中央以外は各々 2.5 mm 21.5 mm)

無加刷・大白と旧毛にも位置違いで確認

3

大正白紙

〈支那〉加刷

定常変種

100面シートの定常変種

2銭 花卉つながり (一部の100面シート Pos. 93の定常変種)



Peking 欧文櫛型印

X300%

無加刷に確認 旧大正毛紙は未確認

参考 無加刷に確認



合わせて7枚確認

第二次原版(10面)の定常変種

4銭 横線切れ Pos. 10

参考・無加刷

旧毛・加刷

無加刷

——定常変種あり——



X300%

10銭 花卉間の線切断 Pos. 3



点付き花卉 Pos. 9



X300%

20銭 横線切れ Pos. 2



X200%



X300%



100面シートと切手帳にも10枚に1枚存在
大正白紙の無加刷 加刷と旧大正毛紙に確認

第二次原版(10面) Position

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10

〈支那〉加刷

大正白紙

ポジション不明の定常変種

2 銭

印面に 3 個所の欠損

貝の足切れ、分銅の下白抜きとその下も白抜き

定常変種あり



X200%コピー

参考・正常・大正白紙

〈支那〉加刷

無加刷



定常変種なし

外信印刷物

Shanghai からドイツ Baden—Baden より転送 Berlin 宛



定変部分

X200%コピー

Shanghai 日本局 1914. 3. 11.

外信印刷物 2 銭料金

〈支那〉加刷・大正白紙切手 4 枚を確認 無加刷と旧大正毛紙は未確認

1 6

日芬関係史

出品者：菊池 達哉

従来作品のなかに散在させていた日本国との関係史については、今回オープン郵趣にも門戸が開かれている全日展のワンフレーム部門に機会をいただいて、「日芬関係史」として作品化しました。

日本による独立承認から 100 周年の 2019 年には記念切手も発行されていますが、本作品では漂流民大黒屋光太夫へのラクスマン父子による日本への帰国支援や日露戦争奉天会戦における乃木第三軍と後に第 6 代大統領となるマンネルヘイムとの交戦などの、独立承認以前の興味深い史実も取り上げました。

出品の度に、御覧いただいた皆様から頂く、ご批評、作品改良に向けてのご提案、また「これはお行儀悪いですよ」等のご指摘はありがたいものなのですが、今回、武漢コロナのワクチン接種は済ませているものの、5 月末日時点で全日展当日に錦糸町に伺えるかどうかは不透明です。どのような形でも、ご批評、ご提案をお寄せいただければ幸いです。



1901. 06. マンネルヘイムのアジア探検、隊長ポールペリエと柴五郎

1906年、ロシア軍大佐、G.E.マンネルヘイムは清国偵察の目的で、アジア探検隊に同行した。隊長のフランス人考古学者、ポール・ペリエは、1900年北清事変において、日本陸軍中佐柴五郎と北京籠城を戦っていた。

マンネルヘイムのアジア横断行程

ボール・ペリエを紹介するフランス新聞記事 1910

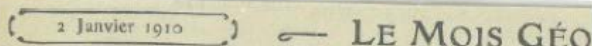
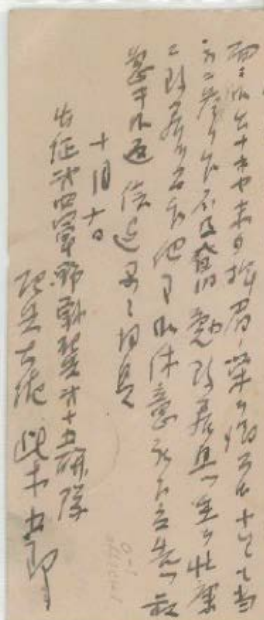


「救援軍から発せられた
連絡を日本公使館が受け
取ったという噂が流れて
いる。

私はじかに柴中佐に
たずねてみた。」

1900年7月14日

ポール・ペリエ



M. Paul Pelliot est né en France au mois de octobre, ayant étudié, à travers tout le Turkestan chinois et la Chine proprement dite, un magnifique voyage d'exploration dont Pelliot principal était de se livrer à des recherches archéologiques, linguistiques et linguistiques. Nous lui devons des documents d'un prix inestimable et de cartouches commémoratives de la Chine ancienne. Les collections de M. Pelliot, qui étaient revenues avant lui, l'ont été secondaires (voir la notice remarquable, le *Journal de la Vallée* ou la liste des observations astronomiques, un *Journal d'histoire et de civilisation* importantes collections (voir la notice sur la notice de M. Charles Nodding en passant sur la notice des photographies documentaires très artistiques).

Ne à Paris, le 28 mai 1878, diplômé de l'École des Sciences politiques et de celle des Langues orientales, licencié en lettres, Paul Pinel fut, à 23

1899, désigné par l'Académie des
Lettres comme membre de la
classe de l'Indo-Chine, devenant
spécialiste d'Extrême-Orient, afin d'y
faire des recherches linguistiques. En 1906, il fut
nommé professeur général de l'Indo-Chine
fine et là le jeune savant trouva
l'occasion d'une œuvre considérable.

Pekin en moins avant le siège que la révolte menaça la queue du service comme volontaire, lieutenant de vaisseau Darby. et piqué un drapeau à l'angle France. Pellet crioit de l'œil à un moment l'attention des et avec du pétrole le feu à une d'un mouvement rapide en



M. PELLJOT



柴五郎直筆

7. 山川健次郎 宛て葉書

1900年 北清事変における8カ国将軍を描くポストカード 中央 柴 五郎

郵趣振興協会 活動報告（17）

2021 年度 第1Q

2021 年 3 月 7 日～2021 年 6 月 7 日

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会（以下「当協会」と略す。）は、その活動について広く伝えるため、3ヶ月に一度レポートを発行し、電子メール等で賛助会員にお伝えすると共に、無料で掲載いただける雑誌媒体に同一内容を提供しております。

全国切手展「スタンベックス ジャパン2021」を開催

全国切手展「スタンベックス ジャパン2021」ですが、予定されていた4/10-13の開催を無事終えることができた他、記念企画として開催されたWEBセミナー『競争切手展に向けた作品の改善方法』（4/4, 5/4, 6/6の3回）も無事完了しましたので、ご報告申し上げます。

切手展自体の事業規模は528,550円でした。当協会予算からの拠出金額は予算30万円に対して94,100円（32%）に抑えて運営できました。会費・寄付金でご支援くださいました正会員・賛助会員の皆様に感謝申し上げます。なお、詳細の収支は下表の通りです。

収入	振興協会より拠出	94,100	支出	目録等外注	200,000
	出品料	214,450		出品料	15,000
	寄付	20,000		会場装飾費	29,546
	プレミアムスポンサー費	200,000		旅費交通費	9,640
合計		528,550		通信運搬費	14,198
				消耗品費	9,816
				撤去	77,000
				副賞費用	45,000
				謝礼審査員	45,000
				交通費審査員	18,350
				謝礼実行委員	65,000
			合計		528,550

同展覧会の記念企画として実施したWEBセミナーは、正会員・賛助会員（44名）に会員特典として無料視聴チケットを配布したほか、スタンベックスジャパン2021出品者（16名）に同様の措置を取りました。視聴チケットの有料販売はスタンベディア社を通じて一般の方に行い、20名の方にご購入いただきました。

展覧会はもちろん、クリティーク（審査員との対話による作品の改善指導で、オンラインクリティークも実施しました）やWEBセミナーも大変好評を博しましたので、来年も本年以上に充実した競争展が開催できるよう、共催者・協賛者・後援者と調整して進めたいと考えております。正会員・賛助会員の皆様には、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

役員を改選

今回の報告書の期間には、2回の総会を開催しております。まず、当協会の現理事及び監事の任期が3月31日をもって切れることを受けて、前回の報告書で、代表理事に対する新しい役員の立候補を募集したところ、募集締切日の3月20日までに下記の立候補がありましたので、3月31日に総会を開催し、議決権をもつ正会員の投票で全員が選任されました。

理事候補 菊地恵実 斎享 横山裕三 吉田敬
監事候補 守川環

なお、池田健三郎理事からは、2019 年前半にご多忙のため当協会の経営への参加が困難となった旨お申し出頂き、任期末を持ち理事をご退任されたい旨ご連絡をいただきました。

また、行徳国宏理事は、年齢および COVID-19 の流行により参加しての手伝いが難しいことから任期末を持ち、理事をご退任されたい旨ご連絡をいただきました。

行徳国宏氏を名誉会長に選任

4月2日に新年度最初の理事会を開催し、新任理事の中から吉田敬氏を代表理事に選出しました。また前期末をもち理事を退任した行徳国宏理事について、これまでの貢献への感謝を示すため、名誉会長にご就任いただくことを決議し、同氏にも受諾いただきました。

なお、名誉会長は、当協会の経営には携わりませんが、郵趣に関する知見を生かし、当協会の経営にさまざまなご指導をご好意でいただけることになっております。



郵趣振興協会 名誉会長
行徳 国宏

第4期決算を承認

当協会の第4期（2020年度：2020/4/1-2021/3/31）決算がまとまり、第5期（2021年度：2021/4/1-2022/3/31）事業計画・予算と共に、5月10日の総会で議決権をもつ正会員の投票で承認されました。

活動計算書（商法上の法人における損益計算書に当たります）によれば、第4期の経常収益は857,105円、経常費用は608,154円で、248,951円を第5期に繰り越すことが可能となりました。

経常収益の大きな割合を締めるのは、正会員・賛助会員からの受取会費で618,000円となります。これに展覧会の出品料（郵博 特別切手コレクション展、スタンベックスジャパン事業）等が加わった金額が経常収益です。

経常支出については、消耗品費181,246円と、ボランティア評価費用215,000円で3分の2を占めています。前者は、切手コレクション展示パネルの修繕費用及び同パネルの保管台車の購入費用です。後者は、各催事にご協力いただいた方にお支払いする謝礼の総額です。当協会では第3期に謝礼規定を定めましたが、その運用を全期間行った初めての期となりました。

以上が概略となりますが、詳細の資料につきましては、当協会の監督機関である東京都庁に提出中で、後日都庁のホームページで公開されます。

第5期事業計画・予算を承認

5月10日の総会では、当期事業計画並びに予算の承認も議題として提出され、議決権を持つ正会員の投票で承認されました。第5期 経常収益 予算は、1,076,000 円、同経常費用は、1,021,000 円です。また、事業計画については下記の通りです。

第5期 事業計画

昨年度の活動を通じて、全国切手展「スタンペックスジャパン」および、ビデオ会議サービスの郵趣への活用の2点は、当協会が今後注力していく分野となった。従って、第5期の活動は、これまで同様定款に定めた事業を遂行する中で、特に上記の2事業の継続・発展を念頭に置いたものとする。

この方針のもと、下記事項を前提に予算を策定した。

1. スタンペックスジャパンに予算を計上し負担する。
2. ビデオ会議サービスを活用した郵趣振興を更に強化する。
3. COVID-19 による影響を考慮し、催事の開催や準備を慎重に行う。

郵博 特別切手コレクション展の改善

2021 年度 第1回 郵博 特別切手コレクション展は5月8日から開幕を予定していましたが、東京都における3回目の緊急事態宣言の発出を受けて、郵政博物館での展示ができなくなりました。

この事態を受けて、主催者では、郵博 特別切手コレクション展の提供サービスの枠組みにクラウド展示（インターネットを通じた展覧会）を加えることを決定し、後援の無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社にシステム開発のご協力をいただき、クラウド展示システムを用意しました。

初めての運用となる『故郷の郵便の歴史展』では、幸い全てのご出品者にクラウド展示にご参加いただくことができ、地方にお住まいの方はもちろん、首都圏にお住まいでもコロナ禍で外出が難しい大多数の収集家に、展示コレクションをご参観いただくことができ、大変好評でした。また、本年度に展示を予定している展覧会の内、複数から同様の展示を行いたい旨、ご希望をいただいております。

この反響を受けて、当協会では、今後の郵博 特別切手コレクション展のメニューを見直すことを決め、クラウド展示をコロナ禍における一時的なサービスではなく、メインメニューに加えました。

具体的には、今後の郵博 特別切手コレクション展は、郵政博物館で展示を行うことを前提とする点の変更ありませんが、展示団体はクラウド展示の追加を選択することが可能になりました。

また、クラウド展示でフレーム数の上限なく展示が可能になったことを受けて、郵政博物館における展示フレーム数の下限の緩和も決定しました。

これまでは原則として 40 フレームの展示が集まらなければ、郵博 特別切手コレクション展は開催できませんでしたが、今後は会場における展示フレーム数は 20 フレームから 40 フレームの間で展示団体が選択できるものとし、20 フレーム程度の展示の場合には、死角のない切手コレクション展示パネルの配置も可能となりました。

非競争切手展を主催したいと考えている展示団体・グループのニーズは多様化してきていますので、当協会としては、その需要を満たすことができるサービスメニューの開発を今後とも行ってまいりたいと考えておりますので、どうぞご期待ください。

各種事業の進捗について

当協会は5つの事業「エキシビション事業」「フィラテリー必需品サプライ事業」「リサーチ及び研究推進事業」「フィラテリックPR事業」「次世代育成事業」を行っています。当クオーターにおける、各事業及び総務ほかの進捗をご報告いたします。

エキシビション事業

スタンペックスジャパン2021実行委員会（横山裕三 実行委員会事務局長）の活動

4/10-4/13 全国切手展 スタンペックスジャパン2021

郵博 特別切手コレクション展（2021 年度）を、郵政博物館と共催で1回開催。

5/8-6/6 ^{ふるさと} 故郷の郵便の歴史展

今後の、郵博 特別切手コレクション展（2021 年度）の準備・調整

フィラテリー必需品サプライ事業

「ヒンジ・カバー用コーナー・透明マウント」の3品目を最重要対象品とした、Amazon.co.jpにおける供給体制を維持。（本事業は随意契約の形で、無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社委託しています）

リサーチ及び研究推進事業

リーフ作成雛形提供事業の準備を継続中

フィラテリックPR事業

ウェブサイトにおける情報発信を実施（3-5月で46件。対前四半期+35%）

オンライン郵趣例会 振興プロジェクト（斎享リーダー）の活動の継続

当協会が、技術および宣伝協力した、オンライン郵趣例会の開催 4団体24回

オンライン郵趣例会を開催する切手サークルに対する集客支援方法の提供 2団体16回

スタンペックスジャパン2021記念WEBセミナーの開催

4/4, 5/4, 6/6 WEBセミナー「競争切手展に向けた作品の改善方法」

次世代育成事業

特になし

総務ほか

役員改選に伴う代表理事に対する立候補の受付事務の補助（3/10-3/20）

総会の開催・役員の改選（3/31）

総会の開催・前年度決算並びに今年度予算の決定（5/10）

第5期 会費更新事務、日常的な経理業務、問合せ業務への対応

（報告者：代表理事 吉田敬）

ジャパNSTAMPオークションニアレポート

鯛 道治

2021年5月29日開催の第117回（通算218回）フロアセールのレポートです。

今回はオークションでの値段の理由をアナライズ致します。今日だけの刹那の数字と、必然の高値、そして今後のお楽しみの方端緒になるうと思われる結果など色んなパターンが有るのです。

Lot109 無切手（或は貼付切手脱落）封筒東京発越前吉田郡下森田宛

配達局で房2 銭ペア貼 未納倍額 KG 越前森田

最低値 10,000 応札 2 落札値 240,000

メールの1番値クリアを目指して覚悟して場に来てくれた人が、猛烈なバトルをしてくれました。メールビッドは一人だけ、だからスタートは最低値の1万円、この局は局名録に開局時の記録が無いのです。頻繁に局名が移り変わっていて、正規の告示で福井の森田局になったのは明治39年1月1日からののです。地元印の方は、この局の希少性をご存じなので、ガチガチで買ってくれる確信が有りました。

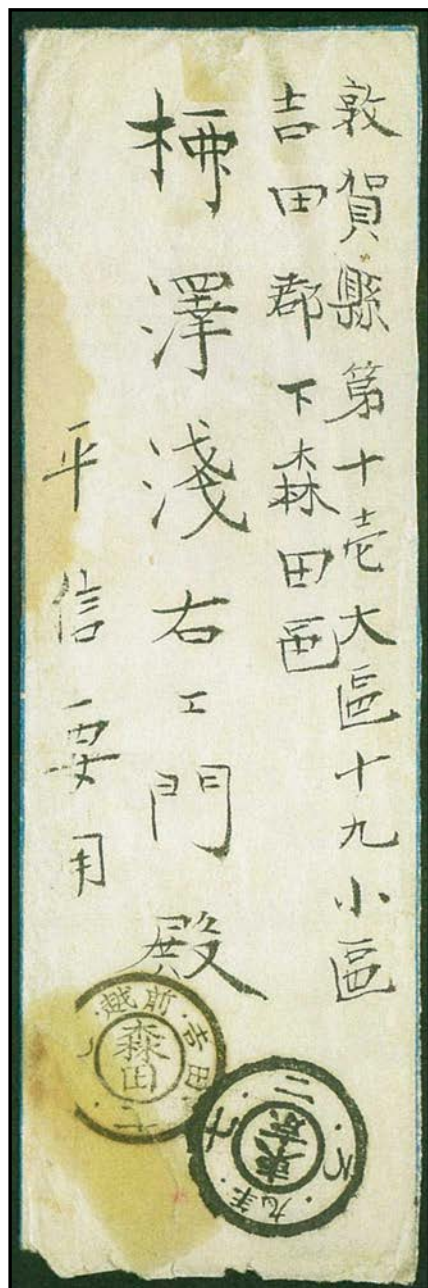
隠れたポイントがもう一つ有って、1番前のLot.108も何故か無切手で同じ相手に来ているのです。脱落の跡は有りません。連続便なので差出人は意図的に切手を貼らずに出していたのかな。Lot.109は、未納の倍額を配達局で貼ったのだと解釈をしたのです。

正規の郵便のルールからは外れてはいるのですが、実際のところは誰にも分からないのですが、趣味的には問題は無いでしょう。この理屈は手彫の人や郵便史コレクターには絶対に評価されません。だから買うのは消印の希少性を評価した越前国のコレクターだけだと読むのです。

ご本人も落とすつもりで場に来てくれました。一連の越前・若狭物ですが、他の物は軒並み無競争での最低値でのハンマーでした。でも、これだけは違っていたのです。意外な伏兵がメールで23万の札を入れていたのです。理由は私ならば完璧に判ります。局名とご苗字が同じだったからなのです。

福井の人の評価もまさか23万のライバルがいるとは思われていなかったでしょう。場に来て大正解、メールビッドでは頑張った数字を入れても、もっと強い人が局名の名前に惚れ込んでいて、結果として一声負けてしまっは寝覚めが悪かったと思います。もし代行者にノンリミットで頼んだとしても、この変な値段は代行する人にもストレスになるのです。ご本人が場で納得の上で落し切るのが、皆にハッピーな結果になるのです。

競ったお二人が全く違う方向を向かっているの不思議なお値段も、オークションの一面で有るのです。普通は一桁安い筈なのですが。逆説ですがメールビッドで減茶値が入っていて、競る人がもうお一人いたならば、一桁高くなる物も弊社のオークションには沢山潜んでいるのです。これは私しか知らない秘密です。誰にも漏らさないし、直ぐに忘れてしまいます。オークションの値段とは基本的にはそんな物なのです。



Lot395 第2次世界遺産第5集 高山寺表参道 裏焼き みほん 正規品付き

最低値 80,000 応札 5 落札値 155,000

2001年発行なので20年が経過したのです。図案のミスは、田中敏彦さんが見つけて当局に報告、郵政にすれば余計な事をしてくれたかと思っただかも知れません。高山寺の表参道の原画写真が裏焼きになっているので発売停止になったのです。

裏焼きのみほんは、当初全国の郵便局に配給されて、通達により当局に返還させ、正規の物と差し替えになりました。でも、【みほん】は有価証券扱いではないので通達は緩かったと思います。局長さん自身に郵趣の素養が有るか、親しい郵趣家に達者な人がいた場合は、返還せずポケットに内々したケースも少なからず有ったのです。私もこの流れの物を複数回収っています。

オボログ記憶なのですが、オークションでの相場は10万前後だったのかな。久しぶりのご出品ですが、思ったより良い値段だし、ビッド数も想像以上に入りました。20年を経過しているので、もうこれ以上には数は増えないでしょう。もし更なる新規発見か、再流通でも今回の値段が一応の基準になるでしょう。

出た当時に情報通の人たちで話題になったのが、未使用が極少数売られたということです。北関東の何かのイベントでフライング発売されたそうなのです。10枚+と聞きました。当初の未使用は、当然ながら局に配給後にきつい通達で回収されたので、誤発売以外の横流れは無いと思います。コレクターの人情ですが、未使用を欲しい人は沢山いるはずです。もしマーケットに出ればいくらで売れるのでしょうか。ドイツのオリンピックみたいに数百万は無理でしょうが、50万円前後かなと思っています。

実は掠った物が現実に有るのです。単片の使用済です。確かに裏焼き、でも機械印の波部分だけでした。数年前にオランダのRijnmond Auctionに出たのです。きっちりと、裏焼きと明記して、大珍品の評価をしていました。物は本物です。瞬間買うべきか迷ったのですが、結論としてはパス、参考値は高いし、波部分だけのチョロ消なので飛び込む気にはなれませんでした。⑩でなくても良いのです。せめて局名が読めたなら、勝負したかも知れません。このオークションハウスは日本に結構送ってきているので、もしかしたら日本人が買ったかも？

今回のみほんの結果を見る限り、オークションで扱ってみたい気になっているのです。でも、単片不読の使用済の最低値とすれば私の評価は、売れても10万円、多分それより割高だったから手を引いたと思うのです。今どこに有るのかな。

The World Heritage

世界遺産

みほん



背景「鳥獣人物戯画」高山寺蔵

- ① 宇治上神社：拝殿と本殿
- ② 宇治上神社：本殿内部（左殿）「裏股（かえるまた）」
- ③ 高山寺：表参道
- ④ 高山寺：石水院
- ⑤ 西芳寺：庭園「霞島」
- ⑥ 西芳寺：庭園「向上閣」

古都京都の文化財（京都市、宇治市、大津市）

第5集



① ②



③ ④



⑤ ⑥



⑦ ⑧



⑨ ⑩



- ⑦ 天龍寺：庭園「曹源池」と「龍門瀧」
- ⑧ 天龍寺：庭園「曹源池」と「出鳥」
- ⑨ 鹿苑寺：秋の「金閣」と「鏡湖池」
- ⑩ 鹿苑寺：雪の「金閣」と「鏡湖池」



財源寺印刷製版
平成13年11月22日

Lot1508 脇無 1 銭官葉ヨ? 脇文字偽加刷 □愛知川検査済

最低値 5,000 応札 2 落札値 5,200

Lot1531 震災 1.5 銭貼 偽印櫛第 15 回赤十字国際会議場 9.10.15

最低値 1,000 応札 1 落札値 1,000

Lot1532 新毛 1.5 銭貼 偽印櫛 XVeC.I.O.R. TOKIO 15.10.34

最低値 1,000 応札 2 落札値 1,100

コレクションでは無いのですが、いつの間にか自然にお仲間が集まってくるのです。物もそうですが、扱った経験が知識として蓄積されていくのです。偽物・変造品がテーマです。多分、誰よりも数を見ているし真剣に接していると思います。トンボだけでも手元に数百枚は溜まっています。何時か何処かで発表をしたいと思うのですがその端緒も掴めていないのです。だから、ただのアクチュムレーションで数を増やしているだけです。

知識の方は特定のマテリアルでは良い線まで来ています。反応してくれる共通の価値観を持った同志が居ればですが。櫛型 慶應義塾前のバックデート消は、石代博之氏が遊びで集めていて、山ほどある偽物の中から本物を探して喜んでいたので。彼が持っていない物を随分提供していたのですが、最早彼は居ません。未完のままで逝ってしまい、コレクションの欠片も残っていないでしょう。超ゲテモノですが 1 フレの作品で見たかったテーマです。

脇無 1 銭の脇文字偽加刷は、大島正昭さんと組んでいたのです。二つ折れには縁が有って、誰よりも数を扱っていると思います。John Yumoto さんの物が主体ですが、ヨーロッパや香港のオークションでも見つけたら洩れなく全部買っていて、紅枠はいつしか未使用で 8 種の仮名揃い、脇無は半銭・1 銭共に未使用の仮名のコンプリを目指していたお二人の最後のキーマテリアルのピースを埋めました。6 行・広幅は勿論ですが、全抜けも記録に出ている物は手にする機会を得たのです。

数千枚の脇無 1 銭を整理していて、手が止まったのは、脇文字偽加刷だったのです。半銭では見ていません。脇付はカナガイのみなので、見抜くのは簡単です。変な理屈が隠れているはずもなく、単純に希少性を上げるための脇文字を偽加刷したのです。

大島さんに話したら結構うけてくれました。仮名と版違いをどれだけあるか集めてよと言ったのです。20 枚ぐらいいは提供したと思います。後半のフ・コ・エ=硬い純白紙では見たことが有りません。結構良い線まで行ったと思うのですが、これも未完で終了です。

一つだけ情報を書いて置きましょう。脇文字偽加刷は、何故か不統一の鮮明消が多いのです。私の感覚では全部だったかも知れませんが。商売となればこれは罪な事なのです。余計な加刷が無ければ、良い値段で売れる不統一なのに、邪魔な物が有ればまともな値段にはなりません。せいぜいが @ 5000 円になるのです。まともなコレクションには使えない重要な瑕疵と見做されます。商売的には所詮はお遊びなので腹も立ちませんが。



1508

序でに赤十字国際会議も書いて置きましょう。わたくし的には、猿でも見れば分かるでしょうの偽消です。同じ日付とスタイルで沢山出回っています。絵葉書の裏に無意味な切手を貼った CTO です。

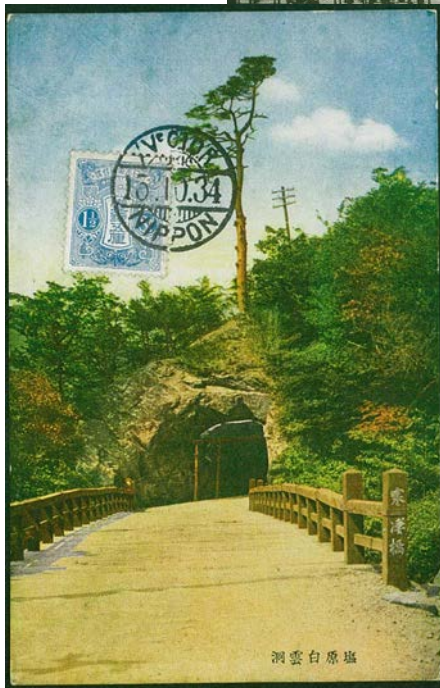
何点かは愛国とか昭白とかの偽消の日付以降発行の切手を貼っています。この条件で物を見れば、印色黒黒で、金属印として見るには違和感があるのです。もう一つのポイントは、絵葉書の白地に K.Z.FURUYAMA の青印を押してあることです。この人が昔大量に作ったのでしょう。

このスタイルは、今までは和文しか見ていませんでした。そして震災切手貼も初めてです。でも貼っている切手の希少性は何の意味もありません。欧文印の偽消は今回初めて見ました。

今までは、欧文印は殆どが初日だけれど全部本物、だから和文の本物を探そうと思っていたのです。和文の実通はもしかしたら未発見かも知れません。和文と欧文共に偽消が揃ったことで本物も探しやすくなったのです。特徴を押さえて、疑って見れば、剥がされた単片であっても容易く区別が出来るのです。F D C や郵趣家便を剥がした欧文印以外の本物はかなり難しいと思います。



1531



1532

Lot2003 和桜中間印刷 1 銭 3 版 Pos9 - 11 横 3 連貼 □松原 / 検査済

最低値 100,000 応札 4 落札値 720,000

目打はどう見ても短器 10 でした。ピッチでは MLL の可能性も有るのですが、雰囲気では松田とは思えません。真剣に精査すれば、中間印刷と書けるのですが、今回は手を抜きました。政府でも中間でも松田でも値段は全く変わらないからです。河内の初期消印は製造面の要素は値段にリンクしないのです。要するにお二人、強い人と降りない人がいるのです。

メールビッドのお二人は、超一流の手彫のコレクターです。お値段は中間 3 版の初期の不統一消、ルックス良好に惚れてのビッドでした。スタート値もメールの一番値も立派な値段だったのですが、河内のお馬鹿さんには敵いません。ここらは、物の普遍的な価値ではないのです。要するに、二人が全く同じ視点で一つの物を欲しがるからこんな値段になるのです。

今回の出品者がこっそり教えてくれました。蔵出しで抱えていた一連の河内物もほぼ終わり、でもって置き物がもう一点だけ有るのだそうです。さあそれは何でしょうか。



Lot2484 U小判 1 銭 2 枚 (小針穴状の虫穴?多数) を裏に貼 東京ボタ+ N3B3S 18.6.13 徳島宛

最低値 1,000 応札 7 落札値 70,000

書きごたえがある新発見です。四国の蔵出し品を古物屋さんから買った人のご出品でした。一連のU小判貼のエンタの山でした。宛先が阿波徳島の薬屋さん、今もご商売をされているし、エンタで見る限り当時も幅広く活動されていたと思います。

切手の状態が虫舐めなので、ロットに入れるかゴミで捨てるかを逡巡したのです。どう見ても東京ボタの傷エンタ、でも雰囲気は違うのです。何度見てもN3B3S・外周に東京の文字、瞬時には反応出来ませんでした。

私の知識では、Sは本局でなく、支局のはず、使用開始は18年6月2日から・・・。澤さんのボタの本を調べたのですが、N3B3Sで東京本局は影も形も無いのです。秋元さんの大冊には東京ボタの全てのタイプが出ていますが、もちろんこれは載っていません。もしかして知らないのが私だけで、幾らでも有るゴミなのかなと思ったので、水口公秀さんに確かめました。即答でOKの確信が持てたので、裏表紙に掲載です。最低値は1000円、状態が理由です。

ボタとしては驚愕の新発見かも知れません。評価とすれば、メルクマールに山家を用いることはしませんが、東京市内局の下板橋か、中野の切手貼と同格かな。数字を出せば100万レベルかも知れません。

当然ながらご出品者にもっと無いの?の連絡を取ったのですが、連れの可能性は有りません。同じ山にも東京発のエンタはこれしか無かったのです。

でも、現実に1点有るという事は、接近した日付の東京本局でこの印類が使われたのは確かです。18年6月1日以前には遡れませんが、6月2日～13日++なら可能性は有るはずです。

書留とかの特殊扱いでなく、宛先故かどこかの支局扱いの物に対する抹消印なのか、何らかの必然の理由があるはず。説明されることが望みます。

澤先生ご健在ならどういう解釈をされたのかな。榎さんがおられれば、ノンリミットで落し切ったはず・・・。でも、この状態の物を、我ながら良く見つけたと思います。

戸籍が付けば、値段は即座に一桁上がります。現時点でも買った人の勝ちだと思っていますのです。



Lot2576 旧小判 30 銭白紙 11 L再接横ペア 白抜Y 美

最低値 100 万 応札 3 落札値 1,700,000

世が世であれば、というよりもほんの少し前までは小判切手のコレクターにとっては垂涎の的でした。ウッドワードの時代から派手な珍品として有名で、旧小判収集家にすればこれが有って初めてコレクターと認められるという、悩ましき通行手形だったのです。戸籍もトレースされていて今や 20~30 枚位は有るのでしょうか。消印は白抜 Y と東京ボタが標準です。プラスして赤間関ボタと KB2 武蔵府中、完全なペアは無く、再接が最大です。耳付は 1 点だと思います。

今回の写真版作成でちょっとしたチョンボがあったのです。スタッフが画像作成の作業を殆どテレワークでやっているの、図版の最終確認が漏れました。オークション型録の表紙と、ここでお見せする画像を比べてみて下さい。現物はピタシクっ付いているのです。ヒンジも使っていない、一見完全なペアなのです。疑ってルーペで見れば再接は判りますが、肉眼で切れ目は見えません。良い物ですよ。



ちょっと前までの 30 銭 11 L は消印問わず、目打が完全ならば 100 万が相場でした。余りにも凄いスピードでの物の流通が激しいので、マーケットの需要が供給に付いていけないのです。買う際にも物を選んで買えるのです。でも、良い物は今後も売れ続けると思います。赤間関・府中・ペア・耳付・・・プレミアがついた物はオークションでは取り合いになるでしょう。

取りあえずの目標は、Y と東京ボタの 2 枚揃えとして置きましょう。その需要を満たす位の売り物は、私の手元で出番を待っているのですが、応札 3 になっていますが、システム故の不完全な表示で有り、実際はメール 1、フロア 3 が正解です。

このマテリアルは 20 年程前に私が頼まれて全コレクションを個別に評価した 1997 年桑港のパシフィコ国際展に出品された目玉品でした。単片 100 万 $\times 2 + \alpha$ の数字がしっかりとメモした記録が残っているのです。でも、昨今の相場での冷静なお値段とすれば今回の結果が妥当かなとも思います。

On Sale のオークション、数回に亘って綺麗な小判が並びます。エンタは全額面で揃っていて、いずれ劣らぬ超銘品が選び放題です。未済共にブロックが完揃い、銘版、プルーフ、布告等、無い物が無いと思います。さあ、覚悟して頑張ってもらいましょう。

今回の弊社のフロアセールは横浜でのアジア展の Special Sale です。良い物が各分野で本当にたくさん並びます。ここには書ききれないのですが、オークション誌の入稿が 7 月 15 日なので、7 月後半から Web. に情報を開示いたしますし、事務所でも下見して頂けます。悩ましき珍品が何時もの 10 倍は有りますよ。

スタンペディアオークション

第 17 回セール (2021.5.1 フロア 綿商会館) レポート

スタンペディアオークション株式会社

5月1日に日本橋富沢町の切手市場第二会場（綿商会館）で第17回セールを開催しました。このセールの当初の開催予定日は4月24日（土）でしたが、会場として予定していた『都立産業貿易センター・台東区民会館ビル』が東京都の息のかかった施設ということで、都知事が急な政治判断を行うリスクがあると判断し、開催3ヶ月前の1月18日に、会場を民間経営の施設に変更する判断を行い、それに伴い開催日も1週間後ろにずらしたものです。

予想が見事に当たってしまい怖いのですが、3回目の緊急事態宣言の発出に伴う混乱の影響を受けることなく、改訂された会期と会場で、マスク着用、手指消毒をお願いした上でフロアセールを無事開催することができました。事前入札は307名（4名）にとどまりましたが、フロア来場者数は34名（+6名）と増加し、活発な競りが行われました。最終落札率72.3%、流通額16,493,328円。

恒例の事前入札ベストテンは以下の通りです。（単位：円）

	事前入札 件数	Lot	最低値	スタート	落札値	ロット内容
1位	14	1360	3,000	22,000	22,000	スイス 1936-2000 寄付金付き小型シート 12 リーフ
2位	13	214	8,000	52,000	52,000	菊 3 銭赤 櫛型印 (C 欄時刻入り) 明治 44 10 19 関金間船内第四 到着印：10/21
3位	12	961	3,000	21,000	21,000	ルイスカパー 新毛平面 5 厘、新毛輪転 1.5 銭、風景 2 銭、6 銭毛紙 風景印 昭和 8 8 20 富士山→アメリカ 外信書状<料金参考情報>外信書状 10 銭 (超 +6 銭) [1925.10.1 - 1937.3.31]
4位	11	962	3,000	21,000	21,000	ルイスカパー 新毛平面 5 銭、7 銭、富士鹿 8 銭黄・新版 風景印 1937-08-13 CHICHIBU-MARU/SEA POST →アメリカ 外信書状<料金参考情報>外信書状 20 銭 (超 +12 銭) [1937.4.1 - 1945.3.31]
5位	10	575	3,000	8,500	8,500	戦前記念切手バケット フレッシュな関東局 30 年 10 銭含む 未使用
	10	758	2,000	6,400	7,600	郵便創始 75 年小型シート、赤十字共同募金小型シート 未使用
	10	765	3,000	5,200	5,200	金沢通信展小型シート 6 枚 未使用 ヒンジ跡なし
8位	9	203	5,000	14,000	27,000	菊 1.5 銭紫 丸二印 (樺太) 明治 40 10 21 マウカ→麻布 到着印：10/26 絵葉書
9位	8	239	5,000	10,000	52,000	青枠 1.5 銭葉書 丸二印 (野戦局) 明治 40 11 ウラヂミロフカ→福島 年賀郵便
	8	664	3,000	5,000	7,200	平等院 30 円ペア、東照宮 45 円 8 枚ブロック、鶴岡 100 円 8 枚ブロック 銘付 未使用 など
	8	763	3,000	10,500	10,500	名古屋通信展小型シート、三島切手展小型シート、青森新聞と切手展小型シート、四国切手展小型シート 2 枚、金沢通信展小型シート 済 特印
	8	778	5,000	11,500	11,500	文化人野口 (タイプII含む) →岡倉の全揃い 84 枚。(8 円が 56 枚、10 円が 28 枚) 済 櫛型印 (右書き含む) の満月等の印影良いものがほとんどの消印セクション。
	8	964	10,000	37,000	58,000	ポツダム宣言受諾記念カバー？ (前田晃サイン入り) 勅額 10 銭無目打 済 櫛型印 昭和 20 8 15 富岡 台は橋公 2 銭葉書

海外会員の分布数と、第 17 回セールにおける落札者の国別分析

スタンペディアオークションは、ディスクリプションを英語でも提供する国際オークションハウスです。従って日本語を母国語としない会員の登録や落札も多いのですが、今回会員及び落札者のの居住国を分析してみました。

現在、日本以外にお住まいの当社登録会員数は 371 人です。実は国内にも日本語を母国語としない会員は数名いらっしゃるのですが、今回は除外します。この内 3 割は郵趣大国である、米国とドイツにお住まいの方で、米国切手の魅力的な出品物の取り扱いが増えていることもあり、最近では米国にお住まいの方のご登録が増えています。

3 位以下を見ると中国が意外と多くなく、欧米各国からの登録が多いことが分かります。この理由は、欧米各国の魅力的なコレクションの出品が多いことが第一の理由です。ポーランド、カナダ、ルーマニアがそれぞれ 10 名以上いるのは、それぞれの国の珍しいマテリアル（下図）が出品されたことが契機となっています。



第 16 回セールより

左 #1151 25,000 → 64,000

右 #1152 25,000 → 76,000

また、東南アジア各国からの登録が多いのも特徴ですが、これは南方占領地の優れたコレクションが出品されることが背景となっています。

第 17 回セールの場合、一点以上落札した方の総数は 255 名でしたが、このうち輸出は 56 名 (21.9%) と多く、手続きは若干たいへんではありますが、好調なセール結果の要因となっています。今後の方針としては、引き続き欧米での会員数を増加させるべく、魅力的な出品物の募集と宣伝を行うと共に、英文ディスクリプションをより充実させたものとして参りたいと考えています。

日本以外にお住まいの会員

居住国	人
米国	56
ドイツ	54
オーストラリア	18
中国	17
英国	17
スイス	15
ポーランド	14
カナダ	11
ルーマニア	11
デンマーク	10
フィンランド	10
フランス	10
台湾	10
オーストリー	9
香港	9
オランダ	8
マレーシア	7
シンガポール	7
タイ	7
チェコ	6
韓国	6
イタリア	5
ロシア	5
ハンガリー	4
スロバキア	4
イスラエル	3
ニュージーランド	3
スペイン	3
ウクライナ	3
インド	2
ラトビア	2
ルクセンブルグ	2
スウェーデン	2

17 回セール 海外 落札者

居住国	人
米国	13
ドイツ	5
英国	4
カナダ	3
韓国	3
中国	3
オーストラリア	2
フランス	2
香港	2
ニュージーランド	2
ポーランド	2
ルーマニア	2
タイ	2
台湾	2
オーストリー	1
チェコ	1
デンマーク	1
エストニア	1
フィンランド	1
ハンガリー	1
オランダ	1
シンガポール	1

スタンペディアオークション

第 17 回セール (2021.5.1 フロア) 最終落札結果

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
1	4,000	62	72,000	127	4,000	201	13,500	264	85,000
2	3,200	63	105,000	131	3,000	202	2,600	266	4,000
3	5,000	64	135,000	132	2,016	203	27,000	268	3,000
5	40,000	65	5,000	137	4,200	204	3,000	269	6,000
6	100,833	66	5,800	138	3,000	205	15,000	272	4,600
8	5,200	67	12,500	141	3,000	206	8,000	273	4,000
10	8,000	68	8,000	142	11,000	207	2,000	274	5,000
11	3,000	69	5,000	143	10,000	208	3,000	275	6,000
12	15,500	70	10,000	147	3,025	212	6,000	276	3,800
13	15,500	71	10,000	148	8,000	214	52,000	277	4,000
14	125,000	72	15,000	153	2,600	216	15,000	278	3,000
16	31,000	73	21,000	154	15,000	218	3,000	279	46,000
17	15,000	74	21,000	156	2,000	222	12,500	280	5,000
18	115,000	75	10,000	159	11,000	224	1,600	281	26,000
19	64,000	77	19,000	160	90,000	226	3,000	285	3,000
20	530,000	78	15,500	161	20,000	227	3,000	286	30,000
21	6,200	79	5,000	164	21,000	228	10,000	288	5,400
27	41,000	80	27,000	166	3,000	229	5,000	289	3,000
28	41,000	81	20,000	168	70,000	232	2,000	292	5,000
30	6,200	82	6,200	169	12,500	233	6,000	294	16,500
31	6,200	83	10,000	171	2,200	234	4,125	295	3,800
32	2,000	84	13,000	172	12,500	235	6,000	296	15,500
34	78,000	85	3,400	173	4,000	236	3,025	297	3,025
35	100,000	86	18,500	174	5,000	237	8,066	298	3,000
37	4,033	87	5,000	175	23,000	239	52,000	299	3,000
38	3,000	88	3,000	176	3,400	240	5,000	300	3,400
39	8,000	89	4,000	177	3,000	241	2,000	302	14,500
40	2,200	90	3,000	178	12,500	242	5,800	303	3,000
42	9,000	91	2,000	179	2,600	243	6,800	305	9,500
43	4,000	92	3,000	180	12,500	244	5,400	306	3,200
44	11,000	93	2,000	181	54,000	245	15,500	307	3,000
45	85,000	95	3,000	182	2,000	246	10,500	308	3,200
46	50,000	96	6,200	184	3,000	247	5,000	310	5,200
49	52,000	102	3,000	185	7,800	249	4,200	311	3,000
50	62,000	103	12,500	186	4,000	250	5,000	314	5,000
51	140,000	104	3,000	189	8,000	251	5,000	316	1,833
53	12,500	106	2,000	190	4,200	252	5,200	317	4,200
54	125,000	108	2,000	191	3,800	253	3,400	320	3,200
55	80,000	110	3,000	192	5,000	254	3,000	323	10,000
56	50,000	111	4,000	193	31,000	257	5,000	324	12,500
57	95,000	115	3,000	195	8,000	258	5,000	325	5,000
58	46,000	117	2,000	197	5,000	260	7,000	327	3,600
59	43,000	121	2,000	198	3,025	261	2,600	328	2,000
60	85,000	122	2,000	199	10,000	262	11,500	329	12,500
61	31,000	126	2,000	200	10,500	263	24,000	330	6,400

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
333	5,600	392	5,000	456	9,626	515	7,200	580	3,000
336	3,600	393	3,200	457	2,400	517	3,000	581	3,000
337	3,000	394	3,800	458	2,000	518	26,000	582	3,000
338	3,025	395	6,600	461	12,500	519	30,000	583	3,000
339	5,600	396	6,600	462	3,025	520	26,000	584	4,000
340	3,800	397	3,000	463	4,000	521	90,000	587	3,000
342	4,400	402	3,000	464	24,000	522	3,800	588	3,200
343	3,200	405	8,500	466	44,000	524	3,800	589	3,000
344	5,200	408	33,000	467	5,000	525	32,000	590	10,000
345	3,000	409	10,500	469	10,000	526	3,000	592	2,016
346	8,500	410	10,000	470	50,000	527	14,500	596	3,000
347	4,000	411	13,500	471	3,800	528	16,500	598	14,500
348	4,000	412	6,000	472	3,000	529	4,200	600	74,000
349	23,000	413	20,000	473	4,200	530	3,000	601	23,000
350	3,200	414	4,400	474	10,000	531	3,000	602	5,000
351	15,500	416	12,500	475	8,000	532	4,800	603	5,000
352	15,500	417	21,000	476	10,000	534	3,000	604	23,000
353	3,200	418	2,000	477	11,000	535	5,000	606	3,000
354	15,500	419	3,025	478	26,000	536	3,000	607	6,200
355	5,000	420	4,000	479	28,000	539	3,800	608	39,000
356	15,500	423	3,000	480	62,000	541	5,200	609	3,000
357	54,000	426	40,000	481	16,500	542	3,000	610	21,000
358	7,000	427	3,000	482	62,000	546	3,000	611	5,200
359	12,500	428	3,000	483	8,250	547	10,000	612	4,000
360	8,000	429	10,000	484	1,008	548	3,000	613	4,200
363	5,041	430	3,600	486	5,000	551	5,000	615	8,000
366	15,000	432	7,800	487	3,000	553	11,500	616	6,200
367	5,400	433	6,000	489	3,000	556	36,000	617	5,000
368	4,400	434	7,800	490	14,500	557	8,000	618	3,200
369	10,000	435	15,500	491	3,000	558	5,000	619	3,000
371	5,000	436	20,000	492	10,000	560	2,000	620	50,000
372	2,000	438	4,600	493	1,000	561	2,000	621	1,000
373	3,000	439	260,000	494	8,500	562	18,500	622	1,800
374	6,200	440	17,000	495	5,000	563	8,066	623	1,000
375	3,600	441	16,500	496	5,200	564	15,500	625	5,400
377	3,600	442	8,000	497	3,000	565	3,025	629	6,200
378	3,000	443	10,500	498	3,116	566	3,000	630	22,000
380	3,000	444	220,000	499	3,800	567	10,000	632	1,000
381	6,200	445	810,000	500	1,400	568	5,000	637	3,000
382	5,200	446	12,500	503	4,000	570	6,000	638	10,500
384	4,000	447	9,500	504	26,000	571	3,000	639	3,000
385	9,500	448	13,500	505	15,000	572	12,500	640	6,400
386	10,000	449	10,000	506	5,000	573	44,000	642	15,500
387	20,000	450	40,000	507	7,000	574	20,166	643	3,200
388	3,800	452	5,800	508	12,375	575	8,500	644	3,600
389	6,400	453	4,000	512	3,600	576	3,000	645	3,000
390	5,200	454	48,583	513	5,600	577	2,000	649	5,000
391	3,800	455	3,850	514	3,600	579	5,200	651	41,000

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
652	4, 200	711	6, 200	767	5, 000	832	3, 000	886	1, 000
653	26, 000	712	5, 000	768	6, 800	833	2, 600	887	3, 000
655	5, 200	713	3, 000	769	12, 000	834	2, 000	888	1, 000
656	5, 000	714	1, 000	770	12, 500	835	1, 000	889	3, 000
657	6, 000	715	66, 000	772	18, 500	836	4, 583	891	6, 200
658	1, 879	716	54, 000	773	7, 200	837	3, 000	892	5, 200
659	4, 600	717	3, 025	777	12, 500	838	6, 200	894	1, 800
660	3, 000	719	10, 000	778	11, 500	839	25, 000	895	4, 200
661	4, 000	720	2, 000	779	3, 000	840	15, 500	896	62, 000
663	3, 200	722	9, 000	780	6, 200	841	13, 000	898	3, 000
664	7, 200	723	45, 000	781	2, 000	844	6, 400	899	400
665	10, 000	725	26, 000	782	5, 400	845	8, 000	900	5, 000
666	6, 000	726	15, 500	783	3, 000	847	6, 000	901	5, 200
669	10, 000	728	3, 000	784	8, 500	849	15, 000	903	1, 000
670	4, 400	729	10, 500	788	5, 200	850	5, 000	905	3, 000
671	7, 400	730	6, 800	789	11, 500	851	5, 600	906	7, 800
673	5, 000	731	400	790	6, 600	852	7, 800	908	3, 000
674	4, 000	732	5, 000	791	4, 400	853	5, 000	910	3, 000
675	5, 000	733	7, 700	792	5, 400	854	3, 600	912	3, 200
676	3, 000	734	3, 400	793	3, 000	855	3, 000	913	6, 000
677	3, 000	735	9, 000	794	3, 200	856	4, 200	916	16, 000
679	43, 000	736	4, 600	795	3, 000	857	3, 800	917	1, 833
680	3, 600	737	5, 000	796	3, 400	858	27, 000	918	3, 000
681	2, 750	739	7, 800	798	4, 400	859	5, 000	919	3, 000
682	4, 000	740	4, 600	799	4, 000	860	5, 000	920	3, 000
683	8, 000	741	16, 000	800	5, 000	861	7, 000	921	1, 000
686	3, 600	742	2, 000	801	5, 400	862	11, 000	922	3, 000
687	3, 000	743	4, 600	803	3, 000	863	3, 000	924	4, 200
688	7, 600	744	5, 000	806	3, 000	864	3, 000	925	3, 025
689	3, 600	745	6, 200	807	3, 000	865	5, 000	927	2, 000
690	3, 000	746	1, 200	808	5, 400	866	4, 000	928	1, 000
691	3, 000	747	4, 000	809	6, 200	867	4, 200	929	3, 000
692	5, 200	748	3, 600	810	6, 200	868	3, 600	930	3, 000
693	1, 000	749	3, 000	812	3, 000	869	4, 400	932	2, 000
695	2, 000	752	3, 800	813	12, 000	870	3, 000	936	2, 000
696	2, 000	753	4, 000	814	3, 800	871	3, 000	939	1, 833
697	3, 200	754	1, 008	816	3, 000	872	3, 600	941	1, 833
698	3, 000	755	3, 208	817	15, 500	874	2, 400	942	4, 200
699	3, 000	756	4, 200	818	12, 000	875	3, 000	943	1, 833
700	3, 800	757	5, 000	819	3, 000	876	3, 400	946	4, 000
702	5, 000	758	7, 600	822	3, 800	877	2, 600	950	2, 000
704	5, 000	759	4, 400	823	1, 400	878	35, 000	960	2, 016
705	8, 000	760	5, 600	824	2, 750	879	2, 600	961	21, 000
706	8, 500	761	5, 200	826	4, 000	881	1, 000	962	21, 000
707	17, 000	762	6, 200	827	3, 000	882	5, 000	963	3, 800
708	3, 000	763	10, 500	828	1, 600	883	4, 200	964	58, 000
709	1, 000	765	5, 200	830	3, 200	884	5, 000	965	3, 000
710	5, 000	766	8, 000	831	3, 000	885	4, 400	966	3, 000

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
967	4,200	1040	5,000	1104	4,033	1171	6,200	1243	20,000
968	4,000	1042	16,500	1105	25,000	1172	12,500	1244	18,500
969	2,000	1043	4,000	1107	3,000	1173	17,500	1245	4,200
970	2,000	1044	2,400	1108	3,025	1174	8,500	1247	36,000
971	43,000	1045	3,000	1109	5,041	1175	3,000	1248	10,500
974	4,400	1046	6,200	1110	5,041	1176	3,000	1249	12,500
975	3,000	1047	3,000	1111	5,041	1178	8,500	1250	750,000
976	3,000	1048	3,000	1112	3,025	1179	31,000	1251	26,000
978	5,800	1049	5,400	1114	5,041	1180	70,000	1252	25,000
979	8,500	1050	100,000	1115	3,400	1181	130,000	1253	1,000
980	3,000	1051	5,000	1116	5,041	1182	3,200	1255	31,000
981	3,800	1052	14,500	1117	6,000	1184	180,000	1257	12,000
982	12,000	1053	3,200	1120	16,000	1185	37,000	1259	9,000
983	3,000	1054	3,000	1121	11,000	1187	2,000	1260	7,200
984	3,800	1055	4,600	1122	2,000	1189	8,000	1261	10,000
986	6,000	1057	400	1123	5,200	1190	13,500	1262	19,000
987	8,000	1058	7,000	1124	5,000	1191	2,200	1263	42,000
989	4,200	1059	4,000	1126	6,200	1192	16,500	1264	9,500
991	3,800	1060	6,400	1128	3,000	1193	8,000	1271	25,000
992	6,200	1062	5,000	1133	21,000	1194	8,000	1273	10,000
993	5,000	1065	3,200	1134	20,000	1195	2,600	1274	5,400
994	5,000	1067	4,000	1135	44,000	1196	145,000	1276	18,500
995	4,000	1068	10,000	1136	31,000	1197	12,500	1279	13,000
997	3,000	1070	7,600	1137	13,000	1199	6,000	1283	8,000
998	4,000	1071	36,000	1138	31,000	1200	37,000	1289	33,000
999	3,000	1072	26,000	1139	27,000	1201	26,000	1290	3,000
1002	6,200	1074	1,000	1140	5,000	1202	23,000	1291	3,200
1004	3,000	1075	4,200	1141	31,000	1203	54,000	1294	8,000
1006	12,500	1076	23,000	1143	100,000	1204	54,000	1295	3,000
1007	12,500	1078	8,000	1144	23,000	1207	14,500	1296	10,500
1008	12,500	1079	11,000	1145	33,000	1208	4,400	1297	9,500
1009	12,500	1080	52,000	1146	31,000	1209	41,000	1299	5,200
1010	3,000	1083	3,000	1147	23,000	1212	500,000	1300	29,000
1011	4,200	1084	4,600	1148	31,000	1213	2,000	1303	6,200
1012	5,000	1085	3,000	1149	130,000	1221	42,000	1305	4,000
1015	6,200	1086	4,000	1150	31,000	1225	3,208	1306	8,500
1017	37,000	1087	2,800	1151	31,000	1227	4,000	1307	5,041
1018	3,000	1088	4,200	1153	10,083	1228	4,000	1308	3,000
1021	3,000	1089	25,000	1158	33,000	1230	400	1309	6,050
1023	4,000	1090	3,800	1159	20,166	1231	4,000	1310	10,000
1025	2,000	1091	5,000	1160	3,000	1232	8,000	1311	12,000
1026	2,600	1094	16,000	1161	8,500	1234	3,000	1312	5,200
1028	12,500	1096	4,800	1164	10,500	1235	5,000	1314	14,500
1030	6,400	1097	1,000	1165	3,600	1236	4,400	1315	15,500
1034	2,000	1098	10,000	1166	3,000	1238	8,000	1316	4,800
1037	10,500	1100	4,000	1167	11,000	1240	5,000	1317	15,500
1038	7,058	1102	6,000	1168	5,041	1241	43,000	1318	5,800
1039	3,000	1103	10,000	1170	10,000	1242	22,000	1319	5,400

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
1320	4,000	1396	8,500	1455	5,200	1507	5,000
1323	5,000	1397	13,000	1456	39,000	1508	3,000
1326	2,000	1398	5,200	1457	4,200	1509	5,000
1327	3,000	1399	3,000	1458	4,000	1511	5,200
1328	45,000	1400	5,200	1459	5,800	1512	6,000
1329	3,000	1402	5,000	1461	3,000	1513	3,000
1330	25,000	1403	12,000	1462	2,016	1514	16,000
1333	3,000	1404	5,800	1463	2,108	1515	6,200
1334	20,000	1405	5,800	1464	7,800	1516	1,008
1336	18,000	1406	39,000	1465	3,000	1517	3,000
1337	30,000	1407	6,800	1466	12,000	1519	5,000
1338	22,000	1410	6,000	1467	9,000	1520	8,000
1341	4,000	1411	6,800	1468	13,000	1521	40,000
1343	15,000	1413	34,000	1470	5,200	1522	5,000
1344	22,000	1414	10,000	1471	26,000	1523	15,000
1345	22,000	1416	17,500	1472	3,600	1524	5,400
1346	9,000	1417	17,500	1473	4,800	1525	2,000
1347	9,000	1418	17,500	1474	4,800	1526	2,800
1348	5,400	1420	3,200	1475	6,000	1527	18,000
1350	3,000	1421	10,000	1476	4,600	1528	16,000
1352	20,000	1423	23,000	1477	9,000	1529	64,000
1353	5,200	1424	11,500	1478	15,500	1530	3,116
1354	7,800	1425	3,000	1479	5,200	1535	24,000
1355	27,000	1426	3,000	1480	9,000	1536	6,000
1357	8,500	1427	9,000	1481	15,125	1538	4,000
1358	23,000	1429	8,000	1482	18,500	1539	10,000
1359	23,000	1430	9,000	1483	3,000	1540	3,000
1360	22,000	1431	10,500	1484	3,000	1541	6,200
1362	3,000	1432	12,500	1485	2,000	1545	2,000
1363	3,000	1435	46,000	1486	10,000	1546	3,000
1364	5,000	1436	10,500	1487	5,000	1549	8,000
1369	6,000	1437	23,000	1489	1,000	1550	18,500
1370	4,200	1438	10,500	1490	5,000	1555	6,400
1371	3,000	1439	8,000	1491	600	1556	4,000
1373	9,000	1440	1,008	1492	5,000	1557	5,800
1374	3,000	1442	9,500	1493	125,000	1558	4,000
1377	4,200	1443	6,200	1494	39,000	1559	3,000
1379	4,200	1444	6,000	1495	4,033	1560	3,000
1380	3,000	1445	4,200	1496	2,000	1561	5,000
1382	10,500	1446	23,000	1497	5,000	1562	4,000
1383	3,200	1447	23,000	1498	4,000		
1384	11,500	1448	31,000	1499	10,000		
1388	5,000	1449	8,000	1501	6,400		
1389	9,500	1450	26,000	1502	9,500		
1390	13,000	1451	18,500	1503	31,000		
1391	8,000	1452	10,000	1504	5,400		
1392	10,000	1453	39,000	1505	4,000		
1393	8,000	1454	2,200	1506	2,000		

2021 年春の文
献セール [5/25 締
切] は、いつもよ
り開催時期が遅く
本誌原稿締め切り
までに最終結果が
まとまっていない
為、次号で発表し
ます。

成約品数 : 1129 点
成約率 : 72.3%
成約総額 : 16,493,328 円
事前入札者 : 307 人
一点以上落札 : 255 人
フロア来場者 : 34 人

取扱書籍のご案内

送料込以外の商品について、「スタンペディア日本版」会員は何冊注文しても送料は一律 300 円です。会員以外に直販は行っておりません。注文締切:2021 年 8 月 5 日



ふるさと 故郷の郵便の歴史展 展示作品 上野国より差し出された 書留、金子入り、別配達

2021 年 5-6 月に郵政博物館等で開催された、『ふるさと故郷の郵便の歴史展』に展示された郵便史コレクション（3 フレーム）を原寸カラーで納めた書籍です。

出品者によれば、同コレクションの展示は本展覧会のみであるため、記念に全ページを高解像度でスキャンし出版するものです。

書籍名：上野国より差し出された 書留、金子入り、別配達

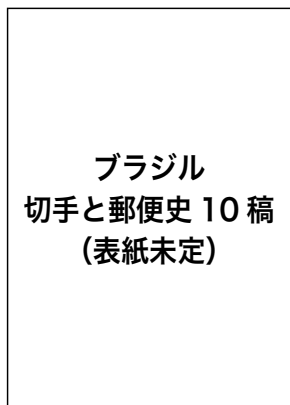
著 者：設楽 光弘

発 行：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

体 裁：A4 判 約 50 ページ、フルカラー、オフセット印刷

価 格：990 円（消費税込、送料別）

発行日：2021 年 8 月 15 日 予約販売



ブラジル 切手と郵便史 10 稿 (表紙未定)

全日本郵趣連合 正田会長 の最新作 ブラジル：切手と郵便史 10 稿

ブラジルの郵便史作品で、国際展大金賞を獲得している筆者がこれまでに国内郵趣誌に執筆したブラジルのフィラテリーに関する論文 10 編を一冊にまとめました。さらに書き下ろし 1 編も掲載予定。

ブラジルのクラシックフィラテリーを手軽に楽しむことができる一冊です。

書籍名：ブラジル：切手と郵便史 10 稿

著 者：正田 幸弘

発 行：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

体 裁：A4 判 約 100 ページ、フルカラー、オフセット印刷

価 格：990 円（消費税込、送料別）

発行日：2021 年 8 月 15 日 予約販売



全国切手展 スタンペックスジャパン2021 公式ガイドブック

今年 4 月に開催された全国切手展スタンペックスジャパン 2021 の公式ガイドブックです。

展示された 16 作品すべてが、金銀賞以上を獲得しましたが、作品ごとに 4 ページを割いて、リーフや出品者のプロフィールを紹介しており、文献としても役立ちます。販売機会は今回の注文締切日が最後となります。

書籍名：スタンペックスジャパン 2021 公式ガイドブック

副 題：フィラテリストマガジン号外第 23 号

発 行：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

体 裁：A5 判 83 ページ、フルカラー、オフセット印刷

販売価格：400 円（消費税込、送料込）

発行日：2021 年 4 月 1 日

マイスタンペディア、電子メールでのご注文以外は、郵便振替（P.163 に掲載）をご利用ください。

発行：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

会員のみなさんへ

「スタンペディア日本版」機関紙フィラテリストマガジンは、節目の30号より、機関紙として会員の皆様との交流も深める為に当欄を設けております。本日は当社が支援するスタンペックスジャパン等の感想をご紹介します。

藤本 博嗣 様（兵庫県）「3回にわたるセミナーとスタンペックスでのクリテックで、いろいろと分かったことが多くありました。

特に国際展出品資格を得たことから、本当に苦しい英文でのリーフづくりと構成の変更をしています。前回と今回の吉田さんのセミナーは大変参考になりました。

先週、国際切手展の2次募集があることを知り（JPSから来た非競争展のお誘いの文章中にあります）、いま出品すべきか、もう少しマテリアルを集めてからすべきか悩み始めています。菊地さんのように、スパッと決断することが大切のように感じています。

皆さんからのご教示があれば教えていただければと思います。」

藤本様、スタンペックスジャパン2021での金銀賞獲得おめでとうございます。国際展（世界展及びアジア展）への出品資格を得た事になりますが、普通であれば2022年3月以降に開催される展覧会以降しか目指すことができません。

しかし PHILANIPPON2021 実行委員会は6月1日に追加で競争部門への出品の募集を開始しました。日本での開催ですし、迷っていらっしゃるのであれば、私はご出品をお勧めしたいと思います。アジア展とはいえ国際展です。是非国際展デビューを！

山崎 文雄 様（福井県）「(スタンペックスジャパン2021記念WEBセミナーへの感想)多くの質問などがあり、参加された方は大いに参考になったものと思います。この企画については、今後も継続していただきたいと思います。郵趣振興として他にない企画でもあり、講演者招致も大変だとは思いますが、是非、ご検討してください。』

山崎様こそ、スタンペックスジャパン2021の審査員をおつとめくださりまして、お疲れ様でございました。スタンペックスジャパン、WEBセミナーですが、郵政博物館ならびに郵趣振興協会が来年以降も開催するようであれば、スタンペディアとしては引き続き支援してまいりたいと考えております。

鎌倉 達敏 様（神奈川県）「3回ともに、プレゼン内容も事前に準備され、充実した内容だと思います。特に、本日の菊地さんの話は、これから国際切手展を目指す人には役に立つと思います。しかし、本日の聴取者にどのくらいの人数の該当者がいたかが課題でしょう。聴取者の属性分析も必要かと思います。また、進行役の横山裕三さんのQ&Aの対応も良かったと思います。本企画実行、ご苦労様でした。」

鎌倉様、いつもアドバイスありがとうございます。

1対多の講演は、1対1の家庭教師と異なり、費用対効果が良い為に、ビジネスの場でも多用されている事をご承知の通りですが、その反面、個々の聴衆の需要に満足度高く応える事が難しいという弱点があります。

私も講演を聞く時には、その講演の中で一つでも今後の自分に生かせるものがないかと目を皿の様にして聴いています。その点では私は本シリーズのどの講演からも一つ以上の役立ちを見つけることができラッキーでしたが、主催者として、その精度をあげていく事を考慮する必要があるのはご指摘の通りと存じます。それに加えて聴衆の聴く力を向上させ、より多くの方のその後の郵趣ライフに講演をご活用いただけるお手伝い＝啓蒙までできればさらに効果があると考えております。

ちなみにWEBセミナー「競争切手展に向けた作品の改善方法（3回シリーズ）」の視聴チケットは最終的に80枚発行され、リアルタイム配信だけでなく、アーカイブ配信も何度でもご覧いただいております。主催者としては手応えを感じています。

また郵趣振興協会では、将来的に、郵趣振興に資する講演動画の一般向け配信を検討しております。その際にはこれら講演の動画は、新しい競争展出品者を生み出す装置になるのではないかと長い目で期待しています。

虎頭 雄彦 様（東京都）「楽しい講演で自分も昭和に興味が湧きました。昭和研究グループとかできたらいいですね」

虎頭様、3回のセミナーへのフル参加並びにご感想ありがとうございます。昭和切手の収集家は横のつながりが強く、月一度のオンライン例会も開催されています。本誌11ページに詳細が紹介されていますので、是非ご参加ください。

1. 機関誌「フィラテリスタマガジン」のお届け

機関紙通常号本誌（付録含まず）を3/25、6/25、9/25、12/25 前後にお送りします。

* 受け取る冊子の判型を『A5 判(年会費 3,980 円)』『A4 判(年会費 7,980 円)』より選択できます。

2. 機関誌「フィラテリスタマガジン」2021 年発行分 PDF のダウンロード権利

3/15、6/15、9/15、12/15 の4回発行するほか、年数回の号外を発行予定です。

3. 書籍「日本郵趣記事索引 2021」のお届け

フィラテリスタマガジン等の郵趣記事索引を掲載した書籍(冊子)を2022年3月頃にお届けします。

4. 単行本販売時の優先取り扱い

当社発行書籍等をお申し込みいただく場合、非会員に比べて優遇した条件で販売する場合がございます。オンラインからの注文に関してはマイスタンペディアにてワンクリックでお申込みいただける仕組みも導入しております。

5. 提携先の「スタンペディアオークション株式会社」の優待サービスを受けられます

スタンペディアオークション株式会社(以下、同社)より「スタンペディア日本版」会員向け優待サービスが提供されており、同社が利用停止した方を除く全ての当会会員が利用できます。

(1) 毎回のセールカタログを、当会機関紙の郵送時に、同梱して受け取ることができます。

(2) 入札や下見にあたり、同社への会員登録の申し込みは不要で、当会会員の資格で参加できます。

(3) 事前入札において同値の場合、当会会員の取り扱いが優先されます。

(4) 一定条件を満たす事前入札に対して、入札確認通知の郵送を行います。

(5) **新企画**「落札品送料 5人に1人ただ」キャンペーンに参加できます。

会費有効期間 2021年1月1日ー12月31日

ご入会案内

1. まず、お受け取りになる冊子のサイズを『A4 判』か『A5 判』か、お決めください。
年会費は A5 判の場合 3,980 円、A4 判の場合 7,980 円 です。
2. 該当する金額を本ページ「送金先」欄のいずれかの方法でご送金ください。
3. ご連絡先（郵送先・電子メールアドレスのいずれか、もしくは両方）を当社にご連絡ください。
ご連絡先が分からない場合は、当社からはサービスの提供を開始できません。

ご寄稿案内

当誌は2013年12月に創刊された、総合郵趣雑誌（季刊）です。

フルカラー160ページの紙面を、フィラテリーに関する寄稿記事に最優先に割り当てています。「このような内容は掲載できるかな?」「他の郵趣雑誌ではページ数や編集の都合でうまく書けない/掲載できない」「連載で書きたい」「これまで寄稿を郵趣雑誌にしたことはないけれどぜひ書いてみたい」といったフィラテリストの情報発信を、本誌への寄稿記事で実現してみませんか?

「マテリアルは持っているのだけど、記事を書くまでではない」といった方には、『私の発見・私の報告』や『切手コレクションの紹介』への掲載のご相談も承ります。

- (1) ご寄稿にあたり、お送りいただきたいものは、テキストと画像です。画像については、200dpiのスキャナーやスマホカメラで撮影した写真を添付ファイルとしてお送りください。
- (2) (1) のような手段のない方はカラーコピーをご郵送ください。なお、お送りいただいた原稿、カラーコピーほか資料は返却しません。送付はなるべくUSBメモリをご活用ください。
- (3) いただいた原稿は、編集部で判断の上、編集して掲載いたします。手書き原稿もお引き受け可能ですが、キャパシティに上限がありますので、長文の場合は事前にご相談ください。

連絡先: tpm@stampedia.net

郵送先: 102-0083 海事ビル内郵便局留 スタンペディア 宛て
次号へのご寄稿締切日は、**2021年8月15日**です

あとがき

時節柄、雨の日が多くなってまいりました。紫陽花が雨に映える季節ですね。今年の母の日には長く楽しめる紫陽花もいかなと思って色々見てみましたが、結局フラワーアレンジメントにしました。今月の父の日は何を送ろうかまだ悩みの菊地です。

さて、依然巢篋もり＋雨でお家で過ごす事も多いと思います。暇だな～と思ったら、是非本誌を広げてください。全日展作品紹介も加わり、本号も読み応えたっぷり！ぜひお楽しみください。

前号で進捗がやばい、と言っていたスタンペックスジャパン2021。なんとか無事作品を作り終え、(連日の寝不足で白髪が増えました...) 世界展同レベルの審査と国際展出品に向けた改善指導をいただき、国際展へのモチベーションも上がり、出品者としては非常に満足した競争展でした。その後、オークション、本誌の編集、そしてこれが非常に胃が痛い思いだったのですが、振興協会主宰のWEBセミナーでの講演がやっと終わり、一息入れたいと思っているところですが、すぐに次のオークションがあるので、なかなか気持ちが休まりません。

WEBセミナーについては、お話をいただいた時「え、無理です、むりむり。私そんな人前で話せる器ではないです。しかも1時間も！」と一度お断りをしたのですが(話すのも、人前に出るのも本当に苦手なので)、初心者観の観点からは是非、と言われ。確かに競争展に出すのはハードルが高いイメージがあるから、私でも出せる。という事でハードルが下がって出品したいという方が増えてくれれば良いな、と思いお引き受けしました。一度決めたからには、と腹をくくり、どうしたら良いプレゼンができるか試行錯誤。今まで作品解説位しかやった事がないので、プレゼン構成もどうしようか、パワポで作成した事もないので、これまたどうしようか。毎回やっている吉田さんすごいな～と関心しつつ、寝不足でなんとか仕上げました。もっと早く着手すればよかったのですが、なかなか時間が取れずギリギリに(また言い訳ですが)多分 顔 相当疲れて見せられるものではなかったかと思います(みなさんごめんなさい)

セミナー終わりにこのあとがきを書いています。書き終わったら即寝ます(笑)(菊地)

別冊による発行を当初予定していた『全日本切手展2021参観ガイド』が、急遽、第31号の1コーナーとして掲載されることになった為、「私の発見・私の報告」「連載 クラシック切手」「南方占領地のフィラテリー」「江戸時代の国際郵便」などの連載記事をはじめとする一部の記事につきましては、次号まわしとなりました。お楽しみになられておられた皆様、ご了解ください。

書 名:	スタンペディア日本版機関誌「フィラテリストマガジン」
号 数:	第31号(2021年夏号)
発行日:	2021年6月30日
価 格:	1,500円(消費税込)
発行部数:	700部
発行者:	無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社
発行人:	吉田敬
編集部:	菊地恵実、北川朋美
Name of the magazine:	The Philatelist Magazine
Number:	31st (2021 Summer issue)
Date of issue:	June 30th 2021
Price:	1,500 Yen
Number of printing:	700 copies
Publisher:	Stampedia, inc. Takashi Yoshida
Editor:	E. Kikuchi, T. Kitagawa

連絡先

- (1) 郵便 〒102-0083
海事ビル内郵便局留置
スタンペディア
- (2) F A X 03-6700-1585
- (3) 電子メール tpm@stampedia.net

送金先

- (1) ゆうちょ銀行 10060 14016181
(2) 楽天銀行 ロック支店 普通 7027345
(3) ゆうちょ振替口座 00100-4-515137
(4) Paypal order@stampedia.net

* 加入者名はいずれも『無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社』です。

スタンペディアオークション

第18回セール

フロア 2021年7月3日(土) 12:30 切手市場第2会場
会場 東京都中央区日本橋富沢町8-10 綿商会館5階

COVID-19の感染状況による行政判断等により競売方法・日時や会場が変更される場合があります
急な変更がある場合はホームページでご案内します



セール回	開催日	フロアセール開催会場
第18回	7月3日	切手市場第2会場 (東京・日本橋)
第19回	10月2日	切手市場第2会場 (東京・日本橋)
第20回	2022年1月8日	切手市場第2会場 (東京・日本橋)
第21回	2022年4月2日	切手市場第2会場 (東京・日本橋)

スタンペディアオークション株式会社

〒102-0083 千代田区麹町4-7-803 FAX: 03-6800-5384

auction@stampedia.net

<http://auction.stampedia.net>